

建設経済委員会・分科会 会議記録

- 1 期 日 令和4年3月14日（月）
午前9時24分 開会
午後4時55分 閉会
- 2 場 所 第3委員会室
- 3 出席委員 委員長 清水 寛
副委員長 竹中 理
委員 荒木慎太郎、石田 清、
須山 泰一、西田 真、
森垣 康平、米田 達也
- 4 欠席委員 なし
- 5 説明員 （別紙のとおり）
- 6 傍聴議員 なし
- 7 事務局職員 主幹兼総務係長 小林 昌弘
- 8 会議に付した事件 （別紙のとおり）

建設経済委員長・分科会長 清水 寛

建設経済委員会 次第

日時：2022年3月14日(月) 9:30～

場所：第3委員会室

1 開 会

2 委員長あいさつ

3 協議事項

(1) 付託案件の審査について

～別紙付託分類表及び審査日程表のとおり～

(2) 意見・要望のまとめ

4 その他

5 閉 会

建設経済委員会名簿(3/14)

=3/14建設経済委員会出席不要

【委 員】

職 名	氏 名
委員長	清 水 寛
副委員長	竹 中 理
委 員	荒 木 慎太郎
委 員	石 田 清
委 員	須 山 泰 一
委 員	西 田 真
委 員	森 垣 康 平
委 員	米 田 達 也

8名

【当 局】

職 名	氏 名	職 名	氏 名	職 名	氏 名
環境経済部長	坂本 成彦				
環境経済部参事	谷口 雄彦				
コウノトリ共生部長	川端 啓介	農林水産課長	柳沢 和男	農林水産課参事	井垣 敬司
		コウノトリ共生課長	宮下 泰尚		
		地籍調査課長	依田 隆司	地籍調査課参事	上阪 善晴
都市整備部長	澤田 秀夫	建設課長	富森 靖彦	建設課参事	北村 省二
		都市整備課長	石田 敦史		
		建築住宅課長	山本 正明	建築住宅課参事	谷垣 秀人
城崎振興局長	植田 教夫	地域振興課参事	橋本 郁夫	城崎温泉課長	山田 和彦
竹野振興局長	瀧下 貴也	地域振興課長	平尾 喜彦		
日高振興局長	小谷 士郎	地域振興課参事	吉田 政明		
出石振興局長	村上 忠夫	地域振興課参事	川崎 隆		
但東振興局長	羽尻 泰広	地域振興課参事	小川 一昭		
上下水道部長	河本 行正	水道課長	谷垣 康広	水道課参事	和田 哲也
		下水道課長	榎本 啓一	下水道課参事	堀田 政司
農業委員会事務局		農業委員会事務局長	丸谷 祐二		

29名

【議会事務局】

職 名	氏 名
主幹兼総務係長	小林 昌弘

1名

計 38名

令和4年第2回豊岡市議会（定例会）議案付託分類表

【建設経済委員会】

- 第6号議案 豊岡市立玄武洞公園の指定管理者の指定期間変更について
- 第19号議案 豊岡市中小企業振興基本条例制定について
- 第20号議案 豊岡市下水道条例の一部を改正する条例制定について
- 第21号議案 豊岡市集落排水処理施設等の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 第30号議案 令和3年度豊岡市水道事業会計補正予算（第4号）
- 第31号議案 令和3年度豊岡市下水道事業会計補正予算（第3号）
- 第41号議案 令和4年度豊岡市水道事業会計予算
- 第42号議案 令和4年度豊岡市下水道事業会計予算

予算決算委員会付託議案に係る分科会分担表

【建設経済分科会】

- 第22号議案 令和3年度豊岡市一般会計補正予算（第20号）
- 第32号議案 令和4年度豊岡市一般会計予算
- 第44号議案 令和4年度豊岡市一般会計補正予算（第1号）

建設経済委員会・分科会 審査日程表

審査日程	所管部課名	審査区分	予想時間
3月14日(月) 9:30~ 第3委員会室	【農業委員会】	分第32号議案(一般会計予算) <説明・質疑> ・主要事業等の予算説明 ・債務負担行為、地方債の説明	9:30 ~ 12:00
	【環境経済部】 環境経済課 大交流課	分第32号議案(一般会計予算) <説明・質疑> ・主要事業等の予算説明 ・債務負担行為、地方債の説明	
	【各振興局】 地域振興課(地域振興担当) 城崎温泉課	分第32号議案(一般会計予算) <説明・質疑> ・主要事業等の予算説明 ・債務負担行為、地方債の説明	
	【コウノトリ共生部】 農林水産課 コウノトリ共生課 地籍調査課	分第32号議案(一般会計予算) <説明・質疑> ・主要事業等の予算説明 ・債務負担行為、地方債の説明	13:00 ~ 14:10
	【都市整備部】 建設課 都市整備課 建築住宅課	分第32号議案(一般会計予算) <説明・質疑> ・主要事業等の予算説明 ・債務負担行為、地方債の説明	14:20 ~ 15:40

審査日程	所管部課名	審査区分	予想時間
3月14日(月) 15:50~ 第3委員会室	【上下水道部】 水道課 下水道課	<input checked="" type="checkbox"/> 分第32号議案(一般会計予算) <説明・質疑> ・主要事業等の予算説明 ・債務負担行為、地方債の説明 ----- <input type="checkbox"/> 第41号議案(水道事業会計予算) <説明・質疑・討論・表決> ----- <input type="checkbox"/> 第42号議案(下水道事業会計予算) <説明・質疑・討論・表決>	15:50 ~ 17:00
		<input checked="" type="checkbox"/> 分第32号議案(一般会計予算) <討論・表決> <<分科会審査意見・要望のまとめ>> <input checked="" type="checkbox"/> 分第32号議案(一般会計予算) <<委員会審査意見・要望のまとめ>> <input type="checkbox"/> 第41号議案(水道事業会計予算) <input type="checkbox"/> 第42号議案(下水道事業会計予算)	17:00 ~ 18:00

※ 午前中の部署は全部署9時30分までに入室いただき、農業委員会の終了・退席後、環境経済部と各振興局を合同で説明・質疑を行います。

午後は、部単位で入室いただき、説明・質疑を行い、説明・質疑が終了した部は退席いただきます。

予算決算委員会 建設経済分科会分担議案

建設経済委員会 付託議案

※14日中に当初予算の討論・表決を行い分科会及び委員会の意見・要望の取りまとめを行います。

審査日程	所管部課名	審査区分	予想時間
3月15日(火) 9:30~ 第3委員会室	<1部> 【各振興局】 地域振興課（地域振興担当） 【上下水道部】 水道課 下水道課	《付託案件》 <個別に説明・質疑・討論・表決> ○第20号議案（下水道課） ○第21号議案（下水道課） 分 第22号議案（関係課） ※第22号議案の討論・表決は2部で行います ○第30号議案（水道課） ○第31号議案（下水道課） 分 第44号議案（日高地域振興課・出石地域振興課） ※第44号議案の討論・表決は2部で行います	9:30 ~ 10:30
	<2部> 【環境経済部】 環境経済課 大交流課 【コウノトリ共生部】 農林水産課 コウノトリ共生課 地籍調査課 【都市整備部】 建設課 都市整備課 建築住宅課 【農業委員会事務局】	《付託案件》 <個別に説明・質疑・討論・表決> ○第6号議案（大交流課） ○第19号議案（環境経済課） 分 第22号議案（関係課） 分 第44号議案（環境経済課・大交流課・農林水産課） 《委員会（分科会）審査意見、要望のまとめ》	10:40 ~

※ 3月15日（火）の審査については、新型コロナ対策のため2部制で開催します。そのため、議案順の審査とならないことご承知おきください。

9時30分から各振興局及び上下水道部の審査、退席後、10時40分頃から環境経済部、コウノトリ共生部、都市整備部及び農業委員会事務局の審査を行います。

午前9時24分 委員会開会

○委員長（清水 寛） おはようございます。

それでは、皆さんおそろいになりましたので、建設経済委員会を開会します。

改めまして、おはようございます。

本日はホワイトデーということで、皆さん恐らく準備をされてると思いますけれども、3倍返しぐらいをされることを、しっかりとしていただければと思います。

また、本日の委員会は、終了時刻が午後6時というふうなことです。皆さん、段取りよく進めていきたいと思いますので、そのつもりでご協力をよろしくをお願いします。

また、本日の委員会に当たりまして、但東振興局、羽尻局長、建設課、北村参事の欠席について申出があり、許可をいたしておりますので、ご了承願います。

それでは、協議事項1番、付託案件の審査に入ります。

審査につきましては、お手元に配付しております審査日程表のとおり、議案審査の順序を入替え、本日は令和4年度各会計予算案の説明、質疑、討論、表決及び委員会・分科会審査意見、要望の取りまとめまでを行います。

明日15日に、その他の議案の説明、質疑、討論及び表決を行った後、議案全体についての委員会・分科会意見の要望の取りまとめを行うこととしたいと思います。

これにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（清水 寛） ご異議なしと認め、そのように決定しました。

なお、当局の説明は、基本的には部単位で組織順としますが、スムーズに進行いたしたいので、審査日程表のとおり、午前の日程を一部変更しております。午前中は、農業委員会の後、環境経済部と各振興局を一括して審査します。午後は、コウノトリ共生部、都市整備部、上下水道部の順に審査を行いたいと思います。

なお、委員の質問については、丁寧な対応をお願いしたいと思います。また、委員会での発言は、委員長の指名の後、発言者名を名のって、マイクを使用してから行っていただきますようお願いいたします。

それでは、委員の皆さん、当局の皆さん、質疑、答弁に当たりましては、くれぐれも要点を押さえて、簡潔明瞭に行うなど、スムーズな議事進行に格別のご協力をお願いします。

ここで委員会を暫時休憩します。

午前9時27分 委員会休憩

午前9時27分 分科会開会

○分科会長（清水 寛） ただいまより建設経済分科会を開会します。

それでは、第32号議案、令和4年度豊岡市一般会計予算を議題とします。

当局におかれましては、新規事業、前年度から大きな変更のあった事業及び主要事業等の議会説明を要する事業について、その概要を簡潔にご説明願います。順序については、歳出、歳入、債務負担行為、地方債の順をお願いします。

なお、説明に当たっては、資料のページ番号をお知らせください。

それでは、農業委員会からお願いします。

農業委員会、丸谷局長。

○農業委員会事務局長（丸谷 祐二） おはようございます。よろしくお願いたします。

それでは、一般会計予算説明書の209ページをご覧ください。一番下の欄になります。農業委員会事務局で所管する予算は、農業委員会費と農業委員会の農業者年金事務費等がございます。農業委員会の中心となる業務と言いますのは、農地法に基づく農地の権利移転の許可等の事務と、担い手への農地集積集約化及び遊休農地の発生防止、買収、解消等の農地利用の最適化と言われる業務となります。令和4年度は、現在の委員の3年任期のうちの3年目ということになります。これまで2年間の活動の成果を踏まえまして、任期最終年度も活発な活動を進

めてまいることとしております。

同じく209ページの一番下になります。まず、委員報酬についてでございます。農業委員18名分754万6,000円、それから、ページをめくっていただいて、211ページの一番上です。農地利用最適化推進委員25名分996万円の人件費を計上しております。

次に、ページの中ほど、農業委員会費500万4,000円で、これは対前年比で79万3,000円の減となっております。これは、現委員の任期3年目となることから、視察研修をこれまでの泊付研修から、日帰りの研修に変更することなどによるものでございます。

説明欄の下から4行目になります。農業者年金事務費でございます。18万5,000円、こちらは農業者年金の加入推進及びその手続に係る事務経費でございます。

次に、歳入の主なものをご説明をさせていただきます。

49ページをご覧ください。それでは、49ページ、これも一番下の欄になります。下から3行目、農業委員会交付金588万3,000円でございます。これは農業委員会法に基づきまして、兵庫県から交付される補助金となります。事務局職員の人件費に充当をしているものです。

次に、ページをめくっていただいて、51ページ、説明欄の上から2項目めの機構集積支援事業費補助金36万8,000円でございます。これは、農地中間管理機構である兵庫農林機構が、担い手への農地集積集約化を促進するに当たりまして、農業委員会がその関連する業務を行うこと、これを適切に実施できるように補助されるものでございます。本市におきましては、農地法に基づく事務の適正実施のための事務を補助対象としておりまして、農地台帳システムの運用に係る会計年度任用職員報酬、それから、3年度から制度改正によりまして実施することとなりました利用意向調査の対象者への郵送調査、これのかかり増し分に充当をしております。従来は、意向調査の対象とならなかった方が新たに

対象になったということによる増加分でございます。

その8項目下になります。ページの中ほどの農地利用最適化交付金267万6,000円は、担い手への農地集積集約化等の農地利用の最適化、これが農業委員会の必須業務となっておりますことから、それぞれの農業委員、推進委員の活動を活発化するために予算化されたもので、それぞれの報酬に充当をしているものでございます。

その次の国有農地等管理処分事業事務取扱交付金、こちらは主に竹野地域でございます国有農地の管理業務に対して、兵庫県から交付されるものでございます。

続いて、67ページの中ほどになりますが、雑入のうち、受託料の欄の農業者年金業務でございます。85万5,000円、こちらは独立行政法人農業者年金基金からの委託料で、事務局職員の人件費と事務費に充当をしております。

なお、債務負担行為、地方債につきましてはございませんので、説明は省略させていただきます。

農業委員会からは以上です。

○分科会長（清水 寛） 説明は終わりました。

質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会長（清水 寛） それでは、質疑を打ち切ります。

それでは、丸谷局長についてはご退席いただいて結構です。

どんどん先行きます。

続きまして、環境経済部の説明を課ごとにお願ひします。

それでは、まず、環境経済課から願ひします。坂本部長。

○環境経済部長（坂本 成彦） それでは、歳出のほうから、まず、91ページをお開きください。大丈夫でしょうか。91ページ、一番下にあります基金管理費が5億6,742万7,000円ありますけれども、このうち5億円が環境経済課分ということになります。これはふるさと納税の一応10億円新

年度は見込みというふうなことをしております、歳入10億円から事務費相当5億円を差し引いた残りの5億円を基金に積み立てようとするものです。具体的には、そのページ一番下にあります地域振興基金積立金に4億9,000万円、それから少し戻って、コウノトリ基金積立金、こちらに1,000万円ということで、合わせて5億円を積み立てようとするものです。

続きまして、95ページをお開きください。大丈夫でしょうか。一番下にありますふるさと応援寄附金推進事業費5億円、これが先ほど申しました事務費に相当する5億円ということになります。新年度は、ANAふるさと納税という新しいサイトを1つ加えまして、7つのポータルサイトで寄附金を募っていききたいというふうに思っています。この5億円のうち、一番大きいのが一番下にあります業務委託料ということになりますけれども、これが各ポータルサイトに払う手数料、それから返礼品の調達等を含む費用ということになります。

続いて、127ページに飛んでください。よろしいでしょうか。これも下のほうになりますが、まずは、下から2つ目、特産振興事業費294万8,000円、こちらは主に補助金、豊岡かばんのブランドPR推進事業200万円ということで、ここ数年継続して行っているものです。KITTE丸の内等を使った東京展示会への支援、それからSDGs商品の開発等への支援ということを行っております。

それから一番下にあります企業誘致推進事業費1,347万6,000円ですけれども、これは次のページ、129ページのほうに移っていただいて、IT企業誘致のためのまずマッチングイベントに出展するための負担金、それから、マッチングイベントで出会った企業のうち、ターゲット企業をどういうふうに変定するか、豊岡にどの企業が合うかというふうな指導、助言をいただくための支援業務の委託料、それから実際に相手企業の誘致が決まった際に、事業所を開設する支援事業費というふうなことで補助金、こういったことを組み立てております。補助金のほうは継続分を220万円と、あと新規で

2件を想定して、合計790万円を予算化しております。

続いて、内発型産業育成事業費5,967万9,000円ですけれども、この主なものとして、中ほどにあります手数料220万円というのが、ニホン継業バンクの利用料ということで、今回初めて予算化をしています。これについては、財源充当がありますので、後ほどご説明します。それから業務委託料、総合相談業務委託料はIPPO TOYOOKAに係るものです。それから補助金として、ステップアップ支援補助金3,500万円、昨年度は2,000万円でしたが、ここ拡充して増やしております。それと創業支援事業費1,300万円、この補助金は例年並みとしております。

次の項目、Iターン推進事業費806万7,000円ですけれども、業務委託料として、上2つが「飛んでるローカル豊岡」の運営に係るもの、合わせて280万3,000円、それから移住相談窓口運営業務委託料でしておりますのが、暮らしのパーラーという、民間への移住窓口の委託ということになります。それと、空き家実態調査実証業務と書いておりますのが、空き家のアプリを使った実証実験ということで66万円を予算化しております。

続いて、Uターン推進事業費につきましては792万6,000円とありますけれども、業務委託料として、ジョブナビですとか、しごと相談会、それから就活応援ブック等を例年どおり予定しておりますのと、次のページに移っていただいて、131ページ、一番上です。高校生の総合学習等支援事業費ということで、各学校への補助事業を行っております。

それから、次の定住推進事業費につきましては、移住を考えられる方に対して定住促進するための各種補助金ということで、補助金の一番上にあります定住促進事業費としては、空き家改修ですとか、引っ越し費用の補助、次の移住促進支援事業費は、宿泊ですとか、飛行機、レンタカー等への補助、それから東京圏からの移住支援事業費としては、これ国県の随伴補助ということになりますけれども、こ

ういうメニューもそろえておりますのと、学生向けシェアハウス改修事業費は、県の随伴補助という形で予算化をしています。

続いて、139ページをお開きください。大丈夫ですか。一番下にあります地域おこし協力隊の推進事業費、このうち継続の8人分と新規15人分を環境経済課の予算としております。今回大きく変わりましたのは、業務委託料に組み替えると、これまで報償金ですとか、例えば物品購入実費とかを支出しておりましたけれど、まとめて業務委託料とするというふうなことで、2億6,313万2,000円が全体の業務委託料という形になります。

それから、209ページに飛んでください。大丈夫でしょうか。真ん中の枠です。労働費ということで、これは例年どおり予算化しております勤労者住宅の対策事業費等もありますけれども、一番下にあります若者定住促進事業費というのが、但馬技術大学校を卒業し、地元就職される方への2年次の授業料補助ということで、これも毎年予算化しているものです。11万9,000円掛ける4人分ということで、47万6,000円を計上しております。

続いて、231ページに飛んでください。よろしいでしょうか。一番下にあります商工振興費のうち、まず商工振興事業費ということで、これは一つには、業務委託料のところにも中小企業等経営安定化支援業務という、660万円がありますけれども、コロナ禍で商工団体に各事業者への窓口、相談というものを強化していただくということで、コロナ禍からスタートさせた事業ですが、新年度もまだ相談業務、かなり必要になってくるというふうに見込んでおりますので、660万円を再び予算化しております。

それから、次の中小企業金融対策事業費ということで、これ例年、制度融資ということで5億円を金融機関に預託をして、4倍協調で20億円の貸付枠を設けておりますけれども、その1つ上にあります利子補給金ということで、中小企業融資資金の利子補給、これはコロナ対策として、3年間利子補給している分がありまして、その分の予算として563

万2,000円を今回計上いたしております。

それから、一番下の内発型産業育成事業費ですけれども、これ本会議でも話題にしました経済ビジョンの策定のための経費ということで、新年度新たに269万9,000円を計上いたしております。

次のページ、233ページをお開きください。この中で、一番下の産業用地整備事業費だけ触れさせていただきます。新年度も県道但馬空港線脇に産業用地整備を進めていきます。新しい年度は水路工を2,940万円造成工事ということで、関連する費用を計上いたしております。

続いて、235ページ、次のページです。2つ目の枠で、特産振興事業費3,450万2,000円というものがあります。基本的には、靴協会、その他団体への補助金というのが、この項目になりますけれども、新年度は新しいものとして、保守点検委託料、それから業務委託料のところにも、ふるさと応援寄附金特設サイトというものを計上しております。これは、自由度の高い市自前のサイトを持つという流れが、今全国で広がっておりまして、豊岡市としても市特設のサイトを今回立ち上げたいというふうに思っておりまして、19万8,000円と217万1,000円を予算化しております。

それと、真ん中ぐらい、負担金の項目で一番下に豊岡靴認知度向上事業費1,600万円としておりますのが、かばんとふるさと納税のシナジープロジェクトということで、お互いが共鳴し合う形で振興を図っていくというものを、今回新たに予算化をさせていただきました。歳出は以上です。

続いて、歳入、財源のほうに移りますが、41ページに戻ってください。大丈夫でしょうか。41ページ、一番下に地方創生推進交付金がありますけれども、このうち2,361万円が環境経済課の事業に充当をされます。

続いて、55ページです。上から2つ目、ひょうご地域創生交付金、このうち1,230万円が環境経済課、内発型産業育成等に充当をされます。

続いて、59ページ、一番下ですけれども、ふるさと応援寄附金、ふるさと納税、新年度は10億円

を目標といたしておりますのと、企業版ふるさと納税のほうも1,000万円を目標として計上いたしております。

次のページ、61ページをお開きください。真ん中の繰入金の一番上、財政調整基金繰入金、このうち3,270万円を産業用地への整備に充当をいたします。

それから、少し下りて、地域振興基金の繰入金、このうち6,400万円が環境経済課の事業に充当をされます。

1つ飛んで、企業版ふるさと納税地方創生基金繰入金というのが、継業バンク、その他移住定住施策に充当されるものです。信金中央金庫から1,000万円寄附をいただいて、3年間に分けて充当させていただくというふうなものです。

それから、次のページ、63ページの一番下、諸収入の枠の中で、真ん中辺り、勤労者住宅融資資金貸付金と中小企業普通融資資金貸付金の、これ預託金の回収というふうなことで、預託をして返ってくるということを、毎年繰り返して行っているものです。

それから、77ページに飛んでください。よろしいでしょうか。最後ですけれども、一番下、過疎対策事業債、このうち1,070万円が環境経済課分として充当をされることとなります。

続いて、債務負担のほうに移りますので、9ページをお開きください。債務負担行為の第2表の上から3段目、若者定住促進事業費補助金、これ先ほど説明しました但馬技大の生徒に向けたもので、債務負担47万6,000円を計上しております。

それから、1つ飛んで、中小企業融資資金に係る損失補償1,400万円ということで、制度融資がもし代位弁済等になった場合、補償額として、市も負担する必要がありますので、そういうことに備えて1,400万円という額を債務負担しております。

それから、一番下、中小企業融資資金利子補給事業ということで、先ほども触れました397万8,000円を令和5年度から7年度分として債務負担しております。

続いて、地方債で、11ページです。一番下にあります過疎対策事業債、このうち1,070万円が環境経済課分ということになります。

説明は以上です。

○分科会長（清水 寛） 説明は終わりました。

質疑はございませんか。

○委員（西田 真） よろしいか。

○分科会長（清水 寛） 西田委員。

○委員（西田 真） ちょっと何点か、確認をするんで教えてください。

209ページの若者定住、11万円の4人分の47万6,000円ですか、この4人というのはどういう人数なんですかね。その内訳をちょっと教えていただけませんか。

○分科会長（清水 寛） 坂本部長。

○環境経済部長（坂本 成彦） 4人程度の枠を持っておくというだけで、特に最近では2人とか1人とか対象者はそういうことでしたけれども、一応予算としては4人分確保していると、そういう意味だけです。

○分科会長（清水 寛） 西田委員。

○委員（西田 真） 今までは、2人とか1人で、それほど多くはないということで、そういう理解でよろしいんですかね。

あとマッチングイベントと支援業務の委託料、110万円と790万円、この辺も説明もうちょっと詳細に教えていただけませんか。（「何ページでしたっけ」と呼ぶ者あり）

128ページ。

○分科会長（清水 寛） 坂本部長。

○環境経済部長（坂本 成彦） IT企業誘致をする際にこれまで、それこそ全方位にこれもPRをして、脈がありそうところを探して探して、交渉するっていうふうなことをしておりましたけれども、こういうIT企業と自治体を結びつけるマッチングイベントみたいなことが最近は行われるようになってきて、本年度もこのオンラインイベントに参加をし、4社ぐらい今でも交渉が続いて、IT企業誘致、こちらに出て進出してくれそうな企業が出て

きています。非常に効果が高いというふうなことがあるので、新年度もこのマッチングイベントに参加したいというふうに思っています。

ただ、どの企業さんがどういう業務をしていて、豊岡市の課題にぴったりマッチするか、そういったあたりってというのは、なかなか我々普通の行政職員では分かりにくいところがありまして、やはり専門知識を持った方に一緒にいていただいて、この企業を引っ張ってこようという、見定めをする必要があります。その辺りは専門家の方に支援をしていただきたいということで、併せて業務委託料を予算化すると、こういう状況です。

○分科会長（清水 寛） 西田委員。

○委員（西田 真） めどとか、そういう感じはどんな感じで思っておられますか。全然分からない、まだ。

○分科会長（清水 寛） 坂本部長。

○環境経済部長（坂本 成彦） まだ分からないところありますけれども、本年度でもかなり感触よく進めておりますので、新年度はさらに力を入れて、このイベントに2回出展したいということで、2回分の予算を上げさせていただいております。1回の出展料が55万円という予定ですので、この2回分で110万円という、そういう予算化をして、少し拡充……。

○委員（西田 真） 1回55万円。

○環境経済部長（坂本 成彦） はい。拡充しているかと思っています。

○分科会長（清水 寛） 西田委員。

○委員（西田 真） ちょっと続けて、申し訳ないですけど。

131ページの定住推進の東京圏の移住に120万円、これはどういう感じで思っておられるのでしょうか。その辺も詳しく教えてください。

○分科会長（清水 寛） 坂本部長。

○環境経済部長（坂本 成彦） これは国の事業でして、まさに東京圏から地方に移住する場合は、ご家庭をお持ちの方だと100万円、単身だと60万円、国からは補助しますよ、だから地方に移住してくだ

さいという、こういう政策がありまして、国が2分の1、県が4分の1、市が4分の1という、随伴の形になって補助がなされるというものになります。

一応、市としては3件分、単身は1人にしてたと思うんですけど、ちょっと中身が単身と所帯持ちと分けてですけども、3件分を予定して予算化だけしているということになります。

○分科会長（清水 寛） 西田委員。

○委員（西田 真） すみません。ちょっと1人ばかりで申し訳ないですけど。

233ページの産業用地の分の水路工2,940万円ですね。ここの分、この産業用地というのは、今度は水路工でやられるんですけど、この産業用地として売り出すのはいつ頃を目標にいろいろと整備をされとるんですかね。ほいで、何億円でしたかいね。その辺も含めて。

○分科会長（清水 寛） 坂本部長。

○環境経済部長（坂本 成彦） 今の予定では、2023年度中に募集がかけられるかなというぐらいなスケジュール感とってます。ちょっと国、県の工事の進捗状況で変わってくると思いますけれども、それと全体事業費はちょっと今数字持ってきてませんので、またお答え改めてさせていただいていいですか。

○分科会長（清水 寛） 西田委員。

○委員（西田 真） この産業用地、区画といいますが、何区画とか、そういうのが分かっていますかね。

○分科会長（清水 寛） 坂本部長。

○環境経済部長（坂本 成彦） 全体で1.5ヘクタール程度で、3区画に分けてになりますけど、を予定しているところです。

○委員（西田 真） ありがとうございます。

もう1点だけ。

○分科会長（清水 寛） 西田委員。

○委員（西田 真） ふるさと応援の分ですけど、この5億円の分、95ページでしたですかね。ちょっとこの辺、もう一度だけ詳しく説明いただければありがたいです。

○分科会長（清水 寛） 坂本部長。

○環境経済部長（坂本 成彦） 7つのポータルサイトで募集をかけていくということになるんですけども、どこを言えばいいかな。大きい数字のところとして、通信運搬費というのも結構、3, 289万2, 000円とあるんですけども、要は返礼品を送るときの配送料というのか、こういったものも市の事務費として負担して、お客様に届けるという、今そういうことになっておりまして、これも費用、事務費の一つとして上がってきます。

それから業務委託料は、先ほども触れましたけれども、ポータルサイトに返礼品を調達してもらって、それを送ってもらうという、この一連の事務を全部委託してますので、それにかかる費用と、当然手数料がかかってくるので、それをのけた形と。これが要は寄附金の5割以下でないといけないという取決めがありますので、10億円に対して最大5億円、一応事務費として持たせていただいと、返礼品はその中で3割と、こういうスタイルになってます。

○分科会長（清水 寛） 西田委員。

○委員（西田 真） 返礼品は3割以下で、もうこれは国のほうで決まってるやつでありますし、そして、あとの事務的なやつは2割という、金額自体がそれは決まりはあるんでしょうけど、何か高いような感じといますか、ちょっと事務経費2割はどうなんかなと、それは決まりがあるんで、それに合わせてはるんかどうか知りませんが、その業者はもう固定という感じですか。それとも応募して、それをヒアリングして、確認されて決められたのか。それとも、いや、もう大概もうみんな2割程度ですわというような感じなのか。その辺どうですか。

○分科会長（清水 寛） 坂本部長。

○環境経済部長（坂本 成彦） 例えばJTBの「ふるさとチョイス」、楽天とか、いろんなポータルサイトありますけど、それぞれによって手数料率が実は違います。10パーセント強というのが大体の相場かなという感じはしますけれども、それがそれぞれにやっぱり決まっていて、そこと契約しようと思うと、それだけの手数料をお支払いしないといけな

いということになります。ただ、これ直営でできるかっていうと、返礼品集めてきて、梱包して発送してみたいなことを、とても僕らやられるわけありませんから、その手数料を払ってでも委託をするほうが、入ってくる額も非常に多くなるしということで、ここは事務費の中で泳げる分ですから、もう割り切って、業者に委託して、とにかく窓口を広げると、そういう戦法を取ってるということです。

○分科会長（清水 寛） 西田委員。

○委員（西田 真） その業者は何社。1社だけですかね、複数社ですか。

○分科会長（清水 寛） 坂本部長。

○環境経済部長（坂本 成彦） 7つのポータルサイトというふうに申し上げました。一応お伝えしておきますと、JTBの「ふるさとチョイス」、楽天、「さとふる」、「ふるなび」、auPAY、それからJALふるさと納税で、今回新たなANAふるさと納税と、この7つを窓口にしようと思っています。

○分科会長（清水 寛） 西田委員。

○委員（西田 真） その資料出してもらえませんか。

○分科会長（清水 寛） そしたら、改めて、その資料をまた委員のほうに配付願います。

○環境経済部長（坂本 成彦） 分かりました。

○委員（西田 真） 以上です。

○分科会長（清水 寛） ほかありますか。須山委員。

○委員（須山 泰一） 3点あります。1つは、中小企業振興条例の中で、大企業というのがありまして、たしか3つというふうに言われたと思うんですけど、それが例えば但馬松下とか、ああいうところが入ってるのか、豊岡の会社なのかお聞きしたいです。

それで2つ目が、ページ数をちょっと指定できないですけど、たしか中核工業団地への水道の補助が今後数年の分が出てたと思うんですけど、がくっと減ってたように思うんですけど、違いますかね。

それと3つ目が、ステップアップ支援ですか、3, 500万円ということでしたけど、補正1号で2, 000万円プラスってなって、合わせたら5, 50

0万円なんですか。それとあと、下限50万円というふうに設定されています。そしたら、要するに最大の補助が一時期より30パーセント以上悪いところ、最大の補助が3分の2ということは、75万円以上の設備投資みたいなのところ以上ということになりますよね。下限が50ということは、で、間違いないでしょうか。以上です。

○分科会長（清水 寛） 坂本部長。

○環境経済部長（坂本 成彦） 中小企業振興条例の件は、あしたの議案なんで。そちらにしたほうがいいのかなと。

○分科会長（清水 寛） 須山委員、今、部長のほうからありましたけども、その点については、あしたということでもよろしいですか。

○委員（須山 泰一） はい。

○分科会長（清水 寛） そしたら、それ以外の点でもよろしくをお願いします。

坂本部長。

○環境経済部長（坂本 成彦） 中核工業団地への補助は、ちょっと環境経済課としての予算ではなくて、財政部門でやってるので、私のほう詳細の数字、今持ってきておりませんし、お答えがしかねますので、お許しをいただきたいと思います。恐らく使用水量によって変動しますので、水量が少なかったら低くなるということになります。

それから、ステップアップ支援補助金ですけども、委員おっしゃっていただいたとおり、当初予算では3,500万円という枠を設けましたけれども、コロナの臨時交付金を活用して、コロナで特に減収になってる方に対して拡充枠を特別で設けたいということで、2,000万円の追加補助をお願いしたところなんです。

それと、補助の下限は50万円からということになっておりまして、この辺りもコロナ禍で小規模事業者を支援した際には20万円ぐらいまで下げたこともあるんですけども、補助額50万円、この辺り以下のところはやっぱり事業者の自助努力で何とかしていただきたいというふうなことで、少し大きめの投資を、それでも今やりたいと、しん

どい中でもやりたいというところに対して、市としてはサポートさせていただくのがいいかなというふうに思って、この下限枠を設けたところです。

○分科会長（清水 寛） 須山委員。

○委員（須山 泰一） 了解しました。

○分科会長（清水 寛） よろしいですか。

○委員（須山 泰一） はい。

○分科会長（清水 寛） ほかありますか。

石田委員。

○委員（石田 清） お尋ねします。235ページに、特産振興事業費ということで、特に今回かばんの返礼品として使って、認知度を上げようということなんですが、そのほかの特産品と言われております杞柳は、ここに少しばかり補助金が入っております。見てみますと、城崎の麦わら細工も考えられていると、金額はともかくとして。例えば出石の出石焼なんかは、この中では何の措置もされていないということでもよろしいでしょうか。

○分科会長（清水 寛） 坂本部長。

○環境経済部長（坂本 成彦） 新年度は特段大きなものはないですね。これまで東京の青山のスクエアで出展されるようなところに対して補助をしていたという経緯はあるんですけども、コロナでちょっとそういったこともできないということもあって、新年度、そういった予算化はしていないという状況です。

ただ、今、地域おこし協力隊で、実際に後継者っていう意味で、1人入っていただいてサポート続けてますので、むしろそういったことの支援のほうで、現場としてはありがたいということだろうと思います。

○分科会長（清水 寛） 石田委員。

○委員（石田 清） ふるさと納税の返礼品で使うほどの生産量は難しいだろうというふうに思いますし、この手法はちょっと使いにくいのかなという感じは受けますけども、何か聞いておきますと、高齢者へのお祝いの品に使っていただいたと。ところが、それをペケになったような気がします。となると、業者さんの言われる話では、生産能力が余

ってるみたいな話がありまして、逆にちょっと売上げが減って苦しいんだというような話が出てきていますので、どないしたのかなというふうに。もうちょっとどういう手があるのか分かりませんが、今後掘り下げて、特産品としていけんところか、もうちょっと手があるんかどうかというようなこともお願いをしたいと思います。

杞柳製品も麦わら細工も気になりますが、これも規模としては縮小規模なんでしょうけども、それぞれの事情を抱えておられると思いますので、またこの事情を調べてやっていただきたいというふうに思います。

○分科会長（清水 寛） いいですか。答弁は何かありますか。いいですか。

○委員（石田 清） 特に答弁はよろしいです。

○分科会長（清水 寛） ほかにございますか。
竹中委員。

○委員（竹中 理） 来年度の予算で、何だったかな、質問で地域おこし協力隊の個人のいろんな紹介のページの何か、最近、特産品の何か作る、それはこの中に入ってる。

○分科会長（清水 寛） 坂本部長。

○環境経済部長（坂本 成彦） そのページはもう今年度内にやっってしまうと思ってまして、それこそ地域おこし協力隊の啓発事業費という、その中でやりたいなというふうに思って、何とか今年度中に仕上げたいなと、今鋭意進めているところです。

○分科会長（清水 寛） 竹中委員。

○委員（竹中 理） 詳細、またサイトとか言われるとか。決まったら教えてください。

○分科会長（清水 寛） よろしいですか。

ほかございますか。よろしいですか。

それでは、質疑を打ち切ります。

次に、大交流課の説明をお願いします。

環境経済部、谷口参事。

○環境経済部参事（谷口 雄彦） まず、歳出のほうから説明させていただきたいと思います。新規事業だとか、主立ったもののかいつまんで説明させていただきます。

まずは、95ページをお開きください。よろしいでしょうか。城崎国際アートセンター管理費です。多くは経常的な経費ですけれども、来年度、設備の経年劣化による対応というところで、城崎アートセンター管理費の4行目です。修繕料が少しかさんでございまして、消防設備費でありますとか、空調などを手入れをして修繕をしたいというふうに考えています。

次が、地方創生推進交付金に飛びますけれども、131ページをお開きください。中段辺りに専門職大学との連携推進事業費というのが1,054万4,000円を計上させていただいております。これは継続事業ですけれども、大学ができたことで、大学の知見を地域課題の解決に役立てようというところで、積極的な大学の活用という視点から、引き続き予算を上げさせていただいております。例えば今年ですと、高校生への演劇ワークショップでありますとか、中学生に対するプレカレッジ、将来のキャリアを考えるという意味のプレカレッジだとか、あとコミュニティ・ツーリズムというところで勉強しております。引き続き来年度もやってまいりたいというふうに思っています。

それから、その下の観光事業費のうちの補助金の豊岡市ワーケーション推進事業費ということで、これも継続事業ですけれども、1件当たり2分の1を上限に100万円で補助金を考えております。ご案内させていただいておりますけれども、今年度城崎アートセンターにワークスペースを整備をしまして、市全体としていろんな滞在の仕方ができるまちというふうに売っていききたいということで、民間の動きを促進したいという意味での推進事業費でございます。

その下の観光まちづくり推進事業費のうちの負担金、企業人派遣ということです。これは大都市の企業に勤める人が地域の自治体に所属をして、地域課題を解決するような取組をする場合、国のほうから1人当たり560万円の交付税措置がなされます。現在、神姫バスから2人、JR西日本から1人、それから日本航空につきましては、今年度、職員交

換ということで負担はなかったんですけども、来年度は豊岡市からの派遣はなしで、企業人の派遣は受けるという形だけになりましたので、この1人加えまして4人分ということで、2,240万円の予算を上げさせていただいております。

その下の海外戦略推進事業費につきましては、本会議でもご質問いただいておりますけども、2,707万8,000円ということで、例年に比べますと、ちょっと抑制的な予算になっております。本会議でも答弁させていただいたように、状況の推移を見据えながら、また必要な対応は取ってきたいというふうに思っています。

それから、次の133ページをお開きください。情報戦略推進事業費のうちの業務委託料ですけども、そのうちの国内向けホームページ改修業務、これ業務委託料340万円のうち170万円を予定をしております、これまで国内向けの観光情報というのは、各観光協会が個別に発信をしておりますけども、一体的な発信が必要だということで、TTIが持っていますサイトを拡充する形で、市の公式的な位置づけをして、総合的な観光サイトを作成したいというふうに考えています。新規事業です。

その下のPR広告代行業務というのも、これ100万円ですけども、新規事業です。これまで情報戦略ということで、メディアとの関係をつくってきたんですけども、そこにプロを少し入っていただいて、話題ごとに適切なメディアへの情報発信ということで、新規事業で上げさせていただいております。

その下の下ですが、豊岡演劇祭協同開催事業費ということで、いろいろご指摘や議論になるところでありますけども、今年度同様の5,400万円を負担金として予算計上してございます。

それから、その下の演劇のまちづくり推進事業費のうちの業務委託料、企業版ふるさと納税推進業務ということで、先ほど坂本部長のほうから説明のありました企業版ふるさと納税の歳入の予算を1,000万円と見積もっております、それを業者をお願いすることによりまして、1,000万円の1.1%の手数料がかかるということで、110万円の

予算を計上しております。これは集まったふるさと納税に応じて払いますので、ゼロのときにはゼロだということになります。

それから、飛びまして、139ページです。これも継続事業ですけども、豊岡スマートコミュニティ推進事業費ということで、トヨタ・モビリティ基金との協働事業の豊岡市の負担分として100万円を予算計上させていただいております。事業費の多くはトヨタが負担をしてくれておりますけれども、豊岡市としての姿勢を示すという意味でも予算化を継続して上げさせていただいております。

その次の文化観光推進事業費です。これは後ほど歳入のほうで説明させていただきますけども、文化と観光のシナジーを生んでというようなことで、国が補助制度をつくりまして、3分の2補助されるということで、豊岡文化観光推進協議会というものを組成をしまして事業を進めております。そのうちの豊岡市分の事業です。具体的には、業務委託料のところにありますけれども、プロモーション冊子の制作、これは深さを持った演劇のまちづくりというものを、市内外の方々に理解、共感いただくために冊子を作ろうとしております。それから、玄武洞公園のホームページ制作業務ということで、今、玄武洞公園の整備をしておりますけども、玄武洞というのはジオパークのジオサイトとして位置づけられておりますけども、玄武洞を舞台にした芸術というようなものを想定をいたしまして、この事業費の中でホームページの制作をしたいというふうに考えています。

次の事業委託料の美しい村を舞台とした演劇公演事業というのは、これもご案内させていただいておりますけども、3月27日、但東の町民ホールで、但東の民話を基にした子供たちのワークショップをして、神楽を創るということをしておりますけども、この継続事業ということで、引き続き上げさせていただきます。

その下の地域おこし協力隊推進事業費のうち、大交流課分としまして13名分、5,924万7,000円が大交流課分でございます。

少し飛びまして、237ページをお開きください。中段辺りの観光事業費の業務委託料、観光データ基盤構築活用業務ということで、2,220万7,000円のうち、2,000万円が観光データ基盤構築活用業務です。これも本会議で度々説明させていただいております観光DX基盤の上で動くといいますが、その次のステップとして、観光のアプリ的なものを作ろうということで予算を上げさせていただいておりますが、これもちょっと歳入のほうで説明させていただきますけれども、国の補助金交付金を活用することを前提といたしております。

その下の補助金というのがありますけれども、観光協会補助金で5,048万2,000円、これ例年どおりです。合併前の旧町ごとの観光業界に対する補助金でございます。

次の山陰海岸ジオパーク推進事業費のうち一番下の負担金ですけれども、山陰海外ジオパーク推進協議会の負担金ということで、393万6,000円の予算を上げさせていただいております。これ今年度予算が295万2,000円ですので、ほぼ100万円ぐらいの予算が上がっておりますけれども、これは推進協議会としてGMを採用され、戦略的な事業を行っていくということで、加盟市町で負担割をし、豊岡市分として100万円程度の増額となっているものでございます。

次のページ、239ページをお開きください。一番下の玄武洞公園管理費です。これはお手を煩わせて、指定管理の期間が変更ということをお願いしている案件でございます。もともと4月から3月まで12か月間の指定管理を想定しておりましたけれども、工事の進捗の遅れによりまして、指定期間もそれに伴い遅れてくるということが分かってきましたので、分かりにくいですが、6行目、維持管理委託料、これは指定管理が始まるまでの4月、5月、6月を想定をし、有料化する前の維持管理委託料として3か月分、260万3,000円を上げさせていただいております。

その下の下の運営委託料ですけれども、そこに指定管理料がありますが、これも明日説明させていた

だきますけれども、当初12か月分の予算を組んでおりましたけれども、工事の遅れによりまして、指定管理有料期間が9か月ということで、1,583万7,000円の予算を上げさせていただいております。歳出は以上です。

次、歳入ですけれども、まず、31ページをお開きください。一番上の玄武洞公園観覧料です。これは有料化を前提に大人と大学生の比率を想定をし、9か月分の予算を見積もりつつ、ここに上げています予算といいますが、先ほどの歳出のほうで説明しました指定管理料と同額を上げておりまして、指定管理料と同額程度は公園観覧料が必要だということで、同額の歳入予算としておりますけれども、想定して見積もります。もう少し行くのではないかとこのように考えています。

次の39ページをお開きください。中段です。観光DX推進緊急対策事業費補助金ということで、先ほどご説明させていただきました観光DXの歳出2,000万円に対する歳入2,000万円でございます。これは観光庁の緊急DX推進対策事業費という、実証事業ですけれども、それが10分の10ということで、採択をされればこの予算が確保できるということになっています。

次は、41ページをお開きください。一番下の地方創生推進交付金ですけれども、このうち6,258万7,000円が大交流課分に充当されます。

それから、59ページですけれども、先ほど坂本部長のほうから説明がありましたけれども、一番下、企業版ふるさと納税の応援寄附金として1,000万円計上しております。ちなみに、今年度の実績は470万円程度になるかというふうに見積もっています。

ちょっと戻ります。ごめんなさい。35ページをお開きください。一番下ですけれども、文化芸術振興費補助金ということで919万9,000円、こちら歳出のほうで説明させていただきました文化観光の事業費1,379万9,000円の3分の2分を国の補助金を受けるという形で歳入予算として計上いたしております。

77ページです。最後になりますけども、過疎対策事業債のうち、城崎、竹野、先ほど説明させていただいた観光協会への補助金のうち、城崎、竹野、それから但東の観光協会に対する補助金につきましては、過疎債を充当させていただいているところ

です。

説明は以上です。

○分科会長（清水 寛） 説明は終わりました。

質疑はありませんか。

須山委員。

○委員（須山 泰一） どのページになるか、ありましたけど、演劇祭ですけど、実行委員会に5,400万円補助をするということでしょうか。それで、演劇祭全体の費用の規模はどれくらいか、もし分かれば教えていただきたいです。

○分科会長（清水 寛） 谷口参事。

○環境経済部参事（谷口 雄彦） 5,400万円、負担金です、負担金という形で豊岡市として支出をします。そのほか但馬県民局から補助金、それから養父市から負担金、それから香美町から委託料という形で、演劇祭実行委員会の収入になっております。それから、演劇祭実行委員会として、文化観光への補助申請をしておりますので、文化観光の補助金というものもあります。それから、チケット売上収入が主なものです。

ちょっと全体事業費につきましては、後ほど調べてお答えさせていただきます。失礼します。

○分科会長（清水 寛） よろしいですか。

ほかありますか。

西田委員。

○委員（西田 真） ちょっと95ページの城崎国際アートセンターの管理費で、経費が出とったと思うんですけど、これ今までの経費ってどれくらいになっとるんかちゅうのを一覧で出してもらうことができますか。（「管理費の積み上げ」と呼ぶ者あり）

そうですね。今分かったら言うていただいても結構なんですけど。どんなもんでどれくらいかかっているかいうのを。

○分科会長（清水 寛） 谷口参事。

○環境経済部参事（谷口 雄彦） 今、詳細な資料ちょっと探しますけども、大体年間管理費で1,800万円ぐらい、ずっと推移をしていたと思いますけれども、詳細はちょっと資料をそろえて、またご報告させていただきます。

○分科会長（清水 寛） 西田委員。

○委員（西田 真） 管理費というのは、募集や何かはまた別の話になるんですかね。どうなんですかね。

○分科会長（清水 寛） 谷口参事。

○環境経済部参事（谷口 雄彦） ここの予算で計上いたしてますとおり、例えば保守点検委託料だとか、修繕だとかという、その間を維持するために必要なものというのは、この管理費の中で一括して予算化させていただいています。

○分科会長（清水 寛） 西田委員。

○委員（西田 真） その一覧表というのを、委員長のほうから、ちょっとお願いできますか。

○分科会長（清水 寛） そうしましたら、資料のほうを委員のほうに提示をお願いします。

○委員（西田 真） 続けてお願いします。

○分科会長（清水 寛） 西田委員。

○委員（西田 真） 139ページですかね、文化観光推進事業ということで、プロモーション冊子と、また、美しい村公演事業ということをお聞きしとったんですけど、プロモーション冊子、どんなもんかいうのと、美しい村公演というのは、どこでされるんかいうのを、ちょっと教えていただければと思います。

○分科会長（清水 寛） 谷口参事。

○環境経済部参事（谷口 雄彦） 内容につきましては、深さを持った演劇のまちづくりを分かりやすく分かっていただくために、そういった内容を想定をしています。演劇祭だとか、城崎アートセンターという個別のものではなくて、豊岡市全体の深さを持った演劇のまちづくりというのはどういうものなのかっていうことを、今年度はビデオを作っておりまして、同じくこの補助金で、それを紙ベースに焼き直したものだということふうにご理解いただけたらと

思います。

○分科会長（清水 寛） それから、美しい村の部分。

○環境経済部参事（谷口 雄彦） 美しい村の。

○分科会長（清水 寛） 説明も。

○環境経済部参事（谷口 雄彦） これはですね、但東に、京都の烏丸ストロークロックっていう劇団が入って、いろんなリサーチをしました。そうすると、但東には村ごとにたくさんのお話が残ってるっていうことであったり、面積だとか人口に比べて、農村舞台がすごく多いっていう特徴が分かってきました。これは、但東の方からすると普通のことであまり意識されてなかったんですけども、外からの目でそういったことが分かってきたと。民話を持ち出して、もう一回読み直しをしたり、子供たちにもそれを読んでいただいて、その民話を基に子供たちが創作の神楽を創って、それを住民の方々にお披露目をするという、そういう取組をしております、これを単発で終わるのではなくて、継続的にやっていきたいなということで、この予算をさせていただきます。

○分科会長（清水 寛） 西田委員。

○委員（西田 真） 分かりました。理解しました。

そして、31ページです。玄武洞公園の観覧料1,583万円、この観覧料、これぐらいの金額を見込むというのは、どれぐらいの人数を想定されとるんかいな、ちょっとお聞きしたいと思いますし、この可能な金額か、当然可能な金額で想定されとるんでしょうけど、ちょっと人数的なものを教えていただけますか。

○分科会長（清水 寛） 谷口参事。

○環境経済部参事（谷口 雄彦） これまで無料であったときの玄武洞の年間入園者数というのが、大体16万人、13万から16万人ぐらいで推移をしております、その中からアンケートを取って、幾らなら負担できますかっていうアンケートを取ったところ、500円より下ってという人もいらっしたんです。そのパーセントで、500円より下って答えたパーセントは来ないだろうと、有料化されるこ

とによって。その残った数が来ていただけるんじゃないかということをやまず置きまして、その上、このコロナで旅行を控えている方がすごく多いということで、まず、初年度は有料化による減少とコロナによる減少で、低めに見積もってこの額を想定しておりますけども、数年後には8万人ぐらい戻ってくるんじゃないかというふうには想定はしていません。

○分科会長（清水 寛） 西田委員。

○委員（西田 真） 人数で言ったらどれぐらいですか。

○分科会長（清水 寛） 人数は。

○環境経済部参事（谷口 雄彦） 想定の数ですか。

○分科会長（清水 寛） 谷口参事。

○環境経済部参事（谷口 雄彦） ちょっとオミクロンがここまで広がる前の想定だったんですけども、来年度が5万4,000人、再来年度が7万人、2024年が7万7,000人、2025年に8万1,500人ぐらいに戻るんじゃないかというふうに予測をしています。

○委員（西田 真） いいです。

○分科会長（清水 寛） ほかにございますか。

それでは、質疑を打ち切ります。

続きまして、各振興局の説明を振興局ごとにお願ひします。

それでは、まず、城崎振興局及び城崎温泉課から説明願ひします。

城崎振興局地域振興課、橋本参事。

○城崎振興局地域振興課参事（橋本 郁夫） それでは、歳出から説明申し上げます。

91ページをご覧ください。ページの下の方になりますが、基金管理費です。このうち3行目下にございます市債管理基金積立金520万円のうち150万円ですが、城崎夢花火事業500万円の30%相当額になります。

次に、111ページをご覧ください。上の囲みにございます城崎振興局プロジェクト事業費です。城崎振興局プロジェクトとしましては、桜や柳並木の整備、大谿川の太鼓橋、パラペットの美装化、夢花

火事業への補助金、麦わら細工振興の推進と若者会議を行ってまいりたいと思っております。

囲みの下にございます事業委託料、麦わら細工振興事業ですが、豊岡の小学生を対象とした麦わら細工に関する学習会や製作体験としまして40万円を、その下の補修工事費は平成30年度から実施しております太鼓橋4橋とパラペットの美装化事業で、令和4年度につきましては、本年度に引き続きパラペットの美装化として231万9,000円の事業費を計上しております。

次に、255ページをご覧ください。下の囲み4行目、雪害対策事業費です。次のページに続きますが、257ページになりますが、上の囲み6行目の設備工事費です。こちらが城崎町楽々浦地区に整備しております消雪設備の水源の水量が減少したため、新たな水源を整備するもので、本年度から来年度の2年間で整備しております、令和4年度には190万円を計上しております。

次に、267ページをご覧ください。2つ目の囲み一番下、城崎駐車場管理費で、その中の修繕料でございます。これは城崎温泉駅前駐車場の屋外配電盤がさびて腐食しており、その修繕に係るもので、この駐車場につきましては指定管理施設となっておりますので、指定管理者との協定に基づく市の負担分となっております。歳出につきましては以上となります。

続いて、歳入についてですが、73ページをご覧ください。下の囲み、総務管理債の中央にございます地域振興事業債です。こちらは先ほど説明させていただきました大谿川のパラペット美装化に係るものでございます。

次に、75ページをご覧ください。中央の下、道路橋梁債の一番下、消雪装置整備事業債でございます。こちらは楽々浦地区の消雪設備の改修に係るもので、このうち190万円が城崎振興局分となります。

続きまして、77ページをご覧ください。一番下の枠、過疎対策事業債でございます。先ほど説明いたしました城崎夢花火事業への補助金などを含め

た振興局プロジェクト事業費と、あと指定管理施設、城崎文芸館の指定管理料に係るもので、合わせて1,120万円が城崎振興局分でございます。歳入につきましては以上となります。

なお、地方債につきましては、歳入での説明と重複しますので割愛させていただきます。以上となります。

○分科会長（清水 寛） 続いて、城崎温泉課、山田課長、お願いします。

○城崎温泉課長（山田 和彦） 私のほうから説明させていただきますのは、231ページのほうをお開きください。そちら記載の説明欄、上の枠の一番下になります。このページの真ん中辺り、城崎町湯島財産区特別会計繰出金でございます。3,000万円を計上させていただいております。これは泉源の管理等を行うものとして繰り出すものでございます。

説明は以上でございます。

○分科会長（清水 寛） 説明は終わりました。

質疑はありませんか。

西田委員。

○委員（西田 真） ちょっと2点だけ。パラペット、大谿川で431万9,000円でしたか、これどの辺の場所というのと。ちょっとそれをお願いします、取りあえず。

○分科会長（清水 寛） 橋本参事。

○城崎振興局地域振興課参事（橋本 郁夫） 来年度につきましては、地蔵湯橋から大谿橋の間となります。面積的なものでちょっと今、予算出していますが、そのうち、190平米ということで。

○委員（西田 真） メーターでは分からないか。

○城崎振興局地域振興課参事（橋本 郁夫） メーターでは……。長さが50メートル程度になるかと思います。

○分科会長（清水 寛） 西田委員。

○委員（西田 真） 了解しました。

そして、消雪の分の水源なんですけど、どんな感じなんですかね。今度やられる、今足りないという格好ですかね。どうですかね、その辺。

○分科会長（清水 寛） 橋本参事。

○城崎振興局地域振興課参事（橋本 郁夫） 今ある水源なんですけど、砂防堰堤のたまり水を使うようなことをしております、ちょっと砂防堰堤の水のほう、ダムの方の堆積とかいった部分で水量減ってきて不安定になってまいりました。それで、今度は水路の方から水源をとということで、安定した水路から水源を持っていこうということで、ちょっと変更といいますか、そういった工事しております。

○分科会長（清水 寛） 西田委員。

○委員（西田 真） 了解しました。

もう1点だけ、城崎温泉課の方なんですけど、毎年繰出金3,000万円があるんですけど、これいつ頃から始まっているやつなんですかね、何年度から。ちょっと教えていただけませんか。合併のときからでしょうか、どうでしょうか。

○分科会長（清水 寛） 山田課長。

○城崎温泉課長（山田 和彦） これは合併のときに3,000万円ということで始まっております。

○分科会長（清水 寛） 西田委員。

○委員（西田 真） ちょっといきさつを分かれば教えてください。

○分科会長（清水 寛） 山田課長。

○城崎温泉課長（山田 和彦） 当時の詳しいいきさつ、その部署におりませんでしたので、私のほう今たちまちすぐにご説明ということはなかなか難しいんですけども、合併協議のときに、このような協定がなされたというふうに認識しております。

○分科会長（清水 寛） 西田委員。

○委員（西田 真） あんまり詳しく聞いたらあかんことかなとしますけど、ちょっといきさつだけが分かればと思って、その確認をさせていただきたいと思って質問させていただきました。以上です。

○分科会長（清水 寛） ほかにありませんか。いいですか。

それでは、質疑を打ち切ります。

次に、竹野振興局の説明をお願いします。

竹野振興局地域振興課、平尾課長。

○竹野振興局地域振興課長（平尾 喜彦） 主な歳出

予算について説明いたします。

まず、113ページをご覧ください。説明欄の一番上、竹野振興局プロジェクト事業です。修繕料300万9,000円のうち、300万4,000円は振興局管内の市道、水路等の修繕に関わる費用です。

その3行下、業務委託料533万円は新規事業となる仲田光成作品洗浄業務で、市に寄贈をいただいた額作品156展のうち、早期に表装を行った55展において、染みやカビが発生しているため洗浄を行うものです。

その下、補助金の地域情報発信事業費は、竹野の情報を効果的に宣伝するため、マスコミなどの情報提供や観光パンフレット作成などの活動について、事業主体である一般社団法人たけの観光協会に補助するものです。補助事業一番下、竹野焼杉板景観保全事業は、竹野駅から竹野浜間を対象地域として、家屋の外壁に焼杉板を使用することに対して、材料費の3分の1を補助するものです。そのほかの補助事業につきましては、竹野の知名度向上及び地域経済活性化のため行われる事業に補助するもので、事業主体は事業を主体する実行委員会及び一般社団法人たけの観光協会です。

次に、241ページをご覧ください。上から1行目、竹野北前館管理費です。修繕料120万円は、温泉機器の部品交換及び非常ドアの修繕など、安全に必要な費用を計上しています。その他、主なものとしては、指定管理料の910万円を計上しております。

続いて、その下、竹野川湊館管理費です。指定管理料の328万6,000円と、庭木の剪定手数料、駐車場用地土地借地料等を計上しています。歳出は以上です。

次に、歳入について説明いたします。67ページをご覧ください。説明欄、中ほどより少し下、仲田光成氏作品貸付事務手数料10万1,000円は、仲田光成氏の作品の貸出しの際に頂く手数料です。

次に、77ページをご覧ください。説明欄の一番下、過疎対策事業債のうち、竹野振興局分として2,

540万円を計上しております。

次に、地方債について説明いたします。11ページ、第3表、地方債をご覧ください。一番下の過疎対策事業債は、歳入でご説明した内容と同じです。

以上で説明を終わります。

○分科会長（清水 寛） 説明は終わりました。

質疑はありませんか。

西田委員。

○委員（西田 真） ちょっと1点だけ確認させてください。113ページの仲田光成記念館の洗浄業務156展中55展ということで、カビやなんかが発生しとるということをお聞きしたんですけど、ふだんの保存方法はどんな感じでやっておられるのでしょうか。こういうカビが発生するような保存というのは、湿気や何かかなりあるところに保存されとるのでしょうか。どうでしょうか。

○分科会長（清水 寛） 平尾課長。

○竹野振興局地域振興課長（平尾 喜彦） 保存につきましては、川湊館の貯蔵庫、倉庫のほうに保存しておりますのと、もう一方では、城崎に保存する収蔵庫がありまして、そちらのほうに収蔵しておりました。令和3年度に川湊館の改修工事も完了したんですけども、これからはそちらのほうにエアコンなり除湿器を設置して管理することとなっております。

○分科会長（清水 寛） 西田委員。

○委員（西田 真） 今後はそれで、今理解しましたけど、今までこういうカビとかそういうのが発生した原因となる保存方法はということだったのでしょうかということをお聞きしとるんですけど。今までの保存方法ですね。

○分科会長（清水 寛） 平尾課長。

○竹野振興局地域振興課長（平尾 喜彦） 住吉屋歴史資料館だったんですけども、そちらのほうの蔵の1階と2階に段ボールに入れて、額のまま保存しておりました。一応除湿器はかけてはいたんですけども、近年、かな書展などで展示したときにカビを発見したような経過です。

○分科会長（清水 寛） 西田委員。

○委員（西田 真） カビが発生するということは、湿度が高いということがもう確実だと思うんで、今後は十分その辺は、せっかくの品物ですので、展示していただいて、また周囲の方に見ていただくという貴重なものですから、これは全部寄附をいただいた分ですね、そういうのですから、寄附していただいた方とか遺族とか、その辺も含めて丁寧に保存していただいて、後世に残るようなものですから、今後はしっかりとその辺の保管方法をやっていただきたい。お願いしておきます。以上です。

○分科会長（清水 寛） ほかがございますか。

特にないようですので、質疑を打ち切ります。

続いて、日高振興局の説明をお願いします。

日高振興局地域振興課、吉田参事。

○日高振興局地域振興課参事（吉田 政明） 115ページをご覧ください。説明欄1つ目のくくり、日高振興局プロジェクト事業費421万6,000円について主なものを説明します。報償金について13万円を計上しております。内訳については、日高東中学校と西中学校で開催を予定しております日高地域の先輩に学ぶ事業の講師謝礼8万円と、日高地域づくり運営事業に係る謝礼5万円です。少し下の修繕料403万6,000円は、道路、水路等区内環境改善事業で、新規の緊急的な要望等に対応するための予算です。

次に、121ページをご覧ください。説明欄、中段、電源立地地域対策交付金事業費について、例年と同額の460万円を計上しております。これは発電用施設周辺地域を中心に、道路や水路補修工事等を行うもので、電源立地地域対策事業費交付金440万円を財源としております。

次に、237ページをご覧ください。観光事業費です。説明欄の下段辺りの日高夏まつり事業費について、例年と同額の100万円を計上しております。

続いて、241ページをご覧ください。観光施設管理費です。説明欄の中段の道の駅神鍋高原管理費の修繕料について413万2,000円を計上しております。道の駅の受水槽配水管用ポンプの交換工事と、神鍋温泉ゆとろぎの水風呂及びジェット風呂

ポンプの交換工事を予定しております。

その下の運営委託料341万円は、道の駅のトイレの維持管理費に係る指定管理料です。

続いて、243ページをご覧ください。説明欄の上から9行目、解体工事費557万円のうち、157万円が日高振興局分で、神鍋高原にある観光トイレ2か所の解体工事を予定しております。

続いて、245ページをご覧ください。説明欄下段の道の駅神鍋高原整備事業費の業務委託料について200万円を計上しております。道の駅周辺の観光事業者や生産者等と一緒に地域連携を含めた道の駅の機能の在り方や運営手法の見直し等も含め、道の駅の最適化を図る整備運営計画を策定するための費用です。芸術文化観光専門職大学との連携事業により取り組む予定です。

その他歳出については、昨年度と大きな変更はございません。歳出は以上です。

続いて、歳入に移ります。31ページをご覧ください。説明欄4枠目の4行目、江原駅周辺駐車場270万円が日高振興局の計上分です。

次に、45ページをご覧ください。大きなくくりの2つ目、説明欄1行目、電源立地地域対策事業費交付金440万円ですが、先ほど歳出で、電源立地地域対策交付金事業費の財源として説明させていただいたものです。

説明は以上です。

○分科会長（清水 寛） 説明は終わりました。

質疑はありませんか。

西田委員。

○委員（西田 真） ちょっと1点だけ確認をさせてください。241ページの道の駅の修繕なんですけど、道の駅の修繕も毎年ぐらに上がってきてるんですけど、どうなのでしょうかね。今までの修繕の一覧とか出せますか。どうでしょうか。

○分科会長（清水 寛） 吉田参事。

○日高振興局地域振興課参事（吉田 政明） 手元に資料はそろえてないんですけども、詳細についてはまたご報告させていただきたいと思います。

○委員（西田 真） 委員長、ちょっと資料要求お

願います。

○分科会長（清水 寛） そうしましたら、また資料のほうを提出よろしくをお願いします。

ほかにご覧いませんか。

○委員（西田 真） 以上です。

○分科会長（清水 寛） 須山委員。

○委員（須山 泰一） これは、どこで聞けばええかですけども、日高のスクールバス、日高、三方っていうようなものはどこで。今、振興局に聞いてよろしいですか。

○分科会長（清水 寛） 今の多分、文教のほうのになると思いますので。

○委員（須山 泰一） すみません。

○分科会長（清水 寛） ほかにございますでしょうか。よろしいですか。

森垣委員。

○委員（森垣 康平） 道の駅は、これホテルが誘致されるのでっていうことで改修がたくさんかさんでると思うんですが、ちょっと聞いた話では、レストラン経営とか、あの辺に関して支障が出てるっていうような話を少し聞いたんですが、その辺の経緯をちょっとご説明いただけませんか。

○分科会長（清水 寛） どうぞ。

○日高振興局地域振興課参事（吉田 政明） 一般質問においても、小谷局長のほうから少し説明というか、答弁させていただいたと思います。道の駅の隣に、本年の秋、今、業者によると11月を開業予定として計画をされてます。民間ホテルが整備される、その整備される際に道の駅の飲食の充実を図るということで、指定管理者である日高振興公社において、飲食の再委託先の募集をかけておりました。ところが、調整できず、再委託先が見つからず、大幅な計画の変更になってしまったというものです。市においては、飲食施設の再委託先の改修計画を参考に、道の駅の飲食部分のリニューアル工事を行う予定でしたので、大きく計画を見直すことになってしまいました。

ホテルオープンには飲食の充実というのは間に合わないんですけども、そういった原因の一つと

しては、道の駅を指定管理する日高振興公社が地域の事業者との情報共有ですとか、情報交換が不足によるものだというふうに考えておまして、やはり道の駅が地域の事業者を支えて、さらに道の駅が地域の事業者を支えられるような、そういう連携協力体制をしっかり築いた後に整備、運営計画というものを立てて、リニューアル工事に向かいたいなというふうに考えておるところです。

○分科会長（清水 寛） 森垣委員。

○委員（森垣 康平） その辺は重々今後は慎重に進めていっていただきたいなと思っておりますので、よろしく申し上げます。以上です。

○分科会長（清水 寛） ほかございますか。よろしいですか。

それでは、質疑を打ち切ります。

次に、出石振興局の説明をお願いします。

出石振興局地域振興課、川崎参事。

○出石振興局地域振興課参事（川崎 隆） 出石振興局の分については、主な事業について説明させていただきます。

それでは、115ページをご覧ください。中の段の下から6行目のところにあります出石振興局プロジェクト事業です。事業費といたしましては603万7,000円を計上しております。そのうち2行下にあります消耗品費は、若者会議での意見交換やワークショップ等などの必要な資料作成のほうで購入費として10万円を計上しております。

その下の修繕料につきましては、道路、水路等の区内環境整備事業などおいてまして、地域の要望に対するため338万3,000円を計上しております。

その下の補助金は、出石お城まつり事業費です。出石地域の伝統的なイベントであります、今回50回の出石お城まつりを支援するもので、城下町出石の観光の発展や地域の活性化に寄与するものとして250万円の補助をしております。

次に、241ページをご覧ください。下から5行目のところにあります観光施設管理費です。1,317万5,000円のうち、出石振興局分は390

万4,000円に計上しております。これは出石の市街地にあります4か所の観光トイレの維持管理費を計上しているところです。

次に、267ページをご覧ください。中の段の下から12行目にあります出石駐車場管理費でございます。西の丸、鉄砲町、庁舎南駐車場の市営駐車場の運営に係る委託料や、繁忙期の交通誘導警備員業務と光熱水費等維持管理費の合わせまして1,659万5,000円を計上しております。歳出については以上でございます。

続きまして、歳入です。31ページをご覧ください。上から4段目の2行目の駐車場使用料でございます。出石西の丸駐車場556万円、それから出石庁舎南駐車場652万4,000円、出石鉄砲駐車場967万円が出石振興局分でございます。

次に、57ページをご覧ください。上から2つ目のくくりの1段目の土地貸付収入でございます。2,325万3,000円のうち、出石振興局分は191万1,000円を計上しております。これは株式会社キリンジさんへグランピング用地として貸付けを行うものでございます。

説明は以上でございます。

○分科会長（清水 寛） 説明は終わりました。

質疑はありませんか。

須山委員。

○委員（須山 泰一） 駐車場について、無人化の話が出てるって聞きまして、そういう話がありますか。

○分科会長（清水 寛） 川崎参事。

○出石振興局地域振興課参事（川崎 隆） 以前そういう話があったようすけども、今のところは出石のほうではありません。今、交通環境改善事業ということで、出石地域の観光客の流れなど調査しています。それで、またその調査結果をもとに、その辺も考えながら進めていきたいなと思っているとございます。

○分科会長（清水 寛） 須山委員、よろしいですか。

○委員（須山 泰一） 見てたら、また部署が違うと思うんですけど、竹野駅では無人化にならないよう

に補正予算19号でしたかね、ならないようにと補助するってようなことがありまして、地元の方からは人がおってこそだと、観光客に対しても人がおってこそだと、それでぜひ無人化は何とかそういうことは考えないでほしいと要望を聞きましたので、よろしくお願ひしたいです。以上です。

○分科会長（清水 寛） ほかございますか。

○委員（西田 真） 委員長、1点だけ。

○分科会長（清水 寛） 西田委員。

○委員（西田 真） 57ページの土地の貸付け、2,323万何がしの991万1,000円ということだったんですけど、これの土地の貸付けのグランピングということでしたけど、場所はどこだったでしょうか。教えていただけますか。

○分科会長（清水 寛） 川崎参事。

○出石振興局地域振興課参事（川崎 隆） 出石の福住に当たるんですけども、出石の病院の道路を挟んで、野球場とかがあるんですが、その上に以前温泉の……。

○委員（西田 真） 乙女の湯。

○出石振興局地域振興課参事（川崎 隆） そうです。乙女の湯のところですよ。

○分科会長（清水 寛） いいですか。

ほかございますか。よろしいですか。

それでは、質疑を打ち切ります。

続いて、但東振興局の説明をお願いします。

但東振興局地域振興課、小川参事。

○但東振興局地域振興課参事（小川 一昭） では、主な歳出予算についてご説明いたします。

117ページ、中ほどより下をご覧ください。但東振興局プロジェクト事業費です。修繕料は振興局地域内の道路、水路等や移住促進住宅の修繕に係る費用です。若者会議はTANTOミーティング開催業務として、市民が将来像や理想を共有し、実現のための手法を共に探し、共に実行する、誰にも居場所のある地域をつくるため、多様な人々が集まって気軽にまちの将来像や希望を語り合える場を創出します。企画運営につきましては、地域おこし協力隊へ業務委託する予定です。また、若い世帯を中心

とした移住促進や交流人口拡大など、但東地域で暮らす魅力を高めていくため、移住促進住宅の適切な維持管理のため、補修工事費として500万円を計上しています。

225ページ、中ほどより少し下をご覧ください。治山事業費です。シルク温泉やまびこの山腹崩壊の復旧のため、本年度進入路のり面、施設東側及び南側のり面において調査測量設計業務を実施し、対策工法を検討しました。令和4年度は山腹崩壊の復旧のため、防災対策工事費のうち6,950万円を計上しています。

241ページ、中ほどより少し下をご覧ください。但東シルク温泉やまびこ管理費です。施設の安定的な稼働、運営と利用者の利便性向上のため、経年劣化が進む設備を更新し、適切に管理するため、投資委託料200万円、整備工事費800万円を計上しております。

245ページ、上から5行目、但東観光施設管理費です。たんとうチューリップまつり開催事業費補助金として200万円を計上しております。従来のチューリップまつり会場だけの祭りではなく、期間中は但東町地域全域で周遊型の企画が計画されています。地域課題を自分事にし、多様な人が関わる但東を目指し、たんとうチューリップまつりを核に市民参画と観光客誘致による地域活性化を目指します。

次に主な歳入についてご説明いたします。31ページ、中ほどより少し上をご覧ください。移住促進住宅使用料336万円です。市営中山向町移住促進住宅と豊岡市営赤野移住促進住宅の住宅使用料です。

75ページ、4枠目をご覧ください。林地崩壊対策事業費のうち、6,950万円はシルク温泉やまびこの山腹崩壊の復旧のため、防災対策工事費分として計上しています。

次に、地方債についてご説明いたします。10ページ、下から8行目です。先ほど歳入でご説明いたしました治山事業費、林地崩壊対策事業費のうち、6,950万円を計上しております。

説明は以上です。

○分科会長（清水 寛） 説明は終わりました。

質疑はありませんか。

西田委員。

○委員（西田 真） 1点だけ。117ページの移住促進住宅の補修の件なんですけど、場所とどういう補償をされるんかいうのを、ちょっと教えていただけますかね。

○分科会長（清水 寛） 小川参事。

○但東振興局地域振興課参事（小川 一昭） 移住促進住宅は2か所ありまして、今回修繕を行うのは市営中山向町移住促進住宅のほうを行います。5棟分で主な修繕内容といたしましては、給湯器等の更新、また、受電盤の改修を行おうと思っております。以上でございます。

○委員（西田 真） 以上です。

○分科会長（清水 寛） 荒木委員。

○委員（荒木慎太郎） 但東振興局というわけではなく、各振興局になるんですけれども、この前の一般質問の中でも、若者会議の話少し触れさせていただいて、年齢層のところなんですけれども、一般質問、僕のをちょっと見ていただいた方に、子育て世代の方を対象にというお話があったんですけれども、あまりにもちょっと年齢層が広過ぎるといえるか、その方は40代後半の方なんですけれども、女性で、それで、子育て世代で呼ばれてしまうと、若者にはちょっと属しづらいんじゃないかなという話をいただいたもので、もう一度、ちょっと年齢層をしっかりと設定していただいて、若者会議を開催していただけたらと思いますので、これ答弁は結構ですので、そこだけお答えさせていただきます。以上です。

○分科会長（清水 寛） くれぐれもよろしくお願ひします。

○委員（竹中 理） 関連で。

○分科会長（清水 寛） 竹中委員。

○委員（竹中 理） ちょっと今、質問が出たんで、関連で。僕も質問聞いてて、若者世代っていう大きなくくりの中で、子育て世代は言われたんですけど、ただ若い人っていうか、独身の人の意見は拾うの

かどうか。ずっと回って聞かれるっていう話もあったんですけど、その辺なんかはどういうふうにご考えておられるんですか。（「どう聞かれる。各振興局長」と呼ぶ者あり）

すみません、ちょっと時間があるんで、すみません。（「さらっと」と呼ぶ者あり）

はい、さらっとでいいです。

○分科会長（清水 寛） そしたら、お願いします。

○城崎振興局長（植田 教夫） 城崎については、子育て世代という広い枠で、まずアンケートをしようというふうなことでございます。その中で、年齢層はどういうふうな考え方を、それぞれの年齢層はどういうふうなことを考えているかっていうことを調べた上で、次のステップとして若者会議でどういうふうなことを、企画をしたらいいのだろうかということを検討していきたいというふうにご考えております。

ただ、全ての子育て世代、私も子育て世代だったりしますので、なかなか若者会議と言にくいところもありますから、その辺はもう少し考えていきたいなというふうには考えております。

○分科会長（清水 寛） 瀧下局長。

○竹野振興局長（瀧下 貴也） 私も一般質問をいただいた際に、様々な方々の意見を伺いたい。ただ、特定の団体になりますと、例えば竹野では答弁のときに申し上げましたけども、観光協会でも青年部等がございまして、やはりそういったことを話しますと、どうしても観光の話だけに偏ってしまうだろう。今回4月で小学校が統合するという事の中で、竹野町内全域に会員の皆さんがおられるということなので、まずターゲットはそこということでご答弁させていただきました。

もう一つ、私、今考えているんですけども、具体的にまだ先方さんと話ができてないので、ここで申し上げることがいいのかなんですけども、実は今、地域おこし協力隊、昨年来てくれた方が、サードプレイスっていうって、家庭でもない、学校でもない、中学生や高校生の方を対象にした様々な悩みだとか、また、分からん授業ちょっと教えたりだと

か、そういうことを始めました。今、振興局の豊岡市商工会の2階を借りて、そういうことの事業も始めてますし、また、その子が出石でも新たな事業展開、今進めようとしていますので、竹野の高校生が集まったときやなんかに、ほんまに若い子供なんで、そこの方々にちょっと一度声かけをして、将来の竹野についてどんなことを思ってるってことは話をしようとは思ってますが、まだ先方さんのほうに十分なその辺の趣旨等が説明できてないので、せんだったの一般質問ではちょっとお控えをさせていただいたところでございます。以上です。

○分科会長（清水 寛） 小谷局長。

○日高振興局長（小谷 士郎） 日高地域については、特に若者という線引きというのは今のところは考えてないです。というのは、いろんな団体がありますので、いろんな団体の方の意見を聞くと、その中で若者の方がどういうふうな将来像を持っておられるのかというのを、力を入れて聞いていくことを考えてまして、事業名としては、日高地域づくり運営事業ということで、特に若者に限ってということではございません。

ただ、どうしても団体によって、若者っていうのは変わるんですね。これは私の村の例なんですけど、日役というのがあります。その中で、この隣保の中で活動するときで、うちの隣保では、若者といったら私になってしまいます。というふうに、60ぐらいになっても若者なんですね。だから、そういった各種年代の方の意見をどんどん聞き入れて、内容によっては、振興局プロジェクト的に取り上げれるものは拾い上げていきたいというふうな考えでいこうと考えています。以上です。

○分科会長（清水 寛） 村上局長。

○出石振興局長（村上 忠夫） 私は一般質問のときに、具体的に大体20代、30代というふうなお答えをしたと思います。ていいますが、40代、50代っていうのが、これまでプロデューサー事業でかなりそういった意見なんかを出し合うような場を持ってましたものですから、それが今まだ引き続きいろいろとそういった地域の中で動きがあると

いうことですので、さらにそこに参加されてないっていうことで、30代から下、30代、20代ということを想定してます。

ただ、きっかけとして、どっか窓口についていうことを考えたときに、たまたま去年、商工会青年部の出石支部の総会に伺ったときに、私自身が顔も名前も知らないっていうメンバーさんがかなりいらっしまったんです。そういう意味では、彼らと話す機会っていうのは改めて持ってもいいんじゃないかなというふうな思いを持ちまして、一応そこを窓口について考えとって、そうすることによって、当然子育て世代もあれば、独身の方もいらっしゃる。ただ、先ほど出てましたように、どうしても商工会となりますと、ある分野の話題に集中してしまいがちなかなということがありますので、そういったメンバーさんをきっかけに、PTAのつながりであったりとか、またそれぞれ所属されてるサークルのつながりの中で輪を広げて、いろんな方に参加いただけたらなというふうに考えています。以上です。

○分科会長（清水 寛） 但東、小川参事。

○但東振興局地域振興課参事（小川 一昭） 実際、本年度アンケートをいたしました。小学校3校ありますから、3校とあと中学校です。その中で、若者会議を行った場合、出席したいという手を挙げていただいた方、また子育てセンター、今まだ予算段階ですので、通りましたら専門職大学でございませう。そちらの講師と連携しながら、地域に入っただき、学生と共にいろんな掘り起こしていきたいなと思っております。

また、考えとしましては、若者や女性、特に今まで声を出してない、役員となつてない方を集める場として、場所の設定は古民家の大石家住宅、こちらを考えております。年10回程度のミーティングを行いながら気楽に話していただける場を創出したいなと考えております。以上です。

○分科会長（清水 寛） ありがとうございます。

○委員（竹中 理） ありがとうございます。

○分科会長（清水 寛） よろしいですか。

○委員（竹中 理） いいです。

○分科会長（清水 寛） ほかございますか。

石田委員。

○委員（石田 清） ちょっと教えてほしいんですけど、各振興局プロジェクト事業費の中の修繕料、何百万円かそれぞれ入っておりますけども、これはどのような執行をされる修繕料なのでしょうか。直営工事ということでしょうか。まずそれを。

○分科会長（清水 寛） そしたら、橋本参事。

○城崎振興局地域振興課参事（橋本 郁夫） これ各振興局のほうに予算振り分けということでされてるものなのですが、地域に状況に応じてということになります。道路及び側溝関係の少額修繕ということで執行させていただいてる分になります。大きな道路関係ですと、建設課のほうで予算立てしていただくものもございますが、あと地域が大体30万円程度、未満というような、そういった少額工事を主に行うようなことで執行させてもらってる部分になります。

○分科会長（清水 寛） これは、ほかの振興局も同じ内容ですね。

○城崎振興局地域振興課参事（橋本 郁夫） はい。

○分科会長（清水 寛） 石田委員。

○委員（石田 清） 建設課にもちょっと確かめてみようと思いますんですけど、それに似たものが1,000万円減になるとるんで、これはどういう形、いやいや、道路とか生活排水とか、ちょっとやるのが1,900万円の去年度予算、3年度予算が1,000万円減になってると、そして、ここに上がってきている修繕料というのが1,000円単位まで細かい数字が上がってきとるんで、一体この予算の関連はどうなってるのかなということなんですけどね。

あと建設課のほうの話については、また確認させてもらいますけども、従来どおりやった30万円枠の執行者は直接地元がやるんですよという補助金的な修繕料ということですか。

○分科会長（清水 寛） 橋本参事。

○城崎振興局地域振興課参事（橋本 郁夫） 執行自体は、地区といますか、各振興局で出すんですけど、

実際の事業というのが地元の建設業者とか、そちらのほうに修繕料といますか、工事費用とかいうことで執行させてもらってます。

○分科会長（清水 寛） 石田委員。

○委員（石田 清） そういう意味で修繕料という、実際取り扱ってるのは地元の区長さんだったりしませんか。工事じゃないですよ、手続を全部。

○分科会長（清水 寛） 橋本参事。

○城崎振興局地域振興課参事（橋本 郁夫） 区のほうへ出す補助金というわけではなく、実施自体は市になります。各振興局、市が執行した後、業者のほうへお願いしてる内容になります。

○委員（石田 清） 分かりました。

○分科会長（清水 寛） よろしいですか。

ほかございませんか。よろしいですか。

坂本部長。

○環境経済部長（坂本 成彦） ちょっと先ほど答弁で誤りがありましたので、修正をさせていただきます。申し訳ありません。

石田委員から質問がありました。出石焼へのサポートというふうなことなんですけども、東京の青山スクエアでの出展等、今年はありませんというふうなお答えをしましたが、直接補助ではなくって、実は地場産の事業として毎年やっていて、地場産に対する補助という形を取ってありましたもんですから、新年度も同じように予算組みをしております。ただし、コロナの関係があるので、青山でやるかどうかというのは分かりませんが、新年度はありませんというふうにお答えしましたが、地場産への補助という形で生かしております。失礼しました。

○分科会長（清水 寛） 谷口参事。

○環境経済部参事（谷口 雄彦） 答弁漏れをしてました。西田委員と須山委員への質問の回答なんですけども、口頭でいいですか、資料のほうがいいですかね、アートセンターの。

○分科会長（清水 寛） どうですか。

○委員（西田 真） 資料のほうが分かりやすくいいです。

○分科会長(清水 寛) 資料のほうがいいですか。

○環境経済部参事(谷口 雄彦) 須山委員のは……

(「演劇祭の総額」と呼ぶ者あり) 演劇祭の総額事業費なんですけども、まだ決算がくくれてませんので、見込みですけれども、当初予算が8,850万円の事業費で組んでおりましたが、コロナで中止になりましたので、結果として6,795万円の事業費に落ちようかというふうに見込んでおります。

○分科会長(清水 寛) よろしいですか。

そうしましたら、質疑を打ち切ります。

それでは、環境経済部、各振興局の職員の方は退席いただいて結構です。お疲れさまでした。

暫時休憩します。

午前11時15分 分科会休憩

午後0時58分 分科会再開

○分科会長(清水 寛) それでは、ただいまから建設経済分科会を再開します。

それでは、第32号議案、令和4年度豊岡市一般会計予算を議題とします。

次は、コウノトリ共生部に関する審査です。当局におかれましては、新規事業、前年度から大きな変更のあった事業及び主要事業等の議会説明を要する事業について、その概要を簡潔に説明願います。

順番については、歳出、歳入、債務負担行為、地方債の順にお願いします。

なお、説明に当たっては、資料のページ番号をお知らせください。

質疑は説明が終わった後、課ごとに行います。

それでは、まず、農林水産課から説明願います。

農林水産課、柳沢課長、お願いします。

○農林水産課長(柳沢 和男) 私のほうから、農林水産課の当初予算案を説明させていただきますけれども、先ほどありましたように新規事業や大きな方針変更のあったものなど、重要事項を中心に説明し、そのほかのものは説明を割愛させていただきますので、ご了承ください。

それでは、93ページをお開きください。まず、歳出でございます。説明欄の上から4行目、基金管

理費のうち森林環境基金積立金です。歳入の森林環境譲与税8,167万8,000円のうち3,071万5,000円を、新年度は積み立てる予定でございます。この譲与税を財源に実施する事業は後ほど説明させていただきますけれども、その残りを積み立てるというふうなことでございます。

それでは、133ページをお開きください。次に、地方創生推進事業です。133ページの下から2行目、新規就農総合支援事業費は3,809万8,000円です。

ページをめくっていただきまして、135ページをご覧ください。補助金の新規就農者確保事業は、国の事業によるものでございます。次の若手農家支援事業は、市単独事業によるものでございます。それぞれ経営開始時の資金、農業用機械の整備などを支援するものでございます。

次の農業スクール開校事業費824万円では、就農意欲のある者へ生産技術等の研修を委託により行うものです。この2つの事業、ともに新規就農を支援する事業として新年度も継続をいたします。新規就農総合支援事業費のほうでは、資金の提供16名、機械の支援を3名程度というふうに想定しております。農業スクールの開校事業のほうにつきましては5名分の経費を計上させていただいております。

次のスマート農業推進事業費は69万2,000円の計上でございます。農作業の省力化を目的にして、昨年度に引き続き水田センサーによる水管理、水位であるとか、水温、地温のデータの取得ということになりますけれども、こういったデータ収集を行います。その予算は消耗品からクラウド使用料までの38万1,000円というふうなことでございます。事業用備品31万1,000円は低コスト水管理機器を導入するもので、一部の圃場に設置をして水管理の省力化の実証を行いたいというふうに思っております。

続きまして、139ページをご覧ください。一番下の項目になります。地域おこし協力隊推進事業費は、内数で農林水産課分としては1,918万4,

000円、隊員4名分を計上しております。本年度からの継続の方4名分を計上し、1人当たり、隊員分として479万6,000円の4人分というふうなことで計上しております。

続きまして、213ページをご覧ください。ここから農林水産業費になります。下の囲みの農業振興費1億6,175万3,000円のうち、補助金の下から2番目、特産物集出荷施設整備事業費1億5,201万9,000円は、JAたじまへ交付するもので、ピーマン選果場の整備に係るものです。これは現在、八鹿町宿南にある施設が手狭になったことから、但東町にある旧ライスセンターを改修し、施設の増強を図るというものでございます。本年度に実施設計を終え、来年度は施設改修、設備導入を行う予定にしております。国の農山漁村振興交付金、補助率2分の1でございますけれども、それと県の支援をプラスして、実施をされるということで、市を通して交付をさせていただくということでございます。次の水田麦・大豆産地生産性向上事業費375万8,000円は、中谷農事組合法人へ交付するもので、国の補助2分の1を受けて、コンバインを導入するものでございます。

続きまして、215ページをご覧ください。上から2つ目の項目、有害鳥獣駆除対策事業費1億759万3,000円、次の鳥獣被害防止緊急対策事業費2,469万8,000円では、引き続き有害鳥獣対策を推進していきます。駆除の面では、第3期シカ有害被害撲滅大作戦による年間捕獲頭数6,500頭の目標を掲げ、鹿を中心に捕獲を推進いたします。防除では、豊岡市野生動物被害対策推進協議会を通じて、金網柵、電気柵、ワイヤーメッシュ柵を3集落で、延長1.1キロメートルの設置を支援させていただきます。

続きましては、その下です。日本型直接支払制度の3事業になります。継続しての支援で、農地の維持に関する事業になります。まず、条件不利地の生産活動を支援する中山間地域等直接支払事業費は4,763万6,000円を計上し、第5期の3年目として取り組む地域40地区を支援させていた

できます。

次の農地維持及び共同活動を促進する多面的機能支払事業費は2億5,315万7,000円を計上し、共同活動で123組織、施設の長寿命化の事業で93組織に支援するものでございます。

217ページに移っていただきまして、一番上の項目、地球温暖化防止や生物多様性保全を推進する環境保全型農業直接支払事業費は5,085万円を計上し、本年度の実績700ヘクタール弱程度を来年度も見込んで支援を行いたいと思っております。

その下、コウノトリ育む農法推進事業費は383万7,000円です。このうち業務委託料のコウノトリ育む農法拡大アドバイザー業務はコウノトリ育む農法に取り組む面積の拡大を目指して、生産上の課題等を整理し、コンサルタントに関わってもらいながら今後の施策の検討を行いたいと考えています。その経費として、業務委託料303万3,000円のうち、269万5,000円を計上しております。

次は、1つ飛んで、人・農地プラン推進事業費1,296万円です。今、農地の集約化を進めておりまして、農地中間管理機構というところがそういうふうな集約の事務をしておりますけれども、事業を展開しておりますけれども、この機構に農地を一定割合以上貸し付けられた場合に協力金等を交付するもので、新年度は5地域で1万7,750アールを見込んでおります。

また、1つ飛んで、法人化・高度化促進施設整備事業費361万1,000円については、農業経営体の法人化、規模拡大等を進める事業で、新年度は、但東町、ひらた営農組合の機械導入、コンバイン、あぜ塗り機等に支援をさせていただきます。

次は3つ下の項目、豊岡市農業ビジョン推進事業費500万4,000円です。「豊岡グッドローカル農業」とのキャッチフレーズの下、農業ビジョンの取組を具体化し、推進するため、現在、農業ビジョン推進委員会を設置して進めております。新年度は推進委員会の開催、具体的な事業の検討としてのプロジェクトチームの設置、農業ビジョンの普及、

推進としての豊岡グッドローカル農業大会の開催などを進めていきたいと思っております。プロジェクトチームで描いた事業につきましては、順次実施に向けての予算提案をさせていただきたいというふうに考えております。

これらの農業ビジョンの推進に当たり、総務省の地域活性化起業人交流プログラムというのを活用し、外部人材を引き続き1名配置をする予定でございます。その負担金として367万6,000円を計上しております。

続きまして、219ページのほうに移っていただきたいと思えます。上から2番目の項目、農業用施設管理費2億3,286万1,000円です。ここでは、基幹農道の維持管理、防災・減災の事業を行います。

まず、真ん中辺りにある整備事業費1億5,100万円ですが、トンネル照明は、農道のいずたんトンネルの照明のLED化分で8,200万円。ため池廃止は、使用しなくなった農業用ため池、具体的には森尾区の神津池の分で1,000万円。農免農道安全対策につきましては、清滝農免農道の山宮地内の擁壁の亀裂が入っておりますので、そこへの対応分として5,900万円を予定しております。

少し上に戻っていただいて、投資委託料3,500万円は、今後の工事に向けてのもので、ため池廃止についての詳細設計4か所分とトンネル照明LED化の詳細設計、清滝トンネル、進美寺トンネルのものを予定しております。

補修工事費のうち50万円は、竹野町御又農村公園にある遊具が壊れていることから、撤去をする予定にしております。

その下、基盤整備促進事業費1億2,782万9,000円です。こちらでは、農道橋の耐震化、長寿命化の事業、五条大橋、蓼川大橋になりますけれども、その分。水路の長寿命化事業、これは亀山水路分。農地整備事業につきましては、下鶴井、内町、出石町伊豆での事業となります。中でも内町の圃場整備事業は、県営事業となりますけれども、市が受託をして事業実施するものでございます。伊豆の農

地整備が新規のもので、あとは継続事業分でございます。

予算の概要ですが、まず、投資委託料2,500万円は、農地整備に係るもので、内町の換地業務が500万円、伊豆の事業計画策定が2,000万円というふうな内容でございます。

整備工事費5,500万円は、内町の補助整備分です。負担金4,689万1,000円のうち、524万1,000円が亀山水路の改修分、221ページのほうに移っていただいて、農地整備事業の分として1,275万円が下鶴井、内町の分になります。基幹農道整備の2,890万円につきましては、農道橋工事の五条大橋、蓼川大橋に係るものになります。

続きまして、225ページをお開きください。ここからは林業、森林関係の事業になります。下の囲みの真ん中辺り、治山事業費です。1億1,393万6,000円のうち、農林水産課分は4,443万6,000円となります。県の補助を受けて行う防災対策工事は2,053万6,000円で、豊岡の正法寺、日高町観音寺での実施を予定しております。市の単独事業として行うのは、豊岡の小島、但東町三原で、今後の工事に向かうための詳細設計を委託として2,320万円計上しております。但東町水石では、補修工事70万円として、大型土のうの設置をする予定をしております。

その2つ下、林道管理費1,138万9,000円のうち、新規のものは、投資委託料として、竹野町桑野本のシブシブ橋の補修に係る設計を行います。県の補助を受けて行うもので611万4,000円を計上しております。

227ページのほうに移っていただきまして、上から3つ目の項目、森林環境整備事業費4,695万2,000円です。ここでは、森林環境譲与税を活用した森林環境整備の取組を進めます。

業務委託料として、まず、豊岡市林業ビジョンの策定に向けての検討に際し、検討委員会運營業務に335万3,000円。森林経営計画調査業務、これは、森林所有者情報の収集であるとか、森林所有

者の事業の意向等調査になりますけれども、そういう業務に3,859万9,000円、合計4,173万4,000円を計上しております。林業ビジョンにつきましては、来年度中の策定を予定しておりますのでございます。

また、補助金では、作業道の補修や緊急度の高い危険木の伐採など、比較的小規模な課題に対応するために森林環境保全対策事業補助金というのを今年度創設させていただきました。引き続き地元の課題解決の支援を行いたいと思っております。予算は500万円を計上し、補助率3分の2、上限130万円というふうな内容で行いたいというふうに思っております。

229ページをご覧ください。ここからは水産業関係の予算になります。一番下の囲みの1番目、水産振興事業費959万7,000円です。利子補給金197万9,000円では、原油高騰に対するセーフティーネットへの漁業者負担金、新型コロナウイルスの影響による借入れとしての、豊かな海づくり資金というものの利子などに対しまして支援を引き続き行っていきたいというふうに思っております。

その下、並型魚礁設置事業費3,011万円です。漁村再生計画に基づき漁場整備を進めているもので、新年度は竹野沖に鋼製魚礁を1基、コンクリート角型魚礁を31個設置する予定にしております。

これで歳出の分の説明を終わります。歳入のほうに移ります。21ページをお開きください。21ページの一番下、森林環境譲与税です。来年度は8,167万8,000円を予定しております。段階的に引き上げられまして、豊岡市では最終的に1億円程度の歳入となる見込みでございます。

続きまして、41ページをご覧ください。41ページ一番下の地方創生推進交付金ですが、農林水産課分は、内数として446万6,000円ということになります。豊岡農業スクールの開校事業費の分として412万円、スマート農業推進事業費分として34万6,000円に充当をさせていただきたいと思っております。

続きまして、51ページをご覧ください。県の補助金の農業費補助金になります。まず、一番上の中山間地域等直接支払交付金、次の多面的機能支払交付金、1つ飛んで、環境保全型農業直接支払推進交付金につきましては、日本型直接支払いの交付金となりまして、基本的に国が2分の1、県が4分の1、市が4分の1を負担するというふうな中身になっておりますので、それぞれ市の負担分を除いた額を計上させていただいております。

その2つ下、新規就農総合支援事業費補助金3,075万円は、新規就農者の農業経営開始を支援する資金、そして機械導入の補助分として歳入をさせていただき予定にしております。

次は6つ下、法人化促進総合対策事業費補助金240万8,000円につきましては、但東町、ひらた営農組合の機械導入に対する支援の歳入となります。

その下、農地整備事業費補助金2,000万円につきましては、出石町伊豆の農地整備事業に係る計画策定分です。こちらにつきましては、国10分の10の補助を受けて実施をさせていただきます。

続いて、その下、農業水路等長寿命化・防災減災事業費補助金1億3,272万円は、清滝農免農道の安全対策、擁壁の補強工事、基幹農道のトンネル照明LED化の更新に伴う事業費のものになります。LED化は、清滝トンネル、進美寺トンネルは詳細設計、いずたんトンネルは照明の更新工事というふうなことになります。

その下、農山漁村振興交付金1億5,201万9,000円は、JAたじまのピーマン選果場の移設整備を支援するものでございます。

その下、水田麦・大豆産地生産性向上事業費補助金375万8,000円につきましては、中谷農事組合法人のコンバイン導入の支援分でございます。

次に、下の囲み、林業費補助金です。上から3つ目、治山事業費補助金1,369万円につきましては、豊岡正法寺、日高の観音寺の山腹工事に係る事業の補助金ということになります。

一番下、農山漁村地域整備交付金311万8,0

00円につきましては、竹野町桑野本の林道橋、シ
ンブリ橋の補修設計に係るものでございます。

続きまして、53ページをご覧ください。水産業
費補助金です。1つ目、並型魚礁設置事業費補助金
2,500万円は、先ほど説明しました竹野沖に設
置する魚礁に係る補助金ということになります。

続きまして、55ページをご覧ください。下の囲
みの分でございますけれども、上から7つ目の囲み、
基盤整備促進事業委託金6,240万円は、内町地
区の圃場整備事業に係るもので、県からの委託金と
して歳入をさせていただきます。

61ページをご覧ください。真ん中の囲み、下か
ら3つ目の地域振興基金繰入金ですけれども、農林水
産課分は、内数として9,500万円となります。
多面的機能支払い事業をはじめ、計7事業に充当さ
せていただく予定にしております。

75ページをご覧ください。次に、市債です。3
つ目の項目で、土地改良事業債は8事業で合計1億
490万円、そして、治山事業債は、内数でござい
ますけれども、農林水産課分として2,940万円
をそれぞれ起債する予定でございます。

ページを返っていただきまして、9ページをご覧
ください。債務負担行為でございます。

上から4番目、農業経営基盤強化資金利子補給事
業の令和4年度事業分を108万3,000円計上
させていただいております。こちらにつきましては、
例年、その年度分として設定をさせていただいて
いるものでございます。

続きまして、10ページをご覧ください。地方債
になります。ちょうど真ん中より少し下でござい
ますけれども、土地改良事業債、その下、8行目、8つ
下になりますけれども、治山事業債は、先ほど歳入の
市債で説明したものととなります。

以上で農林水産課所管分の説明を終わります。

○分科会長（清水 寛） 説明は終わりました。

質疑はありませんか。

西田委員。

○委員（西田 真） いっぱい説明を受けて、メモ
なんか全然取れてないけど、何か一覧表なんか出し

てもらふことができひんのやろうか。どっかのページ
数に載つとるとかいうのがあれば、そのページ数を
教えていただくということになれば確認できるんで
すけど。今の、ごっついスピードで説明されても、
もうメモも全然取れへんしということなんです
けどね。何か一覧表みたいな提示は無理なんですよ
うか、どうでしょうか。

○コウノトリ共生部長（川端 啓介） 全体に関わる
ことなんで、うちだけで判断できないところがあり
ます。

○分科会長（清水 寛） 西田委員、結局、ピック
アップして事業説明を受けてるということもある
んで、なかなか難しい話なんだろうなというふう
に思うんですけども。

川端部長、何か。

○コウノトリ共生部長（川端 啓介） 項目が確かに
多くて、この程度のを事前に用意してもらえな
いかってということで、ほかの部署も了解であればご
用意はさせてもらったほうがいいのかなどは思い
ますけれども、その程度が全て網羅したものになる
のか、今ピックアップして説明した、抜粋したよう
な説明予定のものでいいのか、その辺もイメージを
つかませていただけたらなというふうに思います
が。

○委員（西田 真） 委員長、よろしいか。

○分科会長（清水 寛） 西田委員。

○委員（西田 真） 今説明を受けても、皆さんは
頭に入るとるでいいんだけど、私ら聞いとつてもメ
モするのが精いっぱい、なかなかその把握ができ
ないんですよ。

ほんで、今、例えば新規就農とか、農業スクール
とか、スマート農業の推進とか、そんなんで金額と
か、箇所数とか、人数とか教えていただいとんです
けど、その人数さえもずうっと追って書いとるんで、
合つとるかどうかも分からへんしね。その辺もある
し、ほんで、中谷のコンバインとか、そしてJAた
じまの宿南から但東ライスセンターのほうにピー
マンの選果場を移すとか、その辺も説明受けたんで
すけど、いつ頃にどういう予定でされるとか、その

辺ですね。そして、中谷のコンバイン、その更新の補助とか、そういうことを聞いてるんですけど、そのコンバインに対しても、どれぐらいの年数たったから更新の補助ができるとか、その辺のことも聞きたいですし、そして、鹿の駆除に対しては6, 500頭で、金網とか、メッシュとか、3か所される予定とかいうのも、どこどこかいうのもちょっと知りたいとか、そういうこともあるんですけどね。そして、5地域で1万7, 500アール、そして多面的機能の123組織のうち93組織に支援とか、その辺もあるんですけどね。

その辺、何か一覧的なもんを出してもらったほうがありがたいと思うんですけど、いかがでしょうかね。

○分科会長(清水 寛) 川端部長。

○コウノトリ共生部長(川端 啓介) 具体的に今のうちに、このことについてこのことが知りたいって教えていただければ準備はできると思うんですけど、そのレベルで全ての予算の項目にわたっていったら、膨大な資料と事務量になるので、目安を教えてくださいましたら、その内容に応じて対応はさせていただけたらと思うんですけども。これ、当初予算なんで、全項目にわたっての内容になるんで、こちらのほうでどこまでやったらいいのかっていうのが判断しにくい。

○委員(西田 真) 委員長、よろしいか。

○分科会長(清水 寛) 西田委員。

○委員(西田 真) 今説明を受けた分に関しての、当然、資料でよろしいんで、ほかの細かいことまで、そんなこと何も思ってませんから、今、新規事業とか、大きく変わったことを説明されてるんで、その分の資料を提出いただけませんかということなんですけどね。

○分科会長(清水 寛) 川端部長。

○コウノトリ共生部長(川端 啓介) そしたら、こちらのほうで主要事業と思って、本日説明しようとしている程度の項目をあらかじめ資料としてお渡ししておくというようなイメージでよろしいでしょうか。

○委員(西田 真) そうですね。

○コウノトリ共生部長(川端 啓介) そしたら、今回、この場でそのものも今すぐ出すっていうのがなかなか各課難しいかもしれないんで、今回は参考的に、後ほど、少し説明したような内容をまとめたものを議会事務局のほうに言づけるということでもよろしいでしょうか。

○分科会長(清水 寛) 西田委員。

○委員(西田 真) 今、部長が言われたように、今説明された新規事業とか、それは私も言ったんで新規事業とか、大きく変わったこと、その辺の説明を受けて、その分の資料提供でよろしいんで、今回は、「はい」と呼ぶ者あり)ほんで、次回以降は、説明される資料を事前に提出していただいたほうが、チェックも先に頭に入れることもできるんで、より分かりやすいのかなと思いますんで、お互い、知識いますか、情報を共有して委員会に臨むのが一番いいかなと思ったりしてます。その辺どうでしょうかね。

○分科会長(清水 寛) 川端部長。

○コウノトリ共生部長(川端 啓介) 了解しました。ただ、事務局のほうで、ほかの委員会との調整もあるかもしれないんで、確認はさせていただいて、できるだけ西田委員が今言われたような形で、資料は今後お出しできるように、特に農林水産課は項目が多いので。例えば地籍とか、1事業みたいな場合も…。それはよろしいですか。(「メモできる程度なら」と呼ぶ者あり) ああ、ほんなら、やっぱり項目が多くて、とてもキャッチボールがするの難しいと思われる農林水産課みたいに多い場合、事前に対応させていただくということでもよろしいでしょうか。

○分科会長(清水 寛) 取りあえず、何らかのルールが必要だと思うんです。これをまた事務局と相談をしながら、場合によってはほかの委員会とも相談しながらなんですけども、恐らく、今、西田委員が言われたとおりの、許容範囲があると思うんです。項目数でも、5つ、6つなら何とか追いつくけども、今みたいな、恐らく10どころじゃないですね。そういう意味では、ちょっとある一定以上を超える場

合は、説明の部分、これを説明しますっていう頭出しをいただだけでも随分変わるのかなと思いますので、その辺は今後、事務局と、また他の委員会なんかとも打合せをしながらやりたいと思いますので、ちょっとその旨も含めて考えていただければと思います。

ということで……いいです、いいです、はい。

○コウノトリ共生部長（川端 啓介） はい、了解しました。

○分科会長（清水 寛） ということで、取りあえず今、現状ではちょっと解決っていうこともできないので、改めて質問のほうがあればというふうにお伺いします。

○委員（西田 真） ちょっと今分かる範囲で、再度質問しますので。

○分科会長（清水 寛） はい。

○委員（西田 真） 133ページの新規就農、農業スクールとか、スマート農業推進、この辺の人数をちょっと教えていただきたいのと、そして、あと、有害鳥獣のやつの金網とか、メッシュとか、その3か所、どこどこだというのですね。ほんで、229ページの鋼製魚礁、どんなもんかという、この3点、ちょっと教えてください。

○分科会長（清水 寛） 柳沢課長。

○農林水産課長（柳沢 和男） まず、最初の、農業スクールの関係でございますけれども、今まさに学んでいただいている方、継続して2名分、新規として3名分、合計5名分の予算を立てております。

ただ、今2名、継続の方が急遽卒業するということになりましたので、実際は継続が1名で、こないだ新規の、新年度ということで3名というふうな現状は状況になっております。

続きまして、有害鳥獣の……（発言する者あり）飛ぶんですね。有害鳥獣の関係につきましては、金網柵で、上佐野集落。ワイヤメッシュ柵も上佐野と、あと、これは竹野町河内ですか、但東町西谷というふうな状況でございます。上佐野は電気柵も含めて、複合的にやるということで、3つの柵を予定されております。

鋼製魚礁の……。

○分科会長（清水 寛） 井垣参事。

○農林水産課参事（井垣 敬司） 鋼製魚礁のお尋ねだったかと思います。

容量なんですけども、それが約745空立方メートルです。構造がL型鋼ですとか、そういった面のは使わなくて、線的なもので、籠のようなものを編み込むような形となります。

ざっとした寸法でございますけども、すみません、ちょっと手持ちの資料の数字が小さいもんですから、申し訳ありません。後ほど資料としてお渡しさせていただきますということでよろしく願いいたします。申し訳ありません。

○分科会長（清水 寛） そうしたら、後ほど、また資料のほうを提示ください。よろしく願いします。（「以上です」と呼ぶ者あり）

以上ですか。

柳沢課長。

○農林水産課長（柳沢 和男） 先ほど西田委員のおっしゃられた中で、機器の更新というふうな表現がございましたけれども、基本的に、中谷さんであるとか、ひらた営農組合さんとかのものにつきましては新規になりますので、機器の更新ということではございません。大体農林の補助事業は、更新というよりは新規のものの採択ということになるかと思えます。以上です。

○委員（西田 真） 委員長、追加で。

○分科会長（清水 寛） 西田委員。

○委員（西田 真） すみません、中谷のコンバインいうたら、以前されとったと思うんですけどね。それが新規いうの、また追加という話になるんですかね。

○分科会長（清水 寛） 柳沢課長。

○農林水産課長（柳沢 和男） 事業名のところでも申し上げましたけれども、麦、大豆の産地化という点でのコンバインということになるかと思えます。

○委員（西田 真） 分かりました。以上です。

○分科会長（清水 寛） ほかに。

石田委員。

○委員（石田 清） 229ページ、漁業の話なんですけど、利子補給金として、燃油高騰特別対策経営資金ですか、利子だけの話だと思うんですけども、今の漁船の燃油対策、どういう形になって、これ、今の状態の話じゃない、過去のもの利子補給なのかね。もし過去のもんだったら、今の対策はどういうフレームになってるのかということをお聞きしたいんですが。

○分科会長（清水 寛） 井垣参事。

○農林水産課参事（井垣 敬司） これにつきましては、国の事業補償制度といいますか、に漁協さんを通じて漁業者の皆さんが積立てをされるというふうなことでございます。それについて、30%以内を支援するというふうな形になってございまして、底引き網船12隻と小型船6隻についての支援ということになります。

○分科会長（清水 寛） 石田委員。

○委員（石田 清） もう一遍ちょっと教えてください。漁船の高騰部分、それを国が援助をする、援助をするというか、これ貸付けですよ。貸し付けて、それで利子を払わなきゃいけない、その利子補給をすると。豊岡市が30%ぐらいは、その利子の30%ということですか。

○分科会長（清水 寛） 柳沢課長。

○農林水産課長（柳沢 和男） 利子補給金の中に3つ上げてありますけれども、近代化の分と、一番下の豊かな海づくり資金につきましては、借入れに対する利子の補給ということになります。

今、委員がご質問いただきました燃油の分につきましては、国のセーフティーネットということで、漁業者の方が高騰分に対して補填をしてもらうための負担金として納められるという制度になります。その負担を出される分に対して支援をするというような枠組みでございまして、利子に対する補填ということではないという状況でございます。

○分科会長（清水 寛） 石田委員。

○委員（石田 清） それでは、ちなみに今の燃油の高騰対策っていうのはどのような、これは国の流れ

でしょうけども、どういう形になってるのか、ちょっと参考までに教えていただけたら。

○農林水産課長（柳沢 和男） 制度の説明ということですか。

○委員（石田 清） 制度でしょうね。というか、この前きちっと……。

○分科会長（清水 寛） 石田委員。

○委員（石田 清） あっ、すみません。この前の報道の若干の、細かいことじゃないんですけども、まずはこの漁業の燃油対策を行うということの省庁間の打合せが行われていたと、項目だけです、項目だけしか出てないもんですから。今これだけの石油の話がありましようから、どういう形で対策がなされているのかっていうのをちょっと知りたいと。

○分科会長（清水 寛） 柳沢課長。

○農林水産課長（柳沢 和男） あやふやな制度説明になってもいけないので、一度ちょっと制度の概要につきましてはまとめさせていただいて、資料提示ということでお願いさせていただきませんか。

○分科会長（清水 寛） そしたら、資料のほうの提示、よろしくをお願いします。

石田委員。

○委員（石田 清） よろしいか。ちょっと同じくなんですけど、もう一つその新聞に載ってたのは、ハウスの燃料対策、ハウス栽培のハウスの。それについても何か分からないでしょうか。

○分科会長（清水 寛） 柳沢課長。

○農林水産課長（柳沢 和男） 今ご指摘の国の動き等につきましても、すぐここでちょっとお答えするような状況にありませんので、確認の上また資料提示ということにさせていただけたらと思います。

○分科会長（清水 寛） それでは、よろしくお願

いします。

○委員（石田 清） はい。

○分科会長（清水 寛） ほかにございませんでしょうか。

森垣委員。

○委員（森垣 康平） すみません、豊岡市農業ビジョン推進事業費、217ページのことについてお聞きしたいのですが、よろしいですかね。

これ、プロジェクトメンバーみたいな方に集まっていたら、いろんな事業をしていこうみたいな取組だと思おうのですが、実際に、じゃあ、事業をしていこうっていうのは予算づけはまだされてなくて、あくまで補正でその辺は考えていこうっていうような考え方なんでしょうか。

○分科会長（清水 寛） 柳沢課長。

○農林水産課長（柳沢 和男） 先ほど説明しましたように、実際にやる事業として、グッドローカル農業大会を開催したいというようなことは予算提案をさせていただいておりますけれども、委員会の下に設置をするプロジェクトチームで、どのような事業をどうしていくかっていうのはまだ議論の段階でございます。ですので、どのタイミングで事業のご提示ができるかどうか分かりませんが、当初予算、あるいはちょっとそこは待てないというようなことであれば補正ということもあろうかと思っております。そこは財政当局等とも調整をしていきたいというふうに思っております。

○分科会長（清水 寛） 森垣委員。

○委員（森垣 康平） すみません、それで、やはり来年度ですね、では、今の段階では何か大きなものを動かそうという計画ではなく、再来年度みたいな感じのスケジュール感ということでよろしいですかね。

○分科会長（清水 寛） 柳沢課長。

○農林水産課長（柳沢 和男） 今、具体的に2つの事業について検討していこうというふうな状況でございますので、その2つの事業の検討状況によって、もしかしたら早めにご提示できるかも分かりませんが、大体来年度の事業展開というのが基本的かなというふうには思っております。来年度というのは、もう1年度先の予算要求ということになるかと思っております。

○分科会長（清水 寛） 森垣委員。

○委員（森垣 康平） ありがとうございます。できる限り早め早めにしてもらえたらちょっとありがたいなと思っておりますので、よろしく願いいたします。以上です。

○分科会長（清水 寛） その他ありませんか。
竹中委員。

○委員（竹中 理） 1点だけ。地域おこしの4名というのは、農業関係してる地域おこしのメンバーが4名っていうことでよろしい、理解でよろしいですか。

○分科会長（清水 寛） 柳沢課長。

○農林水産課長（柳沢 和男） 農林水産課のほうで説明したのは農業関係……。

○委員（竹中 理） 農業関係。

○農林水産課長（柳沢 和男） の予算ということになりますので、4名分は農業関係でございます。

○分科会長（清水 寛） 竹中委員。

○委員（竹中 理） それの地域ごとに、但東何名とかっていうのわかりますでしょうか、4名の内訳。

○分科会長（清水 寛） 柳沢課長。

○農林水産課長（柳沢 和男） 4名のうち3名は法人の、この5法人、市内にある法人のまとまりがありまして、そこらが中心になって受入れをしておりますので、どの地区ということではなくて、広く市内のそういう法人を回って研修をしたりというような状況でございます。

もう1名は、ブドウの後継者ということで導入をさせていただきました。具体的には、豊岡地域での受入れをさせていただいておりますけれども、実はいろいろと状況が変わっておりまして、その方につきましては、今年度末でやめられるという状況になっております。以上です。

○分科会長（清水 寛） 竹中委員。

○委員（竹中 理） そのやめられる方は何か豊岡にそのままおられるんですかね。それともどっか行かれるんですか。

○分科会長（清水 寛） 柳沢課長。

○農林水産課長（柳沢 和男） その方は豊岡からは出ていかれるという状況でございます。

○委員（竹中 理） はい、いいです。

○分科会長（清水 寛） よろしいですか。

ほか、ございませんでしょうか。

それでは、質疑を打ち切ります。

次に、コウノトリ共生課の説明をお願いします。

コウノトリ共生課、宮下課長。

○コウノトリ共生課長（宮下 泰尚） 同様に、新規事業、昨年度から大きく変更となった事業を中心に説明いたします。

まず、歳出から説明させていただきます。資料、予算書は101ページをご覧ください。よろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）

予算書101ページの最下段になります。人件費のところですが、加陽水辺公園交流館の管理人と、後ほど説明いたします委託契約を結ぶ水田ビオトープを対象としたコウノトリ生息地保全作業員の報酬をまとめて267万2,000円の人件費を計上しております。

次に、予算書は103ページをご覧ください。上段から順に説明させていただきます。まず、コウノトリ文化館管理費です。NPO法人コウノトリ市民研究所に委託しておりますが、2022年度が指定管理期間5年の最終年となります。その指定管理料3,275万円のほか、合計で3,305万6,000円を計上しております。

次に、コウノトリ野生復帰推進事業費です。2021年の12月議会で、2022年度から5年間、コウノトリ羽ばたく会株式会社への指定管理委託をお認めいただいたところなんですけども、そのコウノトリ本舗の電気設備の切替え工事に伴う設計監理費43万5,000円、工事費450万円のほか、コウノトリ野生復帰サイトの維持管理及び訪問者を増やすための分析業務、改善業務費用としまして30万8,000円など、合計918万1,000円を計上しております。

下段、コウノトリ生息地保全対策事業費につきましては、先ほども少しお話に出しましたが、水田ビオトープの委託管理契約であったり、加陽湿地の維持管理に係る委託契約を中心とする継続事業とな

りますので、細かい説明は割愛させていただきます。

105ページをご覧ください。こちらの上段からご説明いたします。最上段、ハチゴロウの戸島湿地管理費です。こちらは、コウノトリ湿地ネットに委託しておりますが、文化館と同様に、2022年度が指定管理の最終年、5年目となります。2022年度は、来園者が散策する遊歩道の排水対策としまして、管理棟から観察小屋までの約40メートルの期間において、歩道のかさ上げ工事29万2,000円を計画しております。

その下、ラムサール条約関連事業費につきましては、ラムサール条約湿地の認知向上に係る普及啓発の継続事業となりますので、細かい説明は割愛させていただきます。

次に、生物多様性推進事業費です。中ほどです。市内3か所で進めております自然再生アクションプランや市民が行う小さな自然再生活動の支援事業などの継続事業を行うほか、2027年度までの計画期間で策定しました生物多様性地域戦略の改定に係る委託費用250万円など、合わせまして607万6,000円を計上しております。

その下、コウノトリ次世代育成事業費、それから、さらにその下、加陽水辺公園管理費につきましては継続事業となりますので、割愛させていただきます。

次に、139ページをお開きください。中ほどより下になりますが、地域おこし協力隊推進事業費です。このうちコウノトリ共生課分は、市内で自然保育や自然体験プログラムを推進する隊員1名分の479万6,000円となっております。

歳出は以上になります。

次に、歳入を説明いたします。資料、予算書は41ページをご覧ください。下段、地方創生推進交付金1億790万円のうち、コウノトリ共生課に係るものは地域おこし協力隊、先ほど説明しました1名分の479万6,000円となっております。この隊員につきましては、2021年1月に豊岡に赴任しまして、現在2年目に入っているという状況となっております。

59ページをご覧ください。一番下になりますが、

コウノトリ基金寄附金です。コウノトリ文化館で頂く環境協力金と個人、または企業等から頂く一般寄附金、合わせまして1,100万円を計上しております。

次に、61ページをお開きください。ちょうど中ほどになりますが、コウノトリ基金繰入金です。コウノトリ共生課所管の各事業のほか、学校給食にコウノトリ育むお米を提供する際の補填分としまして、合計1,636万2,000円を計上しております。

歳入の説明は以上です。

繰越明許費、債務負担行為、地方債はございません。

以上で説明を終わります。

○分科会長(清水 寛) 説明は終わりました。

質疑はありませんか。

森垣委員。

○委員(森垣 康平) すみません、先ほどコウノトリ文化館の指定管理が5年目というふうにおっしゃいましたが、これ当然、来年度で終わると思うのですが、その後の指定管理というのは、結構随時的な指定管理になる、それとも公募をされるんですか。

○分科会長(清水 寛) 宮下課長。

○コウノトリ共生課長(宮下 泰尚) コウノトリ文化館の指定管理につきましては、公募はしてなかったはずですが。

どのようなスケジュールでまた指定されていくのかと申しますと、今年の夏ぐらいに選定委員会が開かれまして、妥当なのかどうかという判断をいただき、そこで問題がないというふうに判断されれば、また12月議会のほうに議案として提出させていただいて、皆様にご審議いただく。それで認められれば、翌年の4月からの指定管理が、5年なのか3年なのかは審議によりますけれども、認定されていくという流れになります。

これは、ハチゴロウの戸島湿地も似たような流れになると思いますが、ハチゴロウの戸島湿地については、たしか公募してたと思います。

○分科会長(清水 寛) 森垣委員。

○委員(森垣 康平) その際に、その指定管理料、恐らくこれ過去5年間の平均で、もう一回指定管理料というのは再計算というか、されると思うんですが、そういうのはどうなりそう、増えそう、減りそうとか、何かその辺とか今ざっくり分かりませんか。

○分科会長(清水 寛) 宮下課長。

○コウノトリ共生課長(宮下 泰尚) 年間の指定管理料につきましては、その施設、館を維持するための人件費、それから事務費、光熱費等々を積算して積み上げていくんですけども、現時点で増えそうかどうかと言われると、やはり積算してみないと分からないとしか答えようがないのかなというふうに思います。

○分科会長(清水 寛) 森垣委員。

○委員(森垣 康平) 毎年、たしか事業精算というか、報告書を頂いておられると思うんですけど、それで毎年、赤になってるとか黒になってるとかを大体分かるんじゃないですか。

○分科会長(清水 寛) 宮下課長。

○コウノトリ共生課長(宮下 泰尚) 毎年、1年ごとに報告書を出していただいておりますので、もちろん決算書も出していただいておりますので、赤になるか黒になるかというのは分かっておりますが、文化館につきましては、大幅な赤字になることもありませんし、大幅な黒字になることもないというような状況で推移しております。

○分科会長(清水 寛) 森垣委員。

○委員(森垣 康平) ちょっとコロナでどうなるか心配ただけです。以上でよろしいです。ありがとうございます。

○分科会長(清水 寛) 西田委員。

○委員(西田 真) すみません、ちょっとページ数、控えてなくて分からないんですけど、生物多様性の推進事業ということで、607万円でしたですか、この3か所というところなんですけど、ちょっと教えていただけませんか。ページ数も分かればちょっと教えてください。ちょっと控えてなかったんで。

○分科会長（清水 寛） 宮下課長。

○コウノトリ共生課長（宮下 泰尚） ページ数は105ページです。

市内3か所で進めている自然再生アクションプランの場所というご質問だと思いますけども、出石町の日野辺、出石町の鳥居、日高の三方地区、この3か所になります。

○委員（西田 真） 了解です。以上です。

○分科会長（清水 寛） その他ありますか。
須山委員。

○委員（須山 泰一） 昨年、ゴリラ研究で有名な山極さんの講演か何か、イベントがあった分です、後で知って、事前に知ってたら行きたかったんですけど、あれはどうでしたか。

○分科会長（清水 寛） 宮下課長。

○コウノトリ共生課長（宮下 泰尚） 今ご質問あった山極先生の講演は、昨年の10月30、31日に2日間にわたって、7年ぶりに開催しましたコウノトリ未来・国際かいぎの基調講演で講演いただいたことです。

あの先生は非常にゴリラには詳しいですし、ゴリラのみならず、いろんなところで活躍されている先生なので話も面白いです。非常に参加者の皆さんからは好評だったというふうに聞いております。

○委員（須山 泰一） 了解しました。

○分科会長（清水 寛） よろしいですか。

○委員（須山 泰一） またそういうのやってください。

○分科会長（清水 寛） よろしいでしょうか。

それでは、質疑を打ち切ります。

続いて、地籍調査課の説明をお願いします。

地籍調査課、依田課長。

○地籍調査課長（依田 隆司） 歳出から説明させていただきます。

221ページをご覧ください。説明欄の中段辺りの地籍調査事業費です。1億2,476万8,000円を計上しております。

主な費用としましては、業務委託料の地籍調査業務で1億1,564万9,000円を計上していま

す。

調査の概要ですが、地籍調査は、1つの区域を3年で実施します。1年目は法務局の公図や登記簿などの事前調査で、4地区1.09平方キロメートル、2年目は現地立会い調査で、7地区3.80平方キロメートル、3年目は成果の閲覧で、11地区3.89平方キロメートル、計22地区8.78平方キロメートルを予定しております。

主な調査区域としましては、引き続き山陰近畿自動車道関連の調査を実施してまいります。計画されております豊岡北インターから竹野側は、2年目の現地立会い調査と3年目の成果の閲覧を予定しております。豊岡北から城崎方面は、公表されております2キロ幅の一部ですが、1年目の事前調査と2年目の現地立会い調査、それと3年目の成果の閲覧を着手する予定としております。これらを実施することによりまして、進捗率は、年度末で13.6%となる予定です。

次に、歳入に入ります。51ページをご覧ください。農業費補助金の説明欄、上段11行目の地籍調査事業補助金です。補助対象経費に対する県からの補助金1億199万1,000円を計上しております。

次に、71ページをご覧ください。下から3行目、雑入の事業協力金、公共事業円滑化推進協力金として614万8,000円を計上しております。これは、先ほど述べました先行地籍事業としましての山陰近畿自動車道のような大規模公共事業の用地買収に先行して地籍調査を実施します場合、費用の5%を県から協力金として頂ける制度がありまして、その雑収入でございます。

説明は以上です。

○分科会長（清水 寛） 説明は終わりました。

質疑はございませんか。

西田委員。

○委員（西田 真） 3年で実施するというスケジュールで今聞きました。1年目が4か所、2年目が7か所、3年目が11か所で、計22か所ということですけど、ちょっとそれぞれ地区名、教えていた

だきましたんでしょかね。

○地籍調査課長（依田 隆司） まず、1年目の地区ですけども、4地区。少々お待ちください。

○委員（西田 真） 委員長、後で資料提出をお願いします。

○分科会長（清水 寛） 依田課長。

○地籍調査課長（依田 隆司） 後でちょっと資料、一覧表を再提出をさせていただきます。

○委員（西田 真） 委員長、それでお願いしてください。

○分科会長（清水 寛） 分かりました。そうしましたら、それぞれの委員のほうに資料提出をお願いします。

ほかにございませんか。

西田委員。

○委員（西田 真） この事業、71ページの614万何がしに係る分の事業協力金の県から5%の協力金ということなんですけど、これは山陰道とか、その辺の近畿道とかの絡みの地籍調査があった場合は県から5%の協力金がついてくるということですよ、その都度。

○分科会長（清水 寛） 依田課長。

○地籍調査課長（依田 隆司） これにつきましては、今までから計画されておりました北近畿豊岡自動車道及び今回計画されております山陰近畿自動車道におきまして、豊岡市と兵庫県、こちらですと但馬県民局長ですが、お互い覚書を交わしまして、その地籍調査でかかった費用の5%、市の実質の負担額の、持ち出し分なんですけども、その分を要は県が先行して地籍をしていただいて、計画されておるところの地籍が明確化になるということで、今までから5%を頂いておるという次第でございます。

○分科会長（清水 寛） 西田委員。

○委員（西田 真） これは今年度だけじゃなしに、その都度出てくるということですよ、その都度出てるということですよ。

○地籍調査課長（依田 隆司） そういうことでございます。

○分科会長（清水 寛） 西田委員。

○委員（西田 真） そして、年度末で13.6%

完了ということなんですけど、これは豊岡市全体の13.6%ということですよ、よろしいでしょうか。

○分科会長（清水 寛） 依田課長。

○地籍調査課長（依田 隆司） そうです。

○委員（西田 真） 以上です。

○分科会長（清水 寛） ほかにございませんか。
〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会長（清水 寛） それでは、質疑を打ち切ります。

以上でコウノトリ共生部の方はご退席いただいて結構です。

ここで建設経済分科会を暫時休憩します。再開は2時10分。

午後2時02分 分科会休憩

午後2時09分 分科会再開

○分科会長（清水 寛） ただいまから建設経済分科会を再開します。

それでは、第32号議案、令和4年度豊岡市一般会計予算を議題とします。

次は、都市整備部に関する審査です。

当局におかれましては、新規事業、前年度から大きな変更のあった事業及び主要事業等の議会説明を要する事業について、その概要を簡潔にご説明願います。

順番については、歳出、歳入、債務負担行為、地方債の順にお願いします。

なお、説明に当たっては、資料のページ番号をお知らせください。

質疑は説明が終わった後に課ごとに行います。

それでは、まず、建設課から説明願います。

建設課、富森課長。

○建設課長（富森 靖彦） よろしくお願いいたします。

それでは、予算書の119ページをご覧ください。まず、建設課の歳出からです。

119ページの総務管理費の諸費ですが、説明欄の一番下になります。但馬空港周辺用地管理費ということで、これは例年どおりですが、但馬空港の用

地管理ということで203万5,000円を計上しております。

続きまして、135ページです。135ページの説明欄のちょうど真ん中辺りですが、城崎温泉街交通環境改善事業費です。これも例年どおりですが、城崎温泉街のそぞろ歩きのルールであったり、あと桃島バイパス実現後の交通施策を検討するということが計上させていただいております。19万3,000円です。

続きまして、151ページをご覧ください。151ページの説明欄の上から3つ目の枠の真ん中ですが、港湾統計調査費です。これも例年どおりですが、県から事務を受託しております、船舶の入港調査をやっております。1万9,000円です。

続きまして、飛びまして、247ページをご覧ください。247ページの土木費の土木管理費の土木総務費になります。ちょうど真ん中辺りですが、土木総務費で建設課分ということで、1,462万3,000円が建設課分となります。これも例年どおりの支出になりますが、そのちょうど8行ほど下に業務委託料というものがあありますが、地下水位の観測であったり、一級水準の測量業務を行っております。

続きまして、少し下に行きまして、急傾斜地崩壊対策事業費です。これは県が行います急傾斜事業に対しまして、主に負担金ということで支出をしております。全体では1億2,500万円。来年度につきましては、下陰ほか13か所の事業となっております。

続きまして、一番下の枠です。用地対策事業費ということで、255万9,000円ということで、これも例年どおりの支出となっております。

続きまして、249ページに行きまして、説明欄の上から2つ目の枠ですが、内水処理事業費ということで4億4,635万円を上げさせていただいております。これは、まず、大きなものとして、業務委託料ということで、内水対策検討業務。これは市街地の道路冠水対策ということで、上陰、それから西花園の排水ポンプについて、台風、大雨等によく冠水しますので、その改良について、現地の測量

や基本設計を計画しております。

それから、整備工事費につきましては、現在、下陰で行っております、(仮称)福田排水機場の事業ということで、整備工事費が4億2,116万4,000円ということで上げさせていただいております。

それから、次がその下の枠で、排水機樋門管理費ということで、人件費のうち、その上から4行目ほどに操作員(建設課)、補助員(建設課)ということがあります。これが合わせて665万7,000円ということで、これは、国や県から操作委託を受けております樋門等の操作員さんに支払う人件費ということになっております。

それから、その枠の真ん中より少し上ですが、排水機樋門管理費ということで書いてありますが、この中で、建設課分ということで、4,360万4,000円が建設課分となっております。

主なものとしては、一番下のほうにありますが保守点検の委託料、それから一番下にあります維持管理委託料ということで、樋門の管理委託料ということで、これは例年どおりの支出となっております。

続きまして、ページめくっていただきまして、同じ排水機樋門管理費ですが、251ページになります。一番上の枠の中の補修工事費ということで、宮島排水ポンプのオーバーホール、それから江原樋門の更新工事ということで、2件、合計3,000万円ということで上げさせていただいております。

それから、その下の欄ですが、緊急処理事業費。これも例年どおりの支出ということで、224万円を計上させていただいております。

それから、同じページのその下の枠です。道路橋りょう総務費ですが、この中で、ちょうど真ん中辺り、道路橋りょう総務費と書いてありますが、この中で建設課分が928万5,000円となっております。特に、例年どおりということですが、来年度につきましては、北近畿豊岡自動車道の豊岡道路Ⅱ期が恐らく起工式をするということになるだろうということで100万円をこの中に含まれていますが、用品の借り上げ料であったり、報償費等で

100万円を計上させていただいております。

続きまして、253ページをご覧ください。同じく道路橋りょう総務費で、道路団体の負担金であったり、期成同盟会への補助金等を例年どおり計上させていただいております。

それから、同じ枠の中の道路橋りょう管理費ということで上げさせていただいてますが、その中で、建設課分ということで、382万5,000円、これを上げさせていただいております。これは道路維持作業車の維持管理費ということで上げさせていただいております。

それから、次に、道路維持費になります。道路維持費につきましては、全体で3億8,951万3,000円ということになっております。

主なものとしては、少し下に下りますが、保守点検委託料。これは例年どおりの支出になります。

それから、維持管理委託料につきましても、市内の排水ポンプであったり、道路の植樹の伐採だとかっていうものに例年どおり支出をいたします。

それから、少し下にあります投資委託料ということで上げさせていただいてます設計等になります。これは、特定道路構造物の点検ということで、切土のり面、15メートル以上であったり、盛土が10メートル以上の長大な構造物についての点検。それから、今年度この道路特定構造物の点検で異常が見つかりました奥野久美浜線で修繕を検討するというので、設計等の委託料を上げさせていただいております。

それから、一番下の補修工事費ということで、全体で3億184万5,000円上げさせていただいております。補修につきましては、道路補修ということで、1億1,840万円ということで、これは今やっております日高の浅倉のロックシェットの補修であったり、新しいところでは栗山妙見線、観音寺ですが、拡幅床版の補修、それから、竹野では、三原の区内線の法面がずってるところがありますので、その補修というのを上げさせていただいております。

それから、その下の側溝修繕ですが、これが4,

860万円になります。これは、日高でいえば、山田地内線、それから城崎でいえば、御所2号線ほかということで、全部で14件の工事を考えております。

それから、255ページに行きまして、一番上の欄ですが、舗装ということで上げさせていただいております。これが1億3,484万5,000円になりますが、豊岡の日和山線であったり、出石の東條線、それから但東でいいますと、中山太田線などの路線の舗装を予定をしております。

続きまして、その下の欄の道路新設改良費です。ここでは、ちょうど真ん中辺りですが、市の単独事業費ということで980万円を上げさせていただいております。投資委託料ということで、新規ですが、高屋地内の高屋神田線の測量、それから調査設計を上げさせていただいております。それと、継続事業ですが、道路新設改良工事ということで、堀府市場西線を上げさせていただいております。

それから、その下の池上日吉線道路改良事業につきましては、継続事業で2,700万円。この路線につきましては、来年度で完成となります。

それから、その下ですが、城崎の風早線、これも継続事業で1,700万円。

それから、新規事業になりますが、片鍋一日市、3年前に交通死亡事故がありました。女の子が亡くなったところのジョーシンの前の路線ですが、これを来年度からということで3,200万円。来年度は設計とか調査を行っていきたいと思います。

それから、その下ですが、その下も新規になりますが、北近畿豊岡自動車道の日高北インターの近くになりますが、日高の藤井中森線道路改良事業ということで、これも来年度は設計調査を行うということで上げさせていただいております。

それから、雪害対策費ですが、建設課に係ります金額につきましては3億1,737万8,000円となります。内容といたしましては、一番下に書いてあります保守点検委託料、業務委託料につきましては、例年どおりの金額の支出ということになっております。

それから、ページめくっていただきまして、257ページですが、同じく雪害対策費の補修工事費ということで、消雪装置の修繕ということで、来年度につきましては、新規ということで、日高の赤崎江原線であったり、但東の中山虫生線など、継続も含めて、全部で6か所の修繕工事を上げさせていただいております。それから、同じところの事業用備品ということで、来年度は、日高の除雪グレーダーの更新、それから豊岡の除雪トラックの更新ということで、2台の除雪車両を更新予定です。

続きまして、橋りょう維持費につきましては、上のほうですが、237万7,000円。これにつきましては、例年どおりの支出となっております。

それから、その下の橋りょう長寿命化事業費。これにつきましては、橋梁長寿命化計画に基づきまして、補修であったり、補修のための設計を行っております。来年度につきましては、投資委託料ということで、補修設計3橋、それから橋梁の点検ということで、5年に一度は点検をしなければなりませんので、これが、来年度につきましては240橋予定をしております。

それから、その下の補修工事費ですが、補修工事は6橋を予定しております。

それから、次の橋りょう新設改良費です。まず、継続事業ということで、栃江橋の整備事業費ということで3,000万円。来年度につきましては、交差点改良工事ということで、県道辻福田線との交差点の工事を行います。この事業につきましては、予定としては、来年度中には橋の供用を開始したいというふうに考えております。供用開始後の23年度から25年度に旧橋の撤去ということで現在予定をしております。

それから、その下の上野橋の整備事業ですが、これも来年度につきましては1億8,100万円ということで、来年度は橋梁の上部工の桁製作を主にしたいということで考えております。

それから、その下ですが、交通安全施設整備費です。主なものとしては、整備工事ということで、区画線の設置4か所ということで1,000万円、そ

れからグリーンベルトの設置、これも4か所ということで1,000万円、それから、昨年の千葉県の八街市の事故を受けまして、通学路の緊急点検行っております。これに基づきます対策工事ということで、全部で12学校区で23か所、これを3,505万円の事業費で実施する予定としております。

それから、同じページの一番下ですが、生活道路排水路整備事業費ということで、市内の西花園の生活排水路等の整備を予定しております。

続きまして、259ページになりますが、ちょうど真ん中より少し上ですが、河川総務費になります。ここで建設課分ということで、313万円が建設課分になります。これも例年どおりの支出です。負担金であったり、補助金ということでそれぞれ団体のほうに補助等をしております。

それから、下に行きまして、河川改良事業費です。4,150万円ということで、ここで主なものとしたしましては、浚渫工事費ということで、緊急浚渫推進事業債、これを活用いたしまして、市内5河川の浚渫工事を行う予定としております。

それから、その下ですが、普通河川整備事業費です。これ、新規事業になります。財源といたしましては、緊急自然災害防止対策事業債、これを用いまして、いわゆる危険な普通河川について整備工事を行うということで、いろんな地区から要望等出てきておりますので、これらに対応するというので、来年度につきましては、設計委託が1つの河川、それから整備工事につきましては11の河川ということで予定をしております。

続きまして、261ページになります。港湾管理費になります。これも例年どおりの支出となります。県のほうから、水門管理ということで、但馬漁協の津居山支所のほうに委託したり、あと、その下の海岸環境整備事業費ということで上げさせていただいてますが、これも県のほうからの事務を受けてる分で、小島岸壁であったり、気比の浜、それから竹野海岸、竹野浜の緑地、それらを地元のほうに委託をして、清掃等をやっていたらということなので計上させていただいております。

歳出については以上ですので、次に、歳入に行きたいと思います。予算書の27ページをお開きください。27ページのちょうど真ん中の欄ですが、土木費の分担金で急傾斜地崩壊対策事業費分担金ということで1,050万円ですか、これは、急傾斜地崩壊対策事業に係ります地元負担金ということで、事業費の1%を地元から頂いております。これを計上しております。

次に、31ページになりますが、上から2つ目の欄、法定外公共物の占用料ということで、これはいわゆる里道であったり、青線の水路等への占用に対する占用料を徴収しております。230万円。

それから、その下が道路占用料ということで、市道への占用料金の徴収ということで、5,658万8,000円を計上させていただいております。

続きまして、33ページです。33ページの下から4つ目の欄ぐらいに、土木手数料で幅員証明手数料というのがあります。1,000円ということで上げさせていただいております。

続きまして、39ページになります。39ページのちょうど下から3つ目の欄ですが、道路橋りょう費補助金ということで国庫補助金を上げさせていただいております。

まず、一番上の社会資本整備総合交付金。これにつきましては、雪害対策事業費ということで、除雪であったり、除雪車両の購入に充てております。それから、道路改良事業費。これは、先ほど説明いたしました風早線、片鍋一日市線、藤井中森線、これに補助金を充てるとということで計上しております。

それから、防災・安全交付金。これにつきましては、道路維持事業費につきましては、市道大開一日市線の大規模舗装修繕、これが補助金ということで充当をする予定にしております。それから、その下の橋りょう新設改良事業費。これは、上野橋です。それから、その下の交通安全施設整備事業費。これは、先ほど言いました通学路緊急対策に対する補助金です。

それから、その次の道路メンテナンス事業費補助金ということで、道路維持事業費。これにつきまし

ては、浅倉のロックシェッド、これに対する補助金です。その下の橋りょう新設改良事業費。これと、栃江橋に対する補助金。それから、一番下の橋りょう長寿命化事業費につきましては、橋梁長寿命化事業に対する補助金ということになっております。

続きまして、43ページになります。43ページの上から5つ目の欄になりますが、土木費の委託金ということで、排水機樋門等管理委託金ということで、これ、国の所管する排水機場であったり、樋門等を市のほうで運転等いたしますので、それに対する委託金ということで計上させていただいております。

それから、続きまして、55ページになりますが、55ページの県の支出金の中の枠の上から3つ目の枠で、ちょうど上から3行目ですが、港湾統計調査事務委託金ということで、これは県から受託しての港湾船舶調査の分で1万9,000円。

それから、同じページの下から4つ目の枠ですね。排水機樋門等管理委託金。これは、県から委託を受けてます県の所管する排水機場、樋門等の委託の費用です。

それから、その下の枠ですが、国県道の歩道除雪作業の委託金ということで、国県道の歩道除雪うちのほうで受けておりますので、それに対する委託金。

それから、国道パーキングエリアの管理委託金ということで、国道のパーキングエリアの管理も受託しておりますので、その委託金。

それから、その次の欄ですが、港湾管理、海岸管理の分の県からの委託金ということで計上させていただいております。

続きまして、57ページをご覧ください。57ページの財産収入の下から3つ目ですが、土地売払い収入。この中で、建設課分ということで100万円を計上しております。これは、里道であったり、水路の払下げ希望に対しての収入ということになっております。

それから、次が61ページをご覧ください。61ページの真ん中の枠ですが、基金の繰入金です。こ

の中の一番上の欄、財政調整基金繰入金ということで、これが先ほど交通安全施設整備に3,480万9,000円。これが当たるということで、これは議会でも説明をさせていただいてます兵庫県の市町交通災害共済組合の解散に伴う分配金ということで、これが基金のほうに入って、基金からこれを繰り入れるということになっております。

それから、次が65ページをご覧ください。65ページの雑入ですが、一番下の枠ですが、一番下の枠の一番上、複写料。これ建設課分ということで2万1,000円。

それから、次の67ページですが、上から5つ目の頒布代ということで、市図の頒布。これは建設課分が5万円。

それから、ちょうど真ん中より少し下になりますが、受託料の中の一番下の段ですが、但馬空港周辺県有環境林管理ということで、これが兵庫県のみどり公社から但馬空港の用地の管理ということで、委託金ということで243万9,000円を頂くことになっております。

それから、次が69ページですが、69ページのちょうど真ん中辺りに光熱水費等使用者負担金というのがありますが、その、そこからずっと、十二、三行下りたところに消雪ポンプというのがありますが、これが県道消雪分の電気代、一部、市が持っているものがありますので、それに対する県からの収入。

それから、その下の市道駅東西連絡線。これも自動販売機を置いていただいておりますので、その電気代ということで、その収入ということになっております。

それから、次が75ページ、市債になります。土木債ですので、ちょうど真ん中より少し上からですが、土木管理債につきましては、先ほどの急傾斜地の崩壊対策事業、それから内水処理施設整備事業債、これは福田排水機場に対する起債です。

それから、その下の土木管理事業債。江原樋門に対する起債となっております。

それから、その下の道路橋りょう債ということで、

道路整備事業債ということで、池上日吉線、以下ずっと大規模舗装修繕であったり、道路防災事業、道路維持事業、風早線、片鍋一日市線、藤井中森線、側溝整備事業ということで、それぞれ起債を予定しております。

橋りょう整備事業債につきましては、桁江橋、上野橋、それから橋梁長寿命化事業に対して起債を予定しております。

それから、その下の消雪装置整備事業債は、消雪装置の更新工事に充てる予定としております。

次が河川改良事業債。これも先ほど言いました河川の浚渫、それから新規事業であります普通河川整備事業に充てるということで計上させていただいております。

最後に、地方債ですが、10、11ページになります。10ページの下から5行目のところから、急傾斜地崩壊対策事業費ということで、先ほどと同じ内容ですが、そこからずっと、右の11ページのちょうど真ん中より少し下ぐらいに河川改良事業費、そこまでが先ほど言いました市債に対応する地方債ということで上げさせていただいております。

建設課からは以上です。

○分科会長（清水 寛） 説明は終わりました。

質疑はありませんか。

西田委員。

○委員（西田 真） すみません、いっぱい説明いただきました。課長、なかなかメモが取れないぐらいいっぱい説明されてたですけど、地下水の観測とか、一級水準とか、そして下陰の急傾斜13か所とか、この辺いっぱいあるんですけど、この辺も資料は出していただけますか。また、12学校区で23か所とか、そんなんも説明ありましたけど、そして、橋梁長寿命化の240橋、補修6橋とか、そういうふうな説明も受けました。

そして、普通河川の5河川でしゅんせつもするということもお聞きしましたし、ほんで、排水樋門の管理委託金、六方排水機場、桃島樋門ほか10樋門、この辺の数字がようけ言っていたんですけど、この辺の一覧って出すことは可能でしょうか。

○分科会長（清水 寛） 富森課長。
○建設課長（富森 靖彦） 出せるものはあるとは思いますが、今言われたの全てという。
○委員（西田 真） 今言った分だけ。
○建設課長（富森 靖彦） ですかね。
○委員（西田 真） 全部説明した分を出せということで……。
○分科会長（清水 寛） 西田委員。
○委員（西田 真） ああ、すみません。今言うた分の、かなり数字とか箇所の羅列を説明いただいて、箇所にしても中身はないんで、数字だけの、何百か所とか、何橋とか、そういう説明ばかりですんで、その辺の一覧をいただけたら非常に後からでも見やすいですし、その辺を提出いただければと思っておりますけど、いかがでしょうか。
○分科会長（清水 寛） 富森課長。
○建設課長（富森 靖彦） 提出はさせていただきますけど、現時点での予定ということで、あくまでも。政策費で上げさせていただいてる分は記者発表させてもらったりしてるんですが、経常費等の分は現時点の予定なので、ちょっと変わる可能性があるということの前提でお願いをいたします。
○分科会長（清水 寛） そうしましたら、資料のほうの提示をまた委員に、よろしく申し上げます。西田委員。
○委員（西田 真） すみません、何点かちょっと教えていただきたいんですけど、27ページの急傾斜の分担金、地元1%負担ということをお聞きしましたけど、これは、地元の1%というのは、地元というのはどこを指しとるんですか。地区を指しとるんでしょうか、いかがでしょうか。
○分科会長（清水 寛） 富森課長。
○建設課長（富森 靖彦） 当然、先ほど言いました下陰地区とかっていうことでなってますので、地区、区ですね。どういう出し方されるかっていうのは区のほうで当然相談されると思います。
○分科会長（清水 寛） 西田委員。
○委員（西田 真） 急傾斜って、かなりの金額になると思うんです、何億とか、そういう感じになる

と思うんですけど、これの1%は地元負担っちゃうのはきついんじゃないかと思うんですけど、これは以前から変わってないんでしょうか。そして、これが、負担がゼロとか、そういういろんな場合によってあるんでしょうか、どうでしょうか。

○分科会長（清水 寛） 富森課長。
○建設課長（富森 靖彦） これにつきましては、以前から変わっておりません。払えなくてどうこうっていうのも、ちょっと私は最近聞いたことはありません。

○分科会長（清水 寛） 西田委員。
○委員（西田 真） すみませんでした。地元がそうやって1%で、それぐらいの金額うんか、もう結構な金額、私はなると思っておるんですけど、それが払えるんだったら、それでいいんですけど、特に問題がないということで理解しておきます。

そして、ちょっと箇所が少ない、台数が少ないとこだけちょっと教えていただきたいんですけど、257ページの事業用備品、車両2台って、これはどことどこ、それを、金額それぞれ教えていただけませんかね。

○分科会長（清水 寛） 富森課長。
○建設課長（富森 靖彦） 今の除雪のほうですね。1か所、1つが日高の除雪グレーダーの3.1メートル級ということで、予算につきましては3,022万8,000円です。それから、もう1台が豊岡地域の除雪トラック3トン級ということで、予算が1,303万6,000円です。以上です。

○分科会長（清水 寛） 西田委員。
○委員（西田 真） ありがとうございます。理解しました。

そして、もう1点だけ。247ページの地下水水位観測。これは何か所でやっておられるんか、ちょっと教えて、箇所だけで結構です。またこれを一覧で出していただければありがたいですし、そして一級水準も何か所あるんかっちゃうのも教えて、後で資料頂ければありがたいです。取りあえず箇所だけ教えてください。

○分科会長（清水 寛） 富森課長。

○建設課長（富森 靖彦） 地下水位の観測につきましては3か所です。一級水準測量につきましては2点です。

○分科会長（清水 寛） 西田委員。

○委員（西田 真） またそれも含めて、資料要求をお願いします。

○分科会長（清水 寛） じゃあ、その分も資料のほう併せてお願いします。

富森課長。

○建設課長（富森 靖彦） 分かりました。

○委員（西田 真） 以上です。

○分科会長（清水 寛） ほか。

石田委員。

○委員（石田 清） 257ページ、一番下のほうです。生活道路整備費、ちょうどきれいに1,000万円減ってるんですが、西花園等というふうにちょっと説明があったんですけど、これ、積み上げた結果の1,000万円減ということでしょうか。

○分科会長（清水 寛） 富森課長。

○建設課長（富森 靖彦） これは毎年、経常的予算と政策的予算ということにしてまして、ちなみに今年度は経常的な予算が900万円で政策的な予算が1,000万円ということなんですが、先ほども申しましたように、普通河川の整備事業ということで、新たな事業を創設しましたので、大部分が今まで生活道路排水路整備事業ということでやっていた事業が、そちらに移行できるものは移行させていただくということですので、政策的な部分につきましてはそちらに移行してということになります。以上です。

○委員（石田 清） 分かりました。

○分科会長（清水 寛） ほかに。

米田委員。

○委員（米田 達也） すみません、1点お願いします。

片鍋一日市線の道路改良工事って、どのような工事が予定されているんでしょうか、教えてください。

○分科会長（清水 寛） 富森課長。

○建設課長（富森 靖彦） 今の死亡事故の原因って

いうのは、渋滞をして、その合間を縫ってということだったので、いろいろと警察とも話をする中で、ちょっと渋滞緩和ということで今考えてますのは、右折レーンを北向きのあの交差点から南側につくらせてもらって、できるだけ渋滞をしないような格好でいけたらなというふうに思っております。両側にちょっと大きな店舗とかも張りついてますので、用地買収してとかっていうことまでは考えておりませんが、それぐらいだったらできるのかなということで、今はそういうふうに考えておまして、その辺りも含めて、来年度調査とか設計を進めていきたいというふうに思っております。以上です。

○分科会長（清水 寛） 米田委員。

○委員（米田 達也） ありがとうございます。

○分科会長（清水 寛） いいですか。

そのほかありませんか。

須山委員。

○委員（須山 泰一） 江原ですけど、お墓があって、暫定堤防つけてほしいんだけど、昨年、本当は造ってほしかった、約束があったはずだけど、なかなか造ってもらえなかったということで、今年は、6月までにとこのような約束を豊岡市からいただてるなんていう話を聞いたんですけど、江原樋門ってというのは関係ありますか。以上です。

○分科会長（清水 寛） 富森課長。

○建設課長（富森 靖彦） 江原樋門はその事業とは関係ありません。今回、樋門を整備するの、古くなってるので、ちょうど扉の部分というんですかね、閉める部分を更新するというので上げさせていただいてるということです。以上です。

○分科会長（清水 寛） 須山委員。

○委員（須山 泰一） その江原の要望の暫定堤防のほうはどうでしょうか。

○分科会長（清水 寛） 富森課長。

○建設課長（富森 靖彦） それは国の事業になりますので、ちょっとここで答えさせていただくのはあれかなと思います。

○分科会長（清水 寛） 須山委員。

○委員（須山 泰一） 了解しました。

もう一つ、僕の地元ですけど、これもまた市ではないかもしれん、三方橋についてはどうでしょうか。

○分科会長（清水 寛） 富森課長。

○建設課長（富森 靖彦） 三方橋も地元と県土木のほうでいろいろと話をされてまして、改めてまた要望書を出すというようなことも聞いております。

○委員（須山 泰一） ちょっと僕も……。

○分科会長（清水 寛） 須山委員。

○委員（須山 泰一） すみません。僕も詳しくないんで、すみません、以上です。

○分科会長（清水 寛） 西田委員。

○委員（西田 真） すみません、57ページの土地売払い収入ということで100万円ほどとか、100万円でできますかね、そういう説明を受けたと思うんですけど、また金額が違ったら訂正してください。

これは里道の売払いとかいう説明を受けたんですけど、いろんな地区に当然里道はあるんですけど、これの売払いしたら、どういう流れでできるんでしょうか。その流れをちょっと教えていただけませんか。

○分科会長（清水 寛） 富森課長。

○建設課長（富森 靖彦） 基本的には、買いたい方があれば、当然、測量であったり、必要な分筆であったりというようなことの、全て資料をつけていただいて売払い願とかっていうことで出していただくということになる。こちらのほうで単価につきましては、近隣の単価等を参考に単価を設定させていただきます。但し、当然、必要な里道であったり、水路を売るといふことにはなりません。あくまでも機能的にもう全然その用をなしてないとかっていうのが大前提にはなりますけど。以上です。

○分科会長（清水 寛） 西田委員。

○委員（西田 真） これ、今、売払い願を、そういう書類を出してからということをお聞きしたんですけど、大体出してから、今、私も言っとるのは、使っとる里道じゃなしに、もう全然使っていない、機能してない里道の話をしてるんですけど、そういう売払い願を出して、完了する期間って大体、その案

件によって違うんかもしれませんが、一般的にはどれぐらいですか。

○分科会長（清水 寛） 富森課長。

○建設課長（富森 靖彦） 委員さんも言われたように、規模だとか、測量を当然しないといけないんで、広い範囲になれば当然時間かかりますし、ちょっとどれぐらいっていうのは今、今年も何件かあったんですけど、ちょっと今どれぐらいだったかっちゃうのが定かじゃないんで、ちょっとお答え今できませんけど。

○分科会長（清水 寛） 西田委員。

○委員（西田 真） ちょっと聞いとるのは10メートル程度いう格好で聞いとって、もう全然機能してない里道があつて、それをちょっと分けていただきたいという話も聞いとるけど、そういう案件で、ざくっと、申請してからどんな感じですかね。それも分かりませんか。

○分科会長（清水 寛） 富森課長。

○建設課長（富森 靖彦） 当然、手続的には、今の市のほうで里道だとかということで持っとるということは、その用途を廃止して、地番も一旦つけて、地番をつけてしまってから売却とか、ことになりませんんで、でも、半年ぐらいはかかるんじゃないかなというふうに、今、感覚的なものですけど、とは思ってます。

○委員（西田 真） 以上です。

○分科会長（清水 寛） ほか、よろしいですか。

それでは、質疑を打ち切ります。

次に、都市整備課の説明をお願いします。

都市整備課、石田課長。

○都市整備課長（石田 敦史） それでは、都市整備課の所管の事業のほうを説明させていただきますが、もうこれまで継続的な事業とか少額な事業は、申し訳ありません、説明を省略させていただきますので、ご了承ください。

それでは、90ページ、91ページのほうをご覧ください。目5、財産管理費の下から14行目です。基金管理費の5億6,742万7,000円のうち、都市整備課分としては730万円を計上しています。

内訳といたしましては、次の財政調整基金積立金の510万円です。これは、高校生通学バス定期補助の今後の事業継続に係ります財政調整基金への積立てです。

また、その2行下、市債管理基金積立金の520万円のうち、都市整備課分としては220万円です。これは、過疎地域内の高校生バス定期補助の財源を過疎債を充当しておりますので、今年度の過疎債償還に係ります負担分の積立てです。

96ページ、97ページのほうをご覧ください。中ほどから下に向けて、目8、公共交通対策費の鉄道交通対策事業費に4,187万7,000円を計上しております。主なものとしては、補助金の3,901万円です。その内訳として、鉄道軌道安全輸送設備等整備事業費1,716万4,000円は、北近畿タンゴ鉄道株式会社が実施いたします、電路、線路、車両整備の改良事業に対しまして、沿線市町が支援するうちの豊岡市分の補助金です。次の北近畿タンゴ鉄道安全運行維持助成費補助金2,067万5,000円は、これも北近畿タンゴ鉄道株式会社がWILLER TRAINSに委託していません路線の運行に係る維持管理に対して、沿線市町が支援する豊岡市分の補助金です。さらに、次の鉄道施設総合安全対策事業費補助金117万1,000円は、昨年度に引き続きまして北近畿タンゴ鉄道株式会社が実施します西舞鶴駅の老朽化した軽油地下タンクの給油設備の更新工事に対しての沿線市町が支援するうちの豊岡市分の補助金です。

98ページ、99ページのほうをご覧ください。1行目、バス交通対策事業費に3億1,283万円を計上しております。主なものでは、業務委託料の5,648万5,000円で、バス運行管理業務の市営バスイナカー8路線の運行管理業務委託料です。

次の事業委託料の334万7,000円は、公共交通支援事業で、出石・但東地域で、地域が主体となって実施されてますチクタクの運行管理の事業委託料です。

その3行下、事業用備品2,493万2,000

円は、有償旅客運送事業のイナカー河野辺線の45人乗りバス1台の更新です。

その3行下、補助金で、地方バス等公共交通維持確保事業費補助金の1億8,712万5,000円は、全但バス株式会社が運営します路線バスの運行補助金と車両購入の補助金の合計額です。

次の事業、公共交通利用促進事業費に666万円を計上しております。

補助金の3つ目、路線バス活性化実証実験運行費補助金の385万6,000円は、毎月第2水曜日を豊岡ノーマイカーデーとして、市内を運行する路線バスに500円で一日乗り放題となる企画を、これまで運行事業者である全但バス株式会社の協力を得て利用促進に取り組んでまいりました。新年度から、この企画を第4金曜日にも追加いたしまして、月2回に拡大いたします。さらなる利用促進に努めるための補助金で、3年間の実証試験と考えております。

なお、これまではコミュニティバスは対象外としておりましたが、イナカー、チクタク、コバスも対象としとり、月2回の取組は、一応、予定では5月から実施したいというふうに考えております。

118ページ、119ページのほうをご覧ください。中段辺り、目22、但馬空港利用促進費の但馬空港利用促進事業費に7,878万5,000円を計上しております。主なものとして、補助金のコウノトリ但馬空港利用促進協議会補助金6,000万円で、コウノトリ但馬空港の利用促進のため、市民やビジネス利用などの運賃助成等をし、コウノトリ但馬空港利用促進協議会へ交付する補助金です。

少し飛びまして、263ページ、264ページのほうをご覧ください。1行目、目1の都市計画総務費の都市計画総務費に410万9,000円を計上しております。主なものでは、業務委託料の都市計画図修正業務委託料で132万円です。都市計画決定に係ります図面修正等を外部委託するための経費です。

少し省略して飛びますが、264ページ、265ページをご覧ください。中段の手前の事業ですが、

豊岡駅前広場等管理費に318万3,000円を計上しております。主なものでは、維持管理委託料262万9,000円のうち、施設管理委託料に240万7,000円を計上しております。豊岡駅前広場、駅前公衆トイレ、市道大開一日市線の地下通路の維持管理業務委託料です。

1つ事業を飛びまして、公園管理費に2,894万3,000円を計上しております。主なものでは、維持管理委託料の1,079万3,000円で、内訳といたしましては、公園内の除草、清掃作業及び樹木の選定作業に435万8,000円、それと、市内の都市公園等のトイレ15か所の清掃等作業に333万9,000円などとなっております。

次に、業務委託料の140万8,000円で、出石城公園の樹木伐採業務や市内の都市公園などに設置されています遊具の定期点検経費を上げております。

整備工事費650万円は、中央公園いこい、通称SL公園の戸牧川右岸側に設置しております擬木柵の老朽化に伴い、約200メートルの改修工事を早期着工すべく、ゼロ市債で実施するものです。

266ページ、267ページをご覧ください。上から2行目、公園施設長寿命化事業費に3,230万円を計上しております。まず、整備工事費の2,600万円は、中央公園いこいの外周の園路舗装工事でございます。

次の設置工事費の630万円は、香住地内のかすみが丘住宅団地地内にあります第一公園の複合遊具の更新工事です。

次の事業、中央駐車場管理費に765万9,000円を計上しております。主なものでは、維持管理委託料712万5,000円で、中央駐車場の施設維持管理及び使用料金の収納事務の委託料です。

まず、歳出の説明については以上です。

続いて、歳入について説明をさせていただきます。予算書の28ページ、29ページのほうをご覧ください。2つ目の枠内の節1、総務管理使用料の上から5行目、有償旅客運送使用料の8980万円は、イナカーの利用運賃収入850万円と出石・但東地

域のコミュニティバス、チクタクの利用運賃収入40万円の合計額です。

34ページ、35ページをご覧ください。下の枠内の節1、総務管理費補助金の最初の補助金、地域公共交通確保維持改善事業費補助金の1,005万2,000円は、歳出で説明しましたイナカー運行事業に係ります運行支援の国庫補助金です。

38ページ、39ページのほうをご覧ください。下から6行目の節3、都市計画費補助金の社会資本整備総合交付金、公園施設長寿命化事業の1,200万円は、歳出で説明しました中央公園いこいの園路舗装工事の国の交付金です。

72ページ、73ページをご覧ください。節1、総務管理債の1行目、バス交通対策事業債のイナカー2,490万円は、歳出で説明しました但東町の河野辺線で運行している車両1台を更新するための市債です。

次の鉄道交通対策事業債の京都丹後鉄道軌道安全輸送設備等の1,710万円は、歳出で説明しました北近畿タンゴ鉄道株式会社が実施いたします、電路、線路、車両等の改良事業に対します沿線市町の豊岡市分の補助金を支出するための市債です。

74ページ、75ページをご覧ください。下から8行目、節5、都市計画債の公園整備事業債の公園施設長寿命化事業の1,080万円は、中央公園いこいの園路舗装工事に充当する市債です。

76、77ページをご覧ください。最後の市債です。節1、過疎対策事業債（過疎地域持続的発展特別事業分）の1億2,770万円のうち、都市整備課分としては730万円で、歳出で説明しましたが、高校生通学バス定期の購入補助金のうち、過疎地域に該当する補助金に充当する過疎債、ソフト事業の市債です。

歳入については以上です。

それでは、最後に、地方債のほうを説明させていただきます。10ページのほうをご覧ください。1行目、バス交通対策事業費のイナカーの2,490万円は、河野辺線で運行する車両1台を購入するための地方債です。

鉄道交通対策事業費、京都丹後鉄道軌道安全輸送設備等の1,710万円は、先ほど地方債で説明しました北近畿タンゴ鉄道分の地方債です。

11ページのほうをご覧ください。中段辺り、中段から下段に向けてですが、公園整備事業費、公園施設長寿命化事業の1,080万円は、中央公園いこいの園路舗装工事の地方債です。

最後の地方債、過疎対策事業債の1億2,770万円のうち、都市整備課分は730万円で、高校生通学バス定期の過疎地域に該当する補助金の地方債です。

説明は以上です。

○分科会長（清水 寛） 説明は終わりました。

質疑ありませんか。

西田委員。

○委員（西田 真） 何点か教えてください。

99ページのイナカーとチクタク。これ、何台で、どこどこ路線か、ちょっと確認するためにお願いします。

○分科会長（清水 寛） 石田課長。

○都市整備課長（石田 敦史） まず、イナカーですが、この旧豊岡地域でいいますと、赤石線と気比三原線の2路線、それと、竹野地域では、竹野海岸線と、竹野南は、これが竹野三原線と床瀬線の2路線、竹野でいいますと3路線ございます。日高に行きますと、三方、八代線がありまして、これは三方線と八代線の2路線。但東町の但東地区のほうに行きまして、河野辺線の1路線。計8路線ございます。

チクタクですが、チクタクにつきましては、出石地域の奥山地区、それと小野地区のひぼこですね。それと但東の資母、同じく但東の合橋。この4地域でございます。以上です。

○分科会長（清水 寛） 西田委員。

○委員（西田 真） ありがとうございます。

そして、99ページの全但バスのバスの購入費用の補助金とか、その辺を含めて1.87億円ぐらいでしたか。このバスの購入の補助ってどんな感じですかね、金額は。

○分科会長（清水 寛） 石田課長。

○都市整備課長（石田 敦史） 1億8,712万5,000円のちょっと内訳を申し上げさせていただきます。

これ、国縣市協調路線の10系統というのがありまして、それと県市協調の15系統、これ合わせてなんです、これが9,821万6,000円。それと、市単独補助路線の18系統ございまして、これが7,908万9,000円、79089ですね。それと車両購入の補助金が982万円。その3つの合計が1億8,712万5,000円です。以上です。

○分科会長（清水 寛） 西田委員。

○委員（西田 真） ありがとうございます。

あと1点、中央公園のいこいの舗装でしたかね、これは、延長どれぐらいのことを考えておられるのでしょうか。舗装ですか、舗装っておっしゃいましたね。

○分科会長（清水 寛） 石田課長。

○都市整備課長（石田 敦史） 舗装につきましては、面積でいいますと1,740平米。以上です。

○委員（西田 真） 延長は分かりますか。

○分科会長（清水 寛） 石田課長。

○都市整備課長（石田 敦史） ちょっと延長までは確認はしとらんですが、大体幅が恐らく3メートルから4メートル程度の幅だったと思いますので、それを割り戻していくと、430メートル余りぐらいになるかと思います。

○分科会長（清水 寛） 西田委員。

○委員（西田 真） 香住団地の遊具はどんな遊具なんでしょうか、それもちょうと教えてください。

○分科会長（清水 寛） 石田課長。

○都市整備課長（石田 敦史） 既存の遊具が滑り台とジャングルジムがセットになったような遊具ですので、基本、そのような形で対応していきたいというふうに考えてます。

○委員（西田 真） 以上です。

○分科会長（清水 寛） ほか、ございませんか。

須山委員。

○委員（須山 泰一） 河野辺線のイナカー更新され

るということで、2,400万円でしたか、出てましたけど、たしかスクールバスも兼用するという路線でしたか。大きなバスですか。

○分科会長（清水 寛） 石田課長。

○都市整備課長（石田 敦史） 先ほど須山委員がおっしゃられるように、今回の車両は45人乗りのバスを予定しています。これは、イナカーとスクールバスも兼ねておりますので、定員人数を大きい車両に考えております。

○分科会長（清水 寛） 須山委員。

○委員（須山 泰一） 何か薬王寺では、そのバスが折り返すところが、ちょっと奥のほう、難しいとかいう話も聞きました。でも、スクールバスも必要ですし、仕方がないのかなと思います。

それと、もう一つですけど、ノーマイカーデー。これ5月からイナカーやチクタクも行うということでしたけど、500円で乗り放題みたいな形でしたか、お願いします。

○分科会長（清水 寛） 石田課長。

○都市整備課長（石田 敦史） 今回、今まではずっと、昨年までは路線バスだけというふうにしてたんですが、やはり今後の需要も考えて、利便性も考えてということで、今、委員おっしゃられるように、1日500円で、フリーチケットというふうな感じで考えております。

○分科会長（清水 寛） 須山委員。

○委員（須山 泰一） それは、たしか月2回ですけどね。はい。

バスの件は以上なんですけど、もう一つは、但馬空港の利用促進の補助金の件ですけど、6,000万円ということで、うちの会派、毎年その補助率が高過ぎるということで、補助率の引下げを求めてきてると思うんですが、そういう検討はどうでしょうか。

○分科会長（清水 寛） 石田課長。

○都市整備課長（石田 敦史） やはり利用促進を図る上では、ほか、他の交通機関といいますと、JRの利用料金を見据えて考えていかなければならないというふうに考えてます。例えば豊岡駅から大阪

までとなりますと、指定の料金でやはり5,000円を超えるような料金設定になってきます。ただ、JRよりも安く設定してしまうと、飛行機利用とJR利用との兼ね合いというんでしょうか、そのことでもありますので、若干はやっぱり飛行機のほうを高めの設定で補助をしていくというふうな感じになるかと思えます。

会派のほうからもいろんな質問を今までから受けておるんですけども、ただ、通常の大人の普通の料金でいいますと、これが1万4,000何がしの料金設定になって、豊岡市からこれは5,000円を補助して、なおかつ但馬空港の推進協議会、これは但馬3市2町の協議会ですが、これが2,900円ということで、7,900円を出してというふうな感じになってます。

ただ、大概皆さん方が割引のあるところで利用されておりますのが、大体特別割引のCタイプということで、これは豊岡市からは4,000円の補助になってます。ですから、料金設定からすると、2分の1以上を補助金として出してるというふうなことではないので、市としては何とか、JRよりも安くの設定というのは難しいかもしれませんが、それに近いような形での補助というのは考えていくべきだろうというふうに思ってます。以上です。

○分科会長（清水 寛） 須山委員。

○委員（須山 泰一） 私も乗ったことはないんですが、一つ、会派がこれまで補助率を引き下げるべきだと言ってきた理由の一つは、市民の多くが乗らないじゃ、乗ってないんじゃないかというのがあると思うんですけど、その点、どうでしょうか。

○分科会長（清水 寛） 石田課長。

○都市整備課長（石田 敦史） 今回、昨今、この2年間のことを考えると、やはりコロナの影響で利用はかなり落ち込んでたというのは確かです。

ただ、利用者の関係でありますけれども、大体2分の1がビジネスで、東京ですとか京阪神のほうから来られる方が2分の1程度あって、2分の1がこの但馬地域からの利用というふうになっています。中でも、約8割は豊岡市が利用されてる、豊岡市の

方が使われているというふうな状況なので、この但馬の地域の中では豊岡市というのはやはり大きいシェアを占めてると我々は理解しております。

○分科会長（清水 寛） よろしいですか。

○委員（須山 泰一） 取りあえずいいです。

○分科会長（清水 寛） 西田委員。

○委員（西田 真） すみません、今、関連なんですけど、但馬空港の滑走路の延長の件が、県のほうで、今、いろいろとあるんですけど、なかなか県議会のほうではそれが進んでないような感じがしておるんですけど、その手の情報をもしお聞きなら、教えていただければと思います。

○分科会長（清水 寛） 石田課長。

○都市整備課長（石田 敦史） この但馬空港のあり方懇話会っていうのが令和2年の2月から始まっております。再来週になると思うんですが、3月の24日に第4回目のあり方懇話会が実施されます。これまでご承知だと思いますが、兵庫県議会の中でも利用の促進であったりとか、滑走路延長に関しては多額な事業費がかかるのでというふうな、結構厳しいご意見があります。

ただ、兵庫県としましても、今後の将来の需要予測というふうなところも見据える中で、やはり東京の首都圏、直行便というふうなことは目標にしていこう。当然、我々、豊岡市といたしましても、県と足並みをそろえて進んでいきたいというふうなことで、本来、このあり方懇話会は今年度の末で一旦終えてというふうなことではあったんですが、コロナの影響を相当受けてますので、今後の需要予測も少し、若干期間は開いて検討していこう。今回、3月の24日に開催されるあり方懇話会では、中間の報告というふうなところで、一旦取りまとめをするというふうに伺っております。

今後、但馬地域はもとより、この近隣の京丹後市、京都府も含めて、今後の活性化に向けた取組っていうんでしょうか、そういったことを今後一緒になって検討していこうかというふうなこともお話として聞いております。以上です。

○分科会長（清水 寛） 西田委員。

○委員（西田 真） まず、周辺自治体も巻き込んで一生懸命頑張っていたいただければと思っていますので、よろしく願います。ぜひ滑走路も延長して、ジェット機で東京直行便、これを必ず実現していただきたいと思っています。

そして、265ページの公園管理で、トイレ15か所とあったんですけど、これは、15か所、全てなんでしょうか。数をちょっと確認をさせていただきます。

○分科会長（清水 寛） 石田課長。

○都市整備課長（石田 敦史） すみません、ちょっと手持ちの資料として持っておらんのですが、それぞれの地域、豊岡地域、竹野地域、日高、出石、但東というところで、それぞれの地区に委託をかけてというふうなところでしております。

すみません、今、トイレ15か所の話でした、すみません、失礼しました。訂正の説明をさせていただきます。

市内の都市公園の15か所というのは、全てシルバー人材センターのほうに委託をかけております。その中で、大半はこの市街地周辺の都市公園になっております。具体的に施設名を上げていったほうがよろしいですか。

○委員（西田 真） 委員長、ちょっと一覧表を提示してもらったほうがありがたいんですけど。

○分科会長（清水 寛） はい。そうしましたら、その件に関しては、一覧表をまた委員のほうに提示いただけたらと思います。

○都市整備課長（石田 敦史） じゃあ、一覧表のほうをお渡しさせていただきたいと思います。

○分科会長（清水 寛） お願いします。

ほかにありますか、いいですか。

質疑を打ち切ります。

次に、建築住宅課の説明をお願いします。

建築住宅課、山本課長。

○建築住宅課長（山本 正明） それでは、建築住宅課分の説明をさせていただきます。

同様に事務的な経費と経常的なこと、あと省略させていただきまして、主なもので説明ということで

お願いしたいと思えます。

それでは、早速です。268、269ページをご覧くださいと思います。まず、住宅管理費の中で、説明欄を中心に説明させていただきます。主なものといたしまして、一番上にあります人件費、委員報酬10万7,000円ということで、これにつきましては空き家等対策協議会委員8人、総勢10人なんですけども、報酬支払い対象が8名ということで、の報酬ということです。年3回ほど委員会を開催をする予定をしております。

あとその下、15行ほど下になりますけども、住宅管理費、これがこちらで管理しております、公営住宅40団地970戸、これらの維持管理、運営、それに掛かる経費となります、住宅管理費1億1,916万6,000円。主なものといたしまして、まず、6行ほど下、修繕料2,210万円、これにつきましては、市営住宅の退去修繕、あと、風呂釜とか給排水、そういった設備の緊急修繕なんかに係る修繕でございます。

その下、6行目、保守点検委託667万4,000円。記載のとおり、消防設備、エレベーター等の保守点検委託料です。

その下、9行目ほどです、業務委託料42万9,000円ですけども、内容といたしましては住宅管理システムの改修ということで、この改修に係る委託料でございます。

その下7行目、補修工事費7,090万4,000円ということです。内容としましては、たくさんあるんですけども、ゼロ市債、これ1,280万円ということで、12月に提案させていただきました。市営住宅3団地における、入居に向けた改修工事、あと、排水の整備とか環境整備、そういった3つの工事、ゼロ市債での工事を予定しておると、現在進捗中というところになります。あとそれ以外に、今森住宅の2号棟と塩津の3号棟、エレベーターの改修工事ということで、これは長寿命化計画に基づいた改修工事というふうな形、あとそれ以外、円山住宅、福住住宅、電気温水器の更新工事ということで、3か年ほどかけて計画的に工事をしていくといった

工事も予定しております。あと、住宅施設の修繕ということで、一部修繕が必要な部分の工事を予定しとること、大きいのは退去修繕ということで、入退去、退去されたら次の方のために修繕をかけていくといった形、それらの工事費の総額をこちらで上げておるというものでございます。

270、271ページ、ご覧ください。3行目です。補償金として移転補償金650万6,000円としております。これにつきましては、本年度から着手しておりますけども、市営の一本松住宅、それと但東の出合市場住宅、この2団地の用途廃止に向けた入居者の方、現入居者の方の転居に係ります移転料と、あと必要に応じた生活支援一時金という形で、一応予定としては14件ほど対象として予算を組ませていただくと、来年度が着手の2年目ということで、基本は3か年で退去していただく、特異な状況があれば5年まででというような形で考えております。

あと、次、公営住宅の関係はそこで終わります、その下、住宅耐震改修促進事業費2,265万3,000円です。主なものといたしましては、3行目に書いております業務委託料252万円としまして耐震診断業務、これは80件ほど予定をしております。

その下、補助金、住宅耐震改修促進事業費2,000万円、これにつきましては、先ほど言いました耐震診断を行った後、耐震性を見る評点、これが満たない場合に耐震化の工事をしていただく、それに係る計画策定とか、実際の工事、これらの一部を補助するという形の補助金で計画を持つとということでございます。

あとその下、住宅新築資金等貸付金回収事業費ということで19万4,000円ということで、これは過去の貸付金になりますけども、住宅新築資金等貸付金の滞納が残っておりますので、これらの滞納に対する徴収の業務、これらに係る調査旅費とか催告書送付等の事務費というものでございます。

その下、老朽危険空き家対策事業費1,567万5,000円です。こちらにつきましては、まず、費

用弁償から手数料あたり、この辺りにつきましては、空き家等対策協議会の運営とか、あと事務経費、それに係る経費と見てもらったらと思います。

その下に業務委託料がございます、1,004万円。これにつきましては、内訳としまして、空き家等対策計画策定業務としております。これ、現在持っております豊岡市の空き家等対策計画が平成30年から令和4年度まで、つまり、来年度の5か年計画でございますので、来年度、令和4年度に改定を行いまして、次期5か年計画を策定しようとするもの、これが一つと、その下に書いてます特定空家除却等業務ということで、これにつきましては、決定ではないんですけども、特定空家等の行政代執行を1件、可能性があるということで、予算を計上しとるものでございます。

一番下、補助金の老朽危険空き家除却支援事業費532万8,000円、これにつきましては、所有者等が特定空家等の除却をする費用、これ一部を補助するものということで、来年度一応、この予算は4件分ほどの除却に対する補助を検討予定をしとるというような状況での予算計上でございます。

飛びまして、280、281ページ、ご覧ください。下から8行目辺りになります。災害対策事業費、補助金、土砂災害対策支援事業費600万円ということで、これにつきましては、土砂災害特別警戒区域にあります住宅等の移転や除却、また、必要に応じて防護壁の設置や改修といった、こういう取組に対しまして、国、県ともに補助を行うものでございます。一応予算枠という形で600万円を計上しております。

歳出は以上でございます。

歳入に行かせていただきます。28ページ、29ページをご覧ください。下の表になります、総務管理使用料の上から4行目、行政財産目的外使用料2,755万8,000円のうち526万5,000円が建築住宅課所管分ということで、内容的にはお試し居住、公営住宅を使ってお試し居住、あと大学生の入居等を行っております。それらの使用料に相当する分。あと、必要に応じて施設の、NTTさんと

か関電さんとかの使用料でございます。

続きまして、30、31ページをご覧ください。土木使用料の4段目になります、住宅使用料2億4,970万6,000円のうち、5行目に記載してあります移住促進住宅使用料、これがちょっと但東振興局の所管になります、これを除きました金額、2億4,634万6,000円、これが公営住宅、あと特公賃の住宅、あと出石の改良住宅、これらの住宅の使用料、あと、公営住宅に伴います市営住宅の駐車場の関係の使用料、明細はご覧いただければと思います。

38、39ページ、ご覧ください。一番下の段になります、土木費国庫補助金の住宅費補助金の社会資本整備総合交付金1,937万6,000円です。内訳につきましては、次のページにかけてずっと記載してありますとおり、先ほど歳出の関係で申し上げました簡易耐震診断とか、今森住宅、塩津住宅のエレベーター改修なんかの公営住宅等ストック総合改善、あと民間住宅の耐震改修に係る助成、そして老朽危険空き家の除却に対する補助、これらに伴います国の補助金ということでご覧いただければと思います。

その下、消防費補助金の社会資本整備総合交付金73万1,000円、先ほど申しました土砂災害特別警戒区域にある住宅等の移転、除却等と言いました。これに対する崖地近接等危険住宅移転事業費ということで、国からの補助金でございます。

52、53ページをご覧ください。3段目の欄になります、土木費県補助金、住宅費補助金254万8,000円です。内訳は記載しておりますとおり、簡易耐震診断とか民間住宅の耐震改修、そして、老朽危険空き家の除却、これらに係る、これは県の補助金というものでございます。

あと、一番下の欄にございます消防費県補助金、災害対策費補助金263万4,000円、先ほど申しました、特別警戒区域にある、移転に係る、これは県の補助金の分でございます。

あと、62、63ページ、ご覧ください。一番下の欄、諸収入、住宅資金貸付金元利収入ということ

で145万1,000円のうち143万円、説明欄記載の上3つの資金です。これらの資金の係る貸付金の元利収入ということで計上しとるものでございます。

あと、以上が主なものということですので、よろしくお願ひしたいと思います。

一応、債務負担、地方債等はございません。

建築住宅課分は以上です。よろしくお願ひいたします。

○分科会長（清水 寛） 説明終わりました。

質疑ありませんか。

西田委員。

○委員（西田 真） 何点か確認のために教えていただきたいと思ひます。

271ページの特定空家除却、1件を予定されているというふうにお聞きしたと思うんですけど、この場所とか、その辺は言うてもよろしいんでしょうか。教えていただける範囲で結構なんですけど。

○分科会長（清水 寛） 山本課長。

○建築住宅課長（山本 正明） 先ほど説明のときも一応申し上げました。決定しとるわけではない、可能性がちょっとあるということで、ずっと継続的に除却に向けて調査だとか交渉だとか、もろもろいろいろやっております。場所、今、候補として検討しますのは日高町の鶴岡区いうところで、ちょっといつまでも置いとける状況にないかなという感じで、今、いろいろずっと取り組んでおるんですけども、もう最後、状況になったらこれだという事を考えておるといふものでございます。

○分科会長（清水 寛） 西田委員。

○委員（西田 真） もう1点、281ページの土砂災害対策支援事業費、この600万円っちゅうの、場所はどこなんでしょうか。

○分科会長（清水 寛） 山本課長。

○建築住宅課長（山本 正明） 場所等は特定しておりません。これ制度、この補助金制度を入れまして、先ほど申しました区域にございます住宅を除却、あと、除却して転居をする、新しい住宅に入る、そのための経費、もしくはそこに住むのであれば、防護

壁を整備するとか、そういったものに対する、メニューに対する補助なんですけども、昨年、一昨年も、制度はPR等もしとるんですけど、現実論、なかなか家を手放して出ていくという案件はございません。ですので、これも予算、いつでも出てきても必要に応じて、必要があれば、もしかしたらこれ補正で増額せんなんという形で、申請受けて対応していくというのが状況でございます。計画の予定はございません。今は、候補としては持ってません。申請があつて対応していくという考え方です。

○分科会長（清水 寛） 西田委員。

○委員（西田 真） もう1点だけ、豊岡市の住宅、先ほど説明あつたんですけど、何団地あつて定員どれぐらいで、今の入居率って、それぞれの団地ごとに分かりますか。

○分科会長（清水 寛） 山本課長。

○建築住宅課長（山本 正明） 先ほどちょっと冒頭で、現在、所管しております公営住宅、合わせましたら40団地、管理戸数が970戸であります。ちなみに全体的にいけば、その入居率、全ての入居率、現時点という捉え方していただければと思ひますが、78.6パーセントです。

そして、ただ、これは、先ほど言ひました、一部用途廃止予定という団地も含めての入居率になりますので、その用途廃止予定はもう当然だんだん減るばかりの状態、相当入居率は悪い状態でございます。ですので、そこをもし外したら、一応形上、35団地の777戸、入居率が86.2という数字で今推移しとると。ちょっと3月の、1週間ほど前の数字になりますけども、ような状況でございます。

○分科会長（清水 寛） 西田委員。

○委員（西田 真） その団地によってなかなか条件がいい言ひますんか、立地状況がいい言ひますんか、なかなか入れないと、そういうところも、希望があつてもなかなか入れないところもお聞きしてるんですけど、その辺は、やはり立地条件がいいところはもういつも満室状態なんでしょうか。

○分科会長（清水 寛） 山本課長。

○建築住宅課長（山本 正明） 今、委員おっしゃい

ましたとおり、大きな傾向といたしましては、やはり旧1市5町でございます。1市5町でも旧豊岡市の中がやっぱり一番希望は多い。5町と周りになってくれば、やっぱり入居率も悪い。応募者もないということもございますし、今言われたとおり、旧豊岡市、それでも特に市内に近いとこほど、やっぱり希望は、申込み集中しまして、正直言って、何年も待たせてもらおうという方もあるのはありますというのが現状でございます。

○分科会長（清水 寛） 西田委員。

○委員（西田 真） もう1点だけ、申請期間があったと思うんですけど、その申請期間と随時の応募はできるかどうか、ちょっとその辺確認させてください。

○分科会長（清水 寛） 山本課長。

○建築住宅課長（山本 正明） 結局、先ほど言いました全部の住宅を対象にして、4月……。1日からやっけな、いつだった。いつからだったか。ちょっと日付は忘れてしまったんですけど、広報なんかでも予告やなんかいろいろかけるんですけど、4月から全ての住宅の定期募集という形で、どこの住宅関係なくして、希望者を一括して取りまとめるというのを行いまして、5月に抽せん会的な形、その方を対象にして抽せん会なんかをやっていくと。そこで、もう既に抽せんで、結局集中しとるとこは順番ができますので、空いとる枠だけはもうその段階ですぐ入っていただく段取りになりますし、そこで何人か入っても満杯になってしまったといったら、抽せんの優先順位の遅い方はそれ以降に空きが出るのを待っていただくという形というようなことです。先ほど言いました抽せんして順番をまず決める、それが、その段階から今度は随時募集ということで、先ほど言いました、全ての団地がもう順番待ちというわけじゃございませんので、定期募集終わった段階でもうすぐ随時募集ということで、希望の住宅等を含めて申し込んでいただく。その申し込んでいただいたところが、先ほど言いました順番待ち状態のところを申し込まれるんだったら、定期募集の順番あった後ろに順番待ちで入っていただきますし、全然空いとる

とくだったら即入っていただく段取りをするというような、2段階での1年間通しての入居の手配というような形になっております。

○委員（西田 真） 以上です。

○分科会長（清水 寛） よろしいですか。

そのほかございますか。

米田委員。

○委員（米田 達也） 270ページの老朽危険空き家対策事業費、失礼、すみません、業務委託料の1,004万円ってあるかと思うんですけども、そこ2項目の内訳を教えてくださいなんですけども、歳入で266.4万円っていうのが行政代執行のところに当たる費用なのかなと思ってたんですけども、この内訳を教えてくださいです。

○分科会長（清水 寛） 山本課長。

○建築住宅課長（山本 正明） 271ページ、業務委託料で言われましたね。2項目、先ほど説明の中では計画策定と特定空家の除却等の業務ということで行政代執行と言わせてもらいました。数字はちょっとあえて説明してなかったんですけども、あくまでも特定空家の除却等業務ということでいっておられます。これが399万円、これは対象物件の広報のことは先ほどちらっと言わせていただきましたけども、あくまでもそれ程度の建築物を除却する作業をしていただくと思ってという形で見積りなんか取った中で、それぐらいの経費が要るんちゃうかということでの金額を上げさせていただくと。残額が計画策定業務のほうの金額ということになりますけどもいう形で、それで、国庫のほうでありました件は、先ほど言いました、これは別の金額で、補助金、所有者の方が自ら空き家を除却、自らいうのか、どんな方でもいいんじゃないしに、特定空家等の認定をかけた方が、厳しいけども補助金で何とか除却するわというときに、国とかの補助金がついてくるという補助金であります。行政代執行の件は行政代執行ですので、補助金等はずいてきません。市の自腹いとおかしいですけど、市の市費で執行して、回収ができるのであれば、当人さんから回収するしか手段がないというのが現状でございます。

- 分科会長（清水 寛） 米田委員。
- 委員（米田 達也） ありがとうございます。
- 分科会長（清水 寛） よろしいですか。
- 委員（米田 達也） はい。
- 分科会長（清水 寛） 石田委員。
- 委員（石田 清） 空き家対策の話なんですけども、最終的、一生懸命やられてるのは分かるんですけども、この事業をやって、やはり空き家が、特定空家みたいなものが増えているのか、いや、事業の効果が出ている、減ってきているとか、あるいは建築住宅だけじゃなくて、環境経済がやってるような空き家の再利用しましょうという、リフォームしてというような話も含めて、最終的に空き家ってまたどんどん増えてるんですわ、この事業だけじゃとても追いつかないという話なのか、そこら辺のちょっと感覚が分からんのですが。
- 分科会長（清水 寛） 山本課長。
- 建築住宅課長（山本 正明） 今言っていたきました。一言で言いまして、空き家というのは、もう正直言って、増えるばかりだと思ってます。ただ、その空き家の中で、結局ただ単に人がたまたま住んでいないのも空き家ですし、また何年かしたらまた帰ってくるわとかいうのもありますし、よく言えば、ずっと不在でおられても、遠方からでも、例えば地元の人に頼んでとかいうことも含めて、管理はちゃんと進めると、ずっと人は住んでなくても、管理は継続されとるという空き家もごさいます。一応私らが一番気にしておりますのは、先ほども言いました、誰も住んどらない、だから空き家なんですけども、最終的には特定空家という危険極まりない、本来空き家、老朽化した中においても、空き家物件も、あくまで個人の財産ですので、基本は個人のそれぞれの所有者の方なんか管理して、危険があれば、それもあくまでも、何かごとあったときは責任も行きますよということもごさいますし、基本は本人さん、所有者の方が原則です。ただ、それをもうほっとけない、どうにもならんというところにやむなく、特措法を背景にして、行政が手を出して、先ほど言いました補助金の形ででも除却につないでいくと

か、どうにもならんのは、今まで所有者がないのは略式代執行という形で行政自らが除却したというの、これ2件ほどある。いろんな手法取って、そういう危険極まりないものだけは行政も入って行って取っていくというのが現状でございまして、ただ、特定空家というのも現実論、今までも10件近く、いろいろ市が関与してますけど、特定空家18件、今まで見てきて14件、何らか除却につながるとという状況でございまして、ただ、潰しても、次にまた危ないのが出てくるというのが現状。

ただ、それともう一つ、一番ご理解いただければ、先ほど出ました利活用という形、それは環境経済のほうでいろいろそっちもやってます。それも大きな、そういう危険な空き家につながるものを発生させないために大事な展開だなど、一応役割分担として利活用してもらって、うちは危険極まりない特定空家等、その除却ということで。ただ、これが簡単げに、もっともっとできるんちゃうかって言われそうなんですけども、そういう物件というのはもう所有者も分からん状態とか、交渉とかいうことで、なかなか1件潰すにもちょっと相当手間がかかるとというのが現状でございまして。すみません、しゃべったか。

○分科会長（清水 寛） 石田委員。

○委員（石田 清） 今、実は空き家とって、地区によってはもうどんどん目立ってくるようなところもあるんだし、全体的に空き家対策という施策の中の全体像がまだちょっと見えないというか、その状態が。ここの部分に対してはこういう対策を取ってるんだとかいう、いろいろあるでしょう、さっきの利活用の問題もあるし、代執行まで行く問題もあるし。全体的に、今、現状としてはどうなのかというのが見えない。これが、特措法ができた前後でこれだけ変わってきたと分かれば、またそれもいいです。できれば、そういうことも分かるようなものができておれば、あるいは部分的にも分かるものがあれば、また教えていただきたいなという、これ、要望です。

それからもう一つ、小さなことなんですけど、市

営団地の中に、市営団地業務の中に、土地借り上げ料というのが320万円ありますよね。一体これはどういう土地なんでしょうか。上に建物が建ってる、建ってない。

○分科会長（清水 寛） 山本課長。

○建築住宅課長（山本 正明） 市営住宅、旧1市5町、市営住宅関係、それが今、現豊岡市での形で、先ほど言いました40団地ほどございます。その中で駐車場、あと一部、市営住宅建つところのものもなんですけども、あと、一番は豊岡の大きな団地で市営駐車場の敷地を借地しとると。とりわけ、小さい、旧豊岡市以外のところはその大きな規模じゃないんですけども、そういった一部、やっぱり借地で住宅の用地と、駐車場の用地が一番大きいんですけど、を借地しとる分があるということで、それに係る借地料の支払いというような形です。

○委員（石田 清） はい、分かりました。

○分科会長（清水 寛） よろしいですか。

それでは、質疑を打ち切ります。

以上で都市整備部の職員の方は退席いただいて結構です。ご苦労さまでした。

暫時休憩します。再開は4時。

午後3時49分 分科会休憩

午後3時56分 分科会再開

○分科会長（清水 寛） そうしましたら、ただいまから建設経済分科会を再開します。

それでは、第32号議案、令和4年度豊岡市一般会計予算を議題とします。

次は、上下水道部に関する審査です。

当局におかれましては、新規事業、前年度から大きな変更のあった事業及び主要事業等の議会説明を要する事業について、その概要を簡潔にご説明願います。

順番については、歳出、歳入、債務負担行為、地方債の順をお願いします。

なお、説明に当たっては資料のページ番号をお知らせください。

質疑は、説明が終わって後に課ごとに行います。

それでは、まず水道課から説明願います。

水道課、谷垣課長。

○水道課長（谷垣 康広） 第32号議案、令和4年度豊岡市一般会計予算のうち、水道事業関係分についてご説明いたします。

一般会計予算書の205ページをご覧ください。歳出でございまして、上の表の最下段、水道事業会計負担金ですが、3億4,120万5,000円を予定しております。これは主に総務省の繰り出し基準に基づいて、一般会計から水道事業会計へ繰り出すものでございます。補助事業に対する一般会計からの負担金などがございます。

続きまして、歳入でございまして、75ページをご覧ください。市債ですが、表の上段、保健衛生債の水道施設整備事業債を、先ほど説明いたしました補助事業に対する負担金の財源として、5,790万円を予定しています。

続けて、10ページをご覧ください。（「何ページですか」と呼ぶ者あり）10。10ページでございます。第3表地方債ですが、上から16行目、水道施設整備事業債を同様に5,790万円としています。

説明は以上でございまして。

○分科会長（清水 寛） 説明は終わりました。

質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会長（清水 寛） 質疑を打ち切ります。

次に、下水道課の説明をお願いします。

下水道課、榎本課長。

○下水道課長（榎本 啓一） 議案の説明に入ります前に、このたび令和4年度の下水道事業会計予算書のほうに、年間排水処理水量の数値に誤りがありましたので、本当に申し訳ありませんでした。今後につきましては、このようなことがないように、より一層確認やチェックをしてまいりたいと思います。誠に申し訳ありませんでした。

それでは、第32号議案、令和4年度豊岡市一般会計予算の下水道課に係る部分について説明をさせていただきます。

まず、歳出から説明いたします。予算書の201ページをご覧ください。説明欄、下から4行目、浄化槽設置事業費補助金79万3,000円は、浄化槽設置整備事業補助金交付規程に基づきまして、生活排水処理計画で定める合併浄化槽区域内の専用住宅への浄化槽設置に対し補助金を交付するものです。

次に、267ページをご覧ください。説明欄の一番下、下水道事業会計負担金25億1,345万2,000円は、総務省の繰り出し基準等に基づく下水道事業会計への負担金を計上しております。

次に、歳入でございます。39ページをご覧ください。説明欄、3つ目の枠の1行目、循環型社会形成推進交付金26万4,000円につきましては、浄化槽設置事業に係るもので、事業費79万3,000円に対する補助率3分の1として計上しております。

説明は以上です。

○分科会長（清水 寛） 説明は終わりました。

質疑はありませんか。

西田委員。

○委員（西田 真） 201ページの浄化槽の補助金なんですけど、ちょっと対象とかそういう予定とかあれば教えていただきたいと思います。

○分科会長（清水 寛） 榎本課長。

○下水道課長（榎本 啓一） 浄化槽補助金なんですけども、実績といたしまして、2020年度、2021年度については、申請がございませんでした。

対象となる区域といたしましては、公共下水道とか農集排区域でない区域ということで定めております区域でございます、豊岡市でしたら伊賀谷だとか、竹野の川南谷だとか、そういったところが対象となります。

○分科会長（清水 寛） 西田委員。

○委員（西田 真） 予定はないのに一応上げてるとい感じなんですか。予算立てしてるということだけでしょうか。

○分科会長（清水 寛） 榎本課長。

○下水道課長（榎本 啓一） そのとおりでございます

す。

○分科会長（清水 寛） 西田委員。

○委員（西田 真） 全然また話が違うんですけど、お願いなんですけど、これ資料、管路工事の予定箇所と、そして、下水道の予定箇所図というのをここで頂いたんですけど、これはタブレットのほうにも入っているのでしょうか。この委員会だけ頂くのもありがたいんですけど、議員皆さんが見れるようにタブレットの中にも入れていただきたいと思いたすけど、いかがでしょうか。

○分科会長（清水 寛） 小林さん、どうですか。

○委員（西田 真） 事務局が受け付けて入れるような予定になってるかどうか、その辺はどうなんですかね。小林さんが答えていただいても結構なんですけど。

○分科会長（清水 寛） 榎本課長。

○下水道課長（榎本 啓一） 今後につきましては、今、委員がおっしゃられたように、タブレットのほうで前もって入れるようにさせていただきます。

○分科会長（清水 寛） 西田委員。

○委員（西田 真） ぜひよろしくお願ひしたいと思ひます。こうやって丁寧にしていただくのは目で見ても非常にありがたいんですけど、こういうペーパーなくなったりしますんで、タブレットの中にPDFで入れていただければ非常にありがたいんで、よろしくお願ひしてきます。

○分科会長（清水 寛） よろしくお願ひします。そのほかございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会長（清水 寛） それでは、質疑を打ち切ります。

これで第32号議案、令和4年度豊岡市一般会計予算について、説明、質疑が全て終わりました。

本来ならここで第32号議案に対する討論、表決を行うところですが、順序を入れ替え、先に第41号議案及び第42号議案を審査したいと思います。ここで建設経済分科会を暫時休憩します。

午後4時04分 分科会休憩

午後4時04分 委員会再開

○委員長（清水 寛） 建設経済委員会を再開します。

それでは、第41号議案の審査に入ります。

第41号議案、令和4年度豊岡市水道事業会計予算を議題とします。

当局の説明を求めます。

水道課、谷垣課長。

○水道課長（谷垣 康広） 豊岡市特別会計予算書、233ページをご覧ください。水道事業会計予算でございますが、233ページから235ページまでにつきましては、本会議で部長が説明したとおりでございますので、詳細につきましては、予算実施計画でご説明いたします。

239ページをご覧ください。まず、収益的収入及び支出でございます。収入ですが、水道事業収益といたしまして22億5,669万円を予定しています。主なものといたしましては、その2つ下、営業収益の水道料金16億5,792万1,000円、その4つ下の雑収益、下水道使用料徴収等受託金5,108万4,000円でございます。営業外収益のうち、一般会計補助金は、先ほど一般会計予算で説明いたしました水道事業会計負担金の一部でございます。

240ページをご覧ください。支出では、水道事業費用といたしまして21億6,459万円を予定しています。営業費用は19億2,317万4,000円で、主なものといたしましては、中段辺りに原水及び浄水費の委託料といたしまして1億4,541万8,000円、これは佐野浄水場及び各浄水施設等の運転管理業務等でございます。

続きまして、241ページ、配水及び給水費の中段辺り、委託料5,251万1,000円、これは各配水施設の保守点検等でございます。

その3つ下、修繕費6,424万4,000円、これは漏水修理等に係る費用でございます。

続いて、242ページ、総係費の中段少し下、委託料9,316万6,000円、これは料金等賦課徴収業務等でございます。

次に、244ページをご覧ください。資本的収入及び支出でございますが、まず、上段の資本的収入は6億5,053万9,000円を予定しています。企業債4億7,790万円のほか、一般会計出資金、負担金、大見塚受水池・配水池改築事業等の補助金を計上しています。

下段の資本的支出は20億7,157万1,000円を予定しています。建設改良費は10億9,543万円を予定しております。うち工事請負費として10億3,542万5,000円を計上してあります。

お手元にお配りいたしました予定箇所図をご覧ください。A4判の令和4年度水道事業管路工事予定箇所図という、ホチキス止めにさせていただいております。資料1でございます。管路工事の予定箇所を示しております。2枚目の資料2に施設整備の予定箇所を示しております。

まず、資料1をご覧ください。管路工事の予定箇所となります。赤の着色で国県関連事業箇所を示しております。吹き出しで事業概要を示しております。

右の表には老朽管の更新事業の内訳を掲載させていただいております。主なものといたしまして、城崎・港給水区配水施設整備事業6,982万5,000円、右表の老朽管更新事業は12月に上げさせていただいておりますゼロ市債9,800万円を加えまして、3億円を予定しております。

資料2をご覧ください。施設整備の主なものでございます。本年度より着手いたしました城崎地域の大見塚受水池・配水池改築事業は令和7年までを予定しております。総工事費11億円で、本年度は1億5,000万円を計上しております。佐野浄水場膜ろ過設備更新事業では、本年度2億7,200万円を、翌年度以降に9億5,760万円、債務負担行為で計上しております。その他、竹野地域では青井加圧ポンプ場の加圧ポンプの更新、日高地域では岩中浄水場の既設浄水池の撤去、出石地域では城山配水池耐震補強に係る詳細設計、但東地域では各施設の監視に係るクラウド化での監視システムの更新を予定しております。

予算書のほうに戻りまして、245ページから249ページ、こちらのほうにキャッシュフロー計算書、給与明細書を添付しております。ご清覧をいただきたいと思います。

250ページをご覧ください。債務負担行為に係る調書でございます。水道料金等賦課徴収業務は以前に設定したもので、老朽管更新事業はゼロ市債に係るもの、水質検査業務及び水道施設運転管理業務は次年度早期に実施するためのもの、佐野浄水場膜ろ過設備更新事業は複数年度に及ぶ事業であるため、債務負担行為を設定するものでございます。

252ページからは、予定貸借対照表、予定損益計算書、注記を添付しております。ご清覧いただきたいと思います。

なお、令和4年度の純利益につきましては、245ページ、キャッシュフローの計算書、一番上にありますとおり、182万7,000円を予定しております。

説明は以上でございます。ご審議よろしくお願いたします。

○委員長（清水 寛） 説明終わりました。

質疑ありませんか。

西田委員。

○委員（西田 真） 240ページの運転管理、委託料の分ですね、水質検査、これが運転管理で1億円とか、水質検査が2,000万円とか、設備保守点検1,208万円ですか、かなりちょっと詳細に、数も含めて、教えていただければと思います。

○委員長（清水 寛） 谷垣課長。

○水道課長（谷垣 康広） すみません、施設等の内訳ですけども、ちょっと手元にございませんで、また、改めてでよろしいでしょうか。

○委員（西田 真） 委員長、資料要求でよろしいです。

○委員長（清水 寛） そうしましたら、また、詳細なものについては、資料として委員のメンバーのほうに提出いただきたいと思います。

西田委員。

○委員（西田 真） それから、同じページなんで

すけど、薬品料の滅菌とか水質検査とか、992万円って書いてあるんですけど、これはどういう薬品の部類なんでしょうか。ちょっと分かりやすく教えていただければありがたいんですけど、いかがでしょうか。

○委員長（清水 寛） 谷垣課長。

○水道課長（谷垣 康広） 薬品の滅菌といいますのは、いわゆる原水を消毒するための薬というふうな形になろうかと思います。

○委員（西田 真） それ分かるんです、薬品名はどんな感じですか。

○水道課長（谷垣 康広） 次亜塩素酸ナトリウムでよかったですと思いますけども。

○委員長（清水 寛） 西田委員。

○委員（西田 真） 図面のほう見させていただいて、老朽管の更新なんですけど、2,960メートル、これ毎年これぐらいな距離でやとられるんでしょうか、どうでしょうか。多少前後はするんでしょうけど、大体そんな感じなんでしょうか、いかがでしょうか。

○委員長（清水 寛） 谷垣課長。

○水道課長（谷垣 康広） 昨年度よりは若干減っておりますけども、おおむねでいきますと3キロから4キロ程度というところでやっているところがございます。

○委員長（清水 寛） 西田委員。

○委員（西田 真） 毎年3キロから4キロということをお聞きしたんですけど、この老朽管、どんな感じの管で、更新は、今、どんな管になつとるんでしょうか。

○委員長（清水 寛） 谷垣課長。

○水道課長（谷垣 康広） 主には漏水事故の多いところを選定してやっております。また、年度の古いものというところで、40年度後半から50年度前半までのところの塩ビ管を入れております。

あとは、铸铁管であっても、鉛管の多くつながれているところにつきましては、古いものについて更新をかけるようにさせていただいております。

○委員長（清水 寛） 西田委員。

○委員（西田 真） 塩ビ管を、今の新しい管は何という管でしょうか。何かいい管といますか、そういうのができるとという話を聞いたものですから、いかがでしょうか。

○委員長（清水 寛） 谷垣課長。

○水道課長（谷垣 康広） 資料の管種というところにH P P Eということで表示させていただいております。これが配水用ポリエチレン管ということで、いわゆる配水用のポリエチレン管でありますけども、メーカー的には100年もつよというふうに言われているものでございます。

○委員（西田 真） この資料1のほうに書いてますか。

○委員長（清水 寛） 字が小さい、読みにくい。
西田委員。

○委員（西田 真） 了解しました。ちょっと字が小さくて見えにくかったんですけど、管種というところを見たら、H P P Eというのが今の一番新しい管ということで理解したらよろしいんでしょうか。あとのD I Pというんですか、これはどんなものなんでしょうか。

○委員長（清水 寛） 谷垣課長。

○水道課長（谷垣 康広） ダクタイル鋳鉄管になります。鉄製にはなるんですけども。

○委員長（清水 寛） 西田委員。

○委員（西田 真） 鉄製のやつとか、そういうやつはまだたくさん残ってませんか。といますか、昔の古い管で、何言いましたか、綿管じゃなしに、何ていいましたか。名前ちょっと分からないんですけど、そういうやつはまだたくさんある。これが何キロぐらい残ってるか、分かればさくっと教えていただければと思いますが、それは更新できるのか、例えば5年後にはもうそういうのはなくなりますよとか、そういうのを分かれば教えていただきたいと思います。

○委員長（清水 寛） 谷垣課長。

○水道課長（谷垣 康広） お尋ねの分は石綿管のことでよろしいかと思えます。約1,000メートル弱ぐらい残っております。それにつきましても順次

更新はかけていきますけれども、長い距離で残っているところはほとんどございませぬので、点在しているような状態ですので、周辺の更新と合わせた形で更新をかけていきたいというふうを考えております。

○委員長（清水 寛） 西田委員。

○委員（西田 真） それはもう数年で更新できるということで理解したらよろしいでしょうか。

○委員長（清水 寛） 谷垣課長。

○水道課長（谷垣 康広） 少し時間はかかるかもしれませんが、周辺の更新と合わせてということなので、少し時間はかかるかもしれませんが、できるだけ早い時期で更新できればというふうに考えております。

○委員長（清水 寛） 西田委員。

○委員（西田 真） 舗装復旧いうの、数値はこれ3320というのは、これ、何ぼとおっしゃいましたか。3億円っていうふうにおっしゃいましたか。何ぼって言われましたか。ちょっと確認させてください。

○委員長（清水 寛） 谷垣課長。

○水道課長（谷垣 康広） 延長でございます。

○委員長（清水 寛） 西田委員。

○委員（西田 真） 延長ですか。この舗装は大体どれぐらいかかってますか、毎年、予算的に見ませんか、実績でも結構なんですけど。

○委員長（清水 寛） 谷垣課長。

○水道課長（谷垣 康広） 少々お待ちください。

前年度までに管路を布設いたしましたところの本復旧工事ということで上げさせていただいております、新年度につきましてはおおむね8,000万円程度、3億円のうちの8,000万円程度が舗装費の予定としております。

○委員長（清水 寛） 西田委員。

○委員（西田 真） 例年それぐらいなんですか。

○委員長（清水 寛） 谷垣課長。

○水道課長（谷垣 康広） 例年同程度としております。管路の布設に合わせたところですので、おおむ

ね同程度になろうかと思えます。

○委員（西田 真） 以上です。

○委員長（清水 寛） ほかありますか、よろしいですか。

竹中委員。

○委員（竹中 理） 252ページ以降の予定貸借対照表とか予定損益計算書、来年度の予定のやつが入ってるんです。これは当然、新料金を値上げしてない、今、現料金のっていう、でよろしいんですね。

○委員長（清水 寛） 谷垣課長。

○水道課長（谷垣 康広） 現料金の予定で上げさせていただきます。

○委員長（清水 寛） ほかにございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（清水 寛） それでは、質疑を打ち切ります。

討論はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（清水 寛） 討論を打ち切ります。

お諮りします。本案は、原案のとおり可決すべきものと決定してご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（清水 寛） ご異議なしと認めます。よって、第41号議案は、原案のとおり可決すべきものと決定しました。

続いて、第42号議案、令和4年度豊岡市下水道事業会計予算を議題とします。

当局の説明を求めます。

下水道課、榎本課長。

○下水道課長（榎本 啓一） 予算書、261ページをご覧ください。第42号議案、令和4年度豊岡市下水道事業会計予算について説明をさせていただきます。

上下水道部長が本会議場で説明したとおりですが、私からは予算実施計画書で補足説明をさせていただきます。

267ページをご覧ください。収益的収入及び支出ですが、収入では、下水道事業収益といたしまして56億3,893万5,000円を予定しており

ます。主なものといたしましては、営業収益の下水道使用料16億7,691万7,000円、雨水処理及びし尿処理に係る他会計負担金1億4,342万8,000円、営業外収益の汚水処理に係る一般会計補助金23億6,542万4,000円、長期前受金戻入れ13億9,864万3,000円、消費税及び地方消費税還付金4,449万7,000円などであります。

268ページをご覧ください。支出です。下水道事業費用といたしまして49億91万2,000円を予定しています。営業費用の主なものといたしましては、管渠費では異常通報等の通信運搬費1,681万6,000円、施設維持管理などの委託料5,263万7,000円、施設の修繕費4,605万9,000円、ポンプ場費では施設の維持管理などの委託料1,041万1,000円、施設の修繕費2,555万円。

269ページに移りまして、処理場費では運転管理や汚泥処理業務などの委託料4億6,801万3,000円、施設の修繕費8,800万円、などです。

続きまして、270ページをご覧ください。総係費では下水道台帳整備等の委託料1,176万6,000円、使用料徴収事務などの負担金5,207万9,000円などが主なものであります。

減価償却費では有形及び無形固定資産の減価償却費32億1,169万4,000円を計上しております。

営業外費用では企業債等の支払い利息5億3,043万6,000円が主なものであります。

次に、272ページをご覧ください。資本的収入は37億1,616万8,000円を予定しております。主なものといたしましては、企業債25億600万円、建設改良事業に係る国庫補助金11億9,060万円などであります。

273ページをご覧ください。資本的支出は61億2,213万3,000円を予定しております。建設改良費の管渠施設事業費では、施設の統廃合、長寿命化などの工事請負費9億8,235万円などを計上しております。

274ページに移りまして、処理場施設事業費では処理施設長寿命化対策工事の工事請負費として12億7,640万円などを計上しております。

また、企業債償還金といたしまして、36億9,602万5,000円を計上しています。

お手元に配付しておりますA3の資料のほう、ご覧ください2022年度の下水道事業の予定箇所図でございます。青色の枠で囲った箇所が統廃合事業の予定箇所、2022年度は港と城崎処理区の統廃合工事、三方と清滝処理区の統廃合工事など、10か所で事業を行う予定としております。赤い色の枠は長寿命化事業の予定箇所、日高浄化センターや竹野浄化センターの長寿命化対策工事など、8か所で事業を予定しております。オレンジ色の枠につきましては、雨水幹線整備や道路改良工事に伴う下水管渠の移設工事など、6か所で事業を予定しております。

続きまして、予算書のほう、280ページをご覧ください。債務負担行為に関する調書でございます。債務負担行為のうち下水道維持管理業務は市内にある32か所の浄化センター、22か所の汚水調整池及びマンホールポンプ場などの維持管理業務を滞りなく、今年の4月1日からも行えるように計上するものです。また、汚泥処理業務についても同様、汚泥運搬業務が滞りなく継続できるよう、計上しているものです。

その他資料につきましてはご覧ください。

説明は以上でございます。

○委員長（清水 寛） 説明は終わりました。

質疑がございませんか。

西田委員。

○委員（西田 真） ちょっと教えていただきたいんですけど、水質調整池の運転業務とマンホールポンプの運転業務、これ561万円とか3,462万円、これもちょっと分かりやすく説明していただければと思うんですけど、どんなもんかという。

○委員長（清水 寛） 榎本課長。

○下水道課長（榎本 啓一） 水質調査につきましては、各処理施設から出ます放流水の水質検査、また、

処理してる水の、処理水の水質調査などを実施しております。

また、マンホールポンプの、失礼します、ちょっと確認なんですけど、268ページのマンホールポンプの委託料についてでよろしいでしょうか。

○委員（西田 真） そうです。

○下水道課長（榎本 啓一） マンホールポンプの維持管理業務ということで、異常がありましたらそのときに見ていただいたり、運転が適正に行われるか、そういった確認をしていただいております。

○委員長（清水 寛） 西田委員。

○委員（西田 真） 今、ページ数言うの忘れたんですけど、268ページの委託料の分のところで確認をさせていただいてるんですけど、この汚水調整池ちゅうのはどこにあるんですか、このマンホールポンプ、これは1か所ずつですか、それともたくさん箇所があって、それも委託料ということでよろしいんでしょうか。

○委員長（清水 寛） 榎本課長。

○下水道課長（榎本 啓一） まず、汚水調整池でございますけども、現在、統廃合事業の実施してございまして、浄化槽だったところを廃止して、その廃止した箇所についてはもともと浄化センターで利用してた機械電気器具なんかを大体大まかに不必要なものを撤去いたしまして、次、そここのところ、以前、統廃合する際にそこに集まってきた水を次の処理区へ統合するために、汚水を運んでいかなければならないということで、そこに廃止した浄化センター内にポンプを設置しまして、ポンプ場として利用しているという面がございます。そういった意味で、汚水調整池と、ここには書かせていただいているんですけども、主な廃止した浄化センターについては、ポンプ場としての機能を持たせております。それに加えて、いざというときのために汚水の流量を調整する調整池としての役割も果たすものであります。

○委員長（清水 寛） 西田委員。

○委員（西田 真） 失礼しました。私、水質って言いましたね、ごめんなさい。汚水ですよ。ごめ

んなさい、汚水です。

汚水調整池、これポンプ場といいですか、そういう昔のやつを、それを汚水調整池という感覚で、感覚でって、そういう意味で言っとられるんですか。ちょっと私分からないんで、ちょっと詳しく教えていただきたいということで質問させていただいたんです。それ、マンホールポンプも含めてです。

○委員長（清水 寛） 榎本課長。

○下水道課長（榎本 啓一） 失礼しました。先ほどの答弁の中で、私、浄化センターのことを浄化槽と間違えて申してまして、浄化センターを廃止した後にポンプ場として機能を持たせて、汚水調整池と呼んでいるということが一つ。

それと、マンホールポンプなんでございますけども、マンホールポンプ、各家庭から出た汚水を浄化センターまでに流していく際に、坂道もありましたら距離の長いところもございまして、自然流下では行けないところ、できないところについては、マンホールポンプで圧送をするという仕組みにしております、マンホールポンプの数については、かなり多くあります。

○委員長（清水 寛） 西田委員。

○委員（西田 真） すみません、理解しました。

ポンプアップするということは、下水道のほうで聞いたんですけど、それをマンホールポンプという名前というのはちょっと私知りませんでしたので、その辺ちょっと質問させていただきました。

そして修繕費、同じく268ページなんですけど、雨水幹線は、これ山田川と福田幹線の分でもよろしいか、確認させていただきます。それ以外もあるかどうかですね。

そして汚水管渠、3,855万円ちゅうの、これはどれぐらいな延長なんですか、確認させてください。

○委員長（清水 寛） 榎本課長。

○下水道課長（榎本 啓一） まず、雨水幹線のほうの修繕費なんですけども、主なものといたしましては、下水道課で管理しております雨水幹線の土砂のしゅんせつ、かなり、1年、2年たちますと、土砂

がたまる場所もございまして、そういった箇所やしゅんせつ費に充てております。が、主なものです。

それとあと、汚水管渠なんですけど、修繕延長というか、下水道のマンホールなんか結構、周りの沈下だとかいうことがあって、マンホールポンプは下げたりだとか、高さの調整が必要な箇所もかなり年間出てきます。

それとあと、ポンプにつきましても、ポンプの耐用年数、基本は8年なんですけど、実際は十数年はもちます。それにしても、数が多いもので、毎年かなりの数が取替え等、必要となってきます。それに係る費用をここで計上しております。以上です。

○委員長（清水 寛） 西田委員。

○委員（西田 真） ここに書いてある雨水幹線というのは、今言った山田川とか福田幹線以外にもあるんですか。いや、今年度、この予定である4つは、山田川と福田幹線以外にもあるんですか。その辺を確認させていただきたいということで質問したんです。

○委員長（清水 寛） 榎本課長。

○下水道課長（榎本 啓一） 工事のほうでは、今、委員おっしゃられたところだけなんですけども、今までに工事をしているところもありますんで、そういった箇所の維持管理も下水道課のほうでやっておりまして、そのための修繕費でございます。

○委員長（清水 寛） 西田委員。

○委員（西田 真） 理解しました。汚水管渠というのは、今言われたポンプとかその辺、もろもろも入ってくるという理解でよろしいんでしょうか。

○委員長（清水 寛） 榎本課長。

○下水道課長（榎本 啓一） はい、そのとおりでございます。

○委員（西田 真） 結構です。以上です。

○委員長（清水 寛） ほかにございますか。

それでは、質疑を打ち切ります。

討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（清水 寛） 討論打ち切ります。

お諮りします。本案は、原案のとおり可決すべき

ものと決定してご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（清水 寛） ご異議なしと認めます。よって、第42号議案は、原案のとおり可決すべきものと決定しました。

以上で上下水道部の職員の方は退席していただいて結構です。

ここで建設経済委員会を暫時休憩します。

午後4時36分 委員会休憩

午後4時50分 分科会再開

○分科会長（清水 寛） それでは、建設経済分科会を再開します。

それでは、第32号議案、令和4年度豊岡市一般会計予算の討論、表決を行います。

討論ありませんか。

須山委員。

○委員（須山 泰一） 質疑でも述べましたが、コウノトリ但馬空港利用促進協議会への補助金6,000万円について、半額に近い補助率が約30年も続いているということで、うちの会派では毎回補助率の削減を求めています。その立場で、不同意を表明します。以上です。

○分科会長（清水 寛） それでは、ほかに。

石田委員。

○委員（石田 清） 座ったまま失礼します。

今回、32号予算につきましては、経営方針、それから地方創生事業の計画、その他いろんな計画に基づいて着実に進めると、市長は替わりましたけども、その点、継続性ということも頭に置きながら、変えるところは徐々に財源を伴いながら変えていくということで、いい予算になっているんじゃないかなというふうに思っております。

そして、今、須山さんのほうが言われました空港の件につきましては、担当課のほうからもお話がありましたけども、2分の1近い予算、これについての判断は市としてももうやってるわけですし、これについて反対だと言われましても、それ以上の削減という、ただそれだけの話で、それをペケにすると、

不可にするということもできません。

したがって、全体を通して、それから、空港の話も通しまして、重要なインフラですから、今後、空港についてはまだまだ利用促進進めていかなきゃいけませんし、滑走路の延長等を図っていかなきゃいけません。東京便も考えていかなきゃなりません。そんな中で、この予算につきましては、それなりに妥当な線が出されているというふうに思いますので、私は賛成の討論をさせていただきます。

○分科会長（清水 寛） そのほかにございませぬか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会長（清水 寛） それでは、討論を打ち切ります。

賛成、反対の意見がありますので、挙手により採決いたします。

本案は、原案のとおり可決すべきことに賛成の委員の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

○分科会長（清水 寛） 賛成多数により、第32号議案は原案のとおり可決すべきものと決定しました。

本日、第32号議案、令和4年度豊岡市一般会計予算の説明、質疑、討論、表決が終わりました。本議案について、当分科会として付すべき意見、要望がありましたらご発言願います。ございませぬか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会長（清水 寛） それでは、特になしということで、次に、分科会長報告についてであります。特になしということですので、特になくていいですね。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会長（清水 寛） ここで建設経済分科会を閉会します。

午後4時54分 分科会閉会

午後4時54分 委員会再開

○委員長（清水 寛） 建設経済委員会を再開いたします。

本日、第41号議案、令和4年度豊岡市水道事業会計予算及び第42号議案、令和4年度豊岡市下水道事業会計予算の説明、質疑、討論、表決が終わりました。

委員会として付すべき意見、要望がありましたらご発言願います。ないですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（清水 寛） そうしたら、なしということで、そのほか、委員の皆さんから何かございますでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（清水 寛） それでは、ないようですので、以上をもちまして本日の建設経済委員会を閉会します。

なお、次回の委員会は明日15日火曜、午前9時30分から、ここ、第3委員会室で行います。

午後4時55分 委員会閉会
